



平成21年度

年報 第24号

福島県立博物館

年報発刊に 寄せて



21世紀になって10年が過ぎました。いま、この国の博物館はある種の飽和状態にいたって、淘汰の季節を迎えているのかも知れません。いわゆる高度経済成長期に入ってしばらく経った頃から、この列島のそこかしこで、いっせいに博物館の建設が始まりました。まるで何かを誇示するかのよう、よその県に遅れてならじと言わんばかりに、競って、次々に開館されたのです。

福島県立博物館もむろん、そのひとつです。開館当初から、施設的にも、学芸員の規模からいっても、入場者数からいっても、県立の施設としては指折り数えられる水準を維持してきました。今世紀に入ってからは、さすがに、あらたに開館したりリニューアルした施設からは水を空けられています。それでも、福島県博はまちがいなく健闘しています。われわれスタッフはみな、ひそかにそのことにプライドを持っています。

それにしても、県の財政状況は厳しく、福島県博のリニューアルは先送りされてきました。いまにして思えば、よかったのかも知れません。博物館をとりまく環境は、だれしもの予想をはるかに越えて、激変しています。だから、いささか拙速に、中途半端なリニューアルをしたところは、10年はおろか5年ももたずに飽きられ、入館者数も激減しているのです。みずからの社会的な使命を自覚することも、理念や役割などをとことん議論することもなしに、莫大な予算を費やして、いわば何となくリニューアルした博物館は、すでに沈んでいます。途方に暮れていることでしょう。起死回生のカードは切ってしまったのです。負け惜しみではなく、そうした状況を十分に見届けたくうえで、じっくり腰を据えて、いまリニューアルに向けて仕切り直しをすることができるわれわれは、幸運だったというほかありません。

この数年、われわれはあるべき福島県立博物館の姿をもとめて、これまでの反省のうえに議論を重ね、さまざまに試行錯誤を繰り返してきました。おそらく、福島県立博物館はすでに大きく変わりつつあるのです。地域社会のなかで、われわれは何を求められているのか、いかなる役割を果たすべきなのか。これから、われわれはリニューアルに向けて本格的な議論を開始することになるでしょう。あらためて、いま、博物館像とは何か。

福島県立博物館長 赤坂 憲雄

トピックス

テーマ展・ポイント展

福島県立博物館が開館してすでに20余年が経過し、内外から常設展のリニューアルが求められている。しかしながら、県の財政は厳しい状態が続いており、その実現は困難な状況にある。博物館では、その現状を打破して、自分達でできるところから変えていこうという考えのもと、平成21年度から常設展の小規模な展示替えを、時期を区切って精力的に行うこととした。各分野の学芸員が日頃行っている資料収集と研究活動の成果を、県民のみなさんに広くお伝えして、地域の資料がもっているすばらしい価値を知っていただくという意図である。展示替えは、テーマ性や規模から「テーマ展」と「ポイント展」に分けた。収蔵品を中心として特定のテーマを設定した小・中規模展示を「テーマ展」、収蔵品を中心として特別に資料を公開する展示を「ポイント展」とした。平成21年度は、10回のテーマ展と、18回のポイント展を実施した（詳しくは p.7～8 参照）。



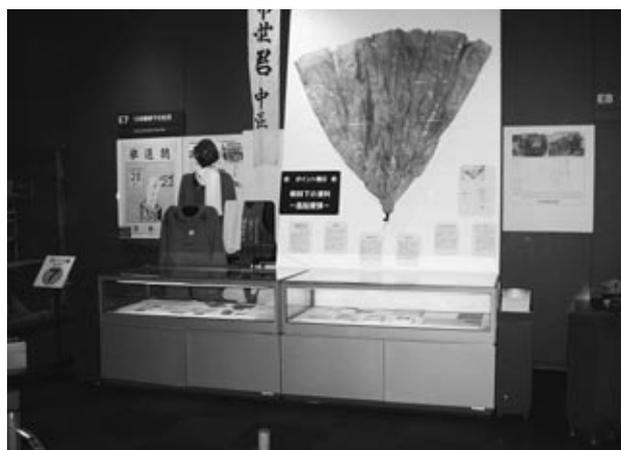
テーマ展「収蔵・寄託 県指定考古資料展」



テーマ展「明治21年の磐梯山噴火による地形変化」



ポイント展「勿来金冠塚古墳の古墳時代冑」



ポイント展「戦時下の資料 ー風船爆弾ー」

福島県立博物館は、昭和61年に県立の総合博物館として開館し、平成18年に開館20周年を迎えました。博物館は、これまで県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、さまざまな活動をしてきました。

近年、社会情勢の変化により、博物館の存在意義の見直しと博物館ニーズへの積極的対応が要請されております。このため、今回、新しい時代の博物館として目指すべき目標を「使命」としてとりまとめました。ついては、社会に対する責務を明確にするとともに、博物館に対してみなさんのご理解を深めていただくため、その内容を公表いたします。

目 標

福島県は、関東・北陸・東北地方の接するところに位置し、美しく豊かな風土のもと、時代を通して文化交流の地として発展し、特徴のある歴史・文化を形成してきました。また、広大な面積をもつ本県は、中通り・浜通り・会津地域に分かれ、それぞれ異なった風土と生活文化をもっています。

福島県立博物館は、こうしたユニークで多様な歴史・文化が生み出した遺産とその背景にある自然に関する資料を収集・保存し、大切に未来へ引き継ぐとともに、研究を通して、資料のもつ価値を明らかにします。そして、収集した資料や研究の成果を世界に向けて発信するため、さまざまな形で公開します。

また、人々が地域の課題を調査・研究することを支援し、地域文化の新しい価値を創造することに寄与するとともに、みなさんが博物館を利用しやすいように、人と人との交流を大切にす楽しい環境を整えます。

これらを基本に、次のような博物館を目指します。

1. ふくしま発見 博物館

ふくしまの文化遺産と自然史資料をもとに、ふくしまの歴史・文化そしてそれを育んだ自然に関する情報を提供し、ふくしまの魅力を再発見する場とします。そして、地域独特の文化の価値を共に学び、新たな文化を創りだす手助けをします。

2. 出会いふれあい 博物館

楽しい時が学ぶ時です。かた苦しなく、気軽に入れて人と人々が楽しく語り合える博物館を目指します。そのために、居心地がよく、自らが体験でき、楽しさを体感できる空間を演出します。

3. あなたも主役 博物館

博物館を利用するみなさんも主役です。博物館はみなさんからの意見・要望を尊重して運営に活かします。また、友の会の会員やボランティアとして博物館の事業に参加することができます。みなさんと共により良い博物館を目指します。

活動の指針

目標を達成するため、次のような機能を充実させます。

【専門機能】

1. 地域の文化遺産の収集と継承

福島県の特徴を現す歴史・文化遺産および自然史資料を系統的に収集し、安全な状態で保存し次世代に伝えます。また、資料情報をデータベースとして整備し活用します。

2. 最新の研究による新たな資料価値の発見

専門的な研究により、収集した資料の価値を明らかにします。また、地域の課題であるテーマを設け調査を行い、その成果を地域文化の発展と創造のために役立てます。

3. 来るたびに発見がある展示とニーズに応じた学習支援

展示を見るたびに資料の新しい側面を発見できます。新しい資料や研究成果を展示や講座に反映するとともに、利用者のニーズに応じて、資料についてさらに詳しい情報を準備し提供します。また、未来を担う子供たちにも対応したきめ細やかな学習支援を行います。

【交流機能】

4. 楽しめて出会いのある空間の創出

居心地がよく楽しめ、いろいろなことを体験・体感できる博物館を目指します。また、人と人が出会い、楽しく知的なコミュニケーションのとれる場所を提供します。

5. 博物館事業への住民参加

利用者の意見を積極的に取り入れて、博物館の運営に反映させます。また、友の会会員やボランティアの協力を得ながら博物館の事業を推進します。

6. 博物館情報の発信と公開

博物館の資料や研究成果および運営に関する情報を公開するとともに、展示や講座など館活動の情報を広く県内外に発信するため、積極的な広報活動を行います。

7. 地域ネットワークの拠点

福島県の面積は広大で、多くの学校、社会教育・文化施設、市民団体があります。これら関係機関等とのネットワークを作り、情報交換や共同研究、事業の共同実施を進めます。

8. 新しい観光ニーズへの対応

会津という観光地に立地することを踏まえ、地元の市町村や文化・観光施設と連携、共同し、新しいタイプの観光のニーズに対応できるよう努めます。

【運営機能】

9. 使命の明示と事業の点検

博物館の使命と目標を社会に明示し、オープンな運営を目指します。目標に向かって計画を立て、常に成果を点検し、目標を達成できるように努めます。

10. 人材の育成と機能的な組織

博物館の使命を達成するため、優れた人材を育成し、機能的で効果的な組織運営に努めます。

福島県立博物館 中期目標

目標年度：平成25年度

福島県立博物館では、「使命」に基づいて策定した11項目の「活動の指針」それぞれに「重点目標」を定め、それを平成21年度から25年度までの5年間で達成するための具体的な実施計画（中期目標）を定めました。

よりたくさんの方々には博物館を利用していただくため、概ね年間9万人の利用者数を見込み、平成22年度には開館以来の入館者数400万人を突破、25年度には430万人を超えることを目指し努力します。

このたび、平成21年度の中期目標の達成状況を「21年度評価指標」に基づいて評価しました。その結果を公表します。達成度の低かった項目についてはその原因を分析し、事業内容や実施方法を改善し、次年度には設定した指標を達成できるように努めます。利用者のみならずには中期目標をご理解いただき、博物館の運営について忌憚のないご意見をいただければと思います。

| | 平成20年度(実績) | 平成21年度(実績) | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 |
|--------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 入館者数 | 83,275 | 93,596 | 90,000 | 90,000 | 90,000 | 90,000 |
| 累計入館者数 | 3,861,281 | 3,954,877 | 4,044,877 | 4,134,877 | 4,224,877 | 4,314,877 |

※「入館者数」は、企画展開催回数で大きく左右されるため、基準年（平成20年度）同様年間2回の開催を前提として算定している。

平成21年度入館者数 93,596人 目標達成

| 機能 | 活動の指針 | 重点目標 | 実現方策 | 25年度目標 | 21年度評価指標 | 21年度実績 | 達成度 | 22年度評価指標 |
|----|-----------------------------|---|---|---------------------------|-------------------------------------|--|--|--|
| 専門 | 1. 地域の文化遺産の収集と継承 | 博物館資料の系統的収集とデータベース化の推進 | 収集方針に沿って系統的に資料を収集し、具体的な資料整理の年次計画に基づき、整理・登録を進める。 | 5年間で収蔵資料約1万件的の整理達成 | コレクション等1850件の整理・登録 | 考古：18件／400件 民俗：409件／450件 歴史：1739件／500件 美術：3件／100件 自然：733件／400件 計2902件／1850件 | 達成 | コレクション等1880件の整理・登録（考古：400件 民俗：450件 歴史：500件 美術：30件 自然：500件） |
| | | | 作業効率を上げるために、機器類の定期的更新を行う。さらに資料データの入力・検索・管理をより効率化するとともに、コンピュータのOSに対応させるため、収蔵資料管理システムを一新する。 | 年次計画に沿った収蔵資料管理システムの一新 | 収蔵資料管理システムの整備に関する計画の策定 | 収蔵資料管理システムの整備に関する計画の策定 | 達成 | 収蔵資料管理システムの整備に関する具体的な年次計画の策定 |
| | 二次資料の整理とデータベース化の促進 | 司書を継続雇用し、学芸員の研究および外部からの図書利用に資するため、年次計画に沿って図書の整理・登録および既存データの修正を進める。また、増加する図書の収蔵スペースを確保する。 | 図書の既存データ約9000件の修正完了 | 図書の既存データの修正（2000件） | 2960件修正 | 達成 | 図書の既存データの修正（2000件） | |
| | 博物館資料情報の公開 | 収蔵資料情報（データベース）の公開はIT化事業の最終目標のひとつ。公開の方法や仕様について検討を進め、収蔵資料管理システムの一新後、公開に向けた作業を進める。また、整理が終了したコレクション等資料情報の公開を随時実施する。 | 年次計画に沿ったコレクション等資料情報の公開 | コレクション等資料情報の公開方法に関する検討 | コレクション等資料情報の公開方法に関する計画の策定 | 達成 | 福島県立博物館名品百選の選定とホームページへの掲載（各分野10件、計50件） | |
| | 資料の安全な保存 | 地球環境保全のため、有害ガスを排出する全館蒸気を廃止している。それに代わる方法として、資料を害虫から防ぎ安全に保存するためのIPM（総合的害虫管理）を継続実施する。 | 年2回の文化財害虫調査を元にしたIPMの継続実施 | 文化財害虫調査の実施（2回） | 2回 | 達成 | 文化財害虫調査の実施（2回） | |
| 機能 | 2. 最新の研究による資料価値の発見 | 連携した研究活動の推進 | 研究の質の向上、さらに研究ネットワークを築くため、大学や文化施設あるいは民間の研究団体との共同研究を進める。 | 共同研究の継続実施（各年度1回以上） | 共同研究の実施（1回以上） | 「恐竜時代のふくしま」 「会津慶長地震プロジェクト」 計2件 | 達成 | 共同研究の継続実施（各年度1回以上） |
| | 3. 来るたびに発見がある展示とニーズに応じた学習支援 | リニューアルの推進 | バックヤードを含めたりニューアルは、館の最重要課題のひとつ。将来の実現に向けて、リニューアルのコンセプト作りを開始し、可能なものからリニューアルを進める。 | リニューアルの推進 | 一部について先行してリニューアルを実施 | 展示替えの実施 ハード面の一新および増設 （映像システム、展示什器、展示用パネル、企画展示室ランニングウォール、顕微鏡） | 達成 | 展示替えの継続実施 ハード面の部分改修 |
| 機能 | 魅力ある常設展の展開 | 常設展のリピーター増加をめざし、常設展の小規模展示替え（テーマ展・ポイント展）を毎年実施する。 | テーマ展・ポイント展の継続開催 | テーマ展・ポイント展の開催（15回） | テーマ展：9回 ポイント展：18回 計27回 | 達成 | テーマ展・ポイント展の開催（20回） | |
| | オリジナル企画を中心とした企画展等の開催 | 館オリジナル企画を中心に、学芸員の研究成果、収蔵資料を活用した企画展や特集展を、集客を考慮しバランスよく実施する。 | 企画展・特集展を各年度4回のペースで開催 | 企画展・特集展を開催（4回） | 企画展：1回 特集展：4回 計5回 | 達成 | 企画展・特集展を開催（4回） | |
| | きめ細かい解説システムの実施 | 利用者の様々な質問に対応でき、人的コミュニケーションを大切に展示解説を維持・発展させる。 | 展示解説員による解説を中心に、「やさしい展示解説会」（毎週土日）等の継続実施 | 展示解説員による土日の「やさしい展示解説会」の実施 | イベントのない毎週土日の午前・午後1回ずつ開催 総回数：177回 | ほぼ達成 | 展示解説員による土日の「やさしい展示解説会」の継続実施 | |
| | 継続性のある講座の開催 | 講座の体系化と、ストーリー性をもたせたシリーズ化を進め、利用者の継続参加を促進する。企画展に合わせたタイムリーな連続講座の開催も試みる。 | 講座・講演会を各年度100回のペースで開催 | 講座・講演会の開催（100回） | 講座・講演会等の行事を125回開催 | 達成 | 講座・講演会の開催（100回） | |

| 機能 | 活動の指針 | 重点目標 | 実現方策 | 25年度目標 | 21年度評価指標 | 21年度実績 | 達成度 | 22年度評価指標 |
|----|--------------------|------------------|--|---|--|--|----------------------------|----------------------------------|
| 交 | 4. 楽しめて出合いのある空間の創出 | エントランスホールの多目的利用 | エントランスホールや屋外という開かれた空間を使用し、博物館の展示・資料などと関連をもたせた無料のイベントを開催する。市民団体による企画・運営も検討する。 | 四季のイベントを中心としたエントランス周りでのイベントの継続実施（各年度4回） | エントランス周りでイベント開催（4回） | 5回 | 達成 | エントランス周りでのイベント開催（4回） |
| | | 利用者の快適性と利便性の促進 | 当館の常設の売店では、館発行の図書・絵葉書のみを販売しており、利用者の多様なニーズに対応していない。20年度秋から企画展開催時を中心に試行しているミュージアムショップの運営とオリジナルグッズの開発を軌道に乗せる。 | 企画展等に合わせたミュージアムショップの運営とグッズの開発 | 常設の売店に加え、企画展等展示会に合わせたショップの運営（3回） | 博物館友の会と連携したミュージアムショップの運営 ①直江兼続と会津の戦国武将（4/25～5/31）11日 ②会津とマンガ文化（8/15～9/23）14日 ③岡本太郎の博物館（10/10～11/23）9日 | 達成 | 常設の売店に加え、企画展等展示会に合わせたショップの運営（3回） |
| | | 体験型の行事・講座の開催 | 来館者が参加できる体験型講座を増やす。また、それをイベント等と連結するよう試みる。 | 体験型の講座・プログラムの実施（各年度50回） | 体験型学習の実施（50回） | 体験型講座：39回 ハンズオンコーナー：2回 団体系験：36回 計77回実施 | 達成 | 体験型学習の実施（50回） |
| 流 | 5. 博物館事業への住民参加 | ボランティアの受入 | 資料整理を中心としたボランティアの受け入れを推進する。 | 自然資料整理ボランティア（通年）、古文書整理ボランティア（月2回）を中心としたボランティアの受け入れと活動支援 | 自然資料整理ボランティア2名（通年）、古文書整理ボランティア14名（月2回）の受け入れ | 自然資料整理：2名 延べ日数150日 古文書整理：14名 延べ日数108日 岡本太郎展 かえっこパザール | 達成 | 事業に合わせたボランティアの継続的受け入れ |
| | | 6. 博物館情報の発信と公開 | 効果的な広報の展開 | マスコミを始め、外部の各種メディアへの情報提供を継続するとともに、博物館からの情報発信媒体の内容と体裁の見直しを図る。とりわけホームページによる広報に力を入れる。 | ホームページアクセス件数各年度40万件 | ホームページアクセス件数40万件 | アクセス件数396008件 | ほぼ達成 |
| 機 | 7. 地域ネットワークの拠点 | 市町村との連携促進 | 市町村の文化施設との共同企画展の実施や、博物館資料を提供し展示協力を行う。移動展用のパッケージ化した展示を用意し、要望があれば22年度から実施する。 | パッケージ移動展の普及等による移動展の継続実施 | 移動展開催（1回以上） | 移動展：3回 | 達成 | 移動展開催（1回以上） |
| | | 各種団体との連携促進 | NPOなど地域の文化団体などからの展示会や講座の開催依頼には積極的に対応し、また、共同企画を立ち上げるなど事業の連携を進める。 | 後援行事の受入を継続実施（各年度10件） | 後援受入基準の作成 後援行事の実施（10件） | 後援受入基準の策定 後援行事の実施回数（13回） | 達成 | 後援受入基準の作成 後援行事の実施（10件以上） |
| 能 | 8. 新しい観光ニーズへの対応 | 観光事業団体との連携 | 観光事業団体との連携を強め、会津地域への一層の集客を図ると共に、新しい観光ニーズに対応した企画を検討する。 | 観光事業団体との連携活動（PR・催事等）の実施（各年度1件以上） | 観光事業団体との連携（1件） | 1件 博物館駐車場と鶴ヶ城の通路に、博物館、鶴ヶ城、風雅堂等の催し物案内の掲示板を設置 | 達成 | 観光事業団体との連携（1件以上） |
| | | 9. 使命の明示と事業の点検 | 使命・目標の策定 | 使命に基づき、平成25年度を目標年度とした中期目標を作成し、それと連動した評価システムを作る。毎年評価・点検を行い、それをもとに計画に修正を加える。 事業の結果を点検・評価し、それを年報やホームページで公表する。 | 中期目標に基づいた評価・点検の実施と計画の修正（各年度1回） 事業の評価と改善点を毎年公表 | 中期目標の策定と公表 — | 中期目標の策定と公表（ホームページ、年報） — | 達成 — |
| 運 | 9. 使命の明示と事業の点検 | 利用者ニーズの把握と対応 | 入館者数など博物館利用に関する統計をとり、これらの分析を行う。 | 入館者統計の分析に基づいた事業の改善を毎年実施 | 入館者統計の取り方の変更と分析の方法の確立 | 統計の取り方と分析方法の確立 | 達成 | 入館者統計の分析に基づいた展示替え、広報活動等の実施 |
| | | 10. 人材の育成と機能的な組織 | 学芸員の専門性の重視 | 学会等研修会へ積極的に参加し、学芸員としての専門的能力を向上させる。 | 学芸員による学会等研修会への参加（各年度5件） | 学芸員による学会等研修会への参加（5件） | 4件 達成度80% | ほぼ達成 |
| 機 | 11. 危機管理（追加指針） | 来館者の生命の危機への対応 | 地震・火災に対する避難マニュアルを作成し、訓練を実施する。 | 地震・火災避難訓練の年1回実施 | 地震・火災の避難訓練実施（1回） | 避難訓練実施 1回 | 達成 | 地震・火災の避難訓練実施（1回） |
| | | 資料の危機への対応 | 企画展示室や収蔵庫における安定した温湿度条件の確保（特に冬場）のための改善対策を図る。 | 収蔵庫・展示室の温湿度計測の月1回の継続実施 | 収蔵庫・展示室における温湿度の計測（月1回） | 毎月1回 計12回実施 | 達成 | 収蔵庫・展示室における温湿度の計測（月1回） |
| | | 個人情報保護 | 県のセキュリティ対策に基づき、個人情報情報は分散しないように一元的に管理し、必要なければ適切に廃棄する。また、コンピュータへのウイルス対策を常時実施する。 | 県のセキュリティ監査の継続実施（年1回）とチェックのクリア | 県のセキュリティ監査によるチェックのクリア | 17人50項目中、延べ不適項目数16 不適度16/850=1.9% | ほぼ達成 | 県のセキュリティ監査によるチェックのクリア |

●総評

中期目標の平成21年度評価指標については、入館者数を始めほとんど達成されました。ただ、わずかではあります達成されなかった指標があります。

この結果をもとに、各項目について新たに平成22年度の評価指標を作成しました。22年度はこの評価指標を達成できるよう努力いたします。

運営にあたっては、展示・講座・イベントなど一般県民向けの普及活動と、資料の収集整理・調査研究など基礎的・専門的活動のバランスをとり、事業を進めます。

目 次

| | | |
|-----|------------------------------------|----|
| I | 沿 革 | 1 |
| II | 事業の概要 | 2 |
| | 1. 資料収集事業 | 2 |
| | (1) 収集展示委員会 | 2 |
| | (2) 受贈・受託 | 2 |
| | (3) 購 入 | 3 |
| | 2. 保存管理事業 | 3 |
| | (1) 資料の収蔵 | 3 |
| | (2) 登録・整理 | 4 |
| | (3) 貸 出 | 5 |
| | (4) 保 存 | 6 |
| | 3. 展示事業 | 6 |
| | (1) 常設展示 | 6 |
| | (2) 企画展示 | 9 |
| | (3) 特集展 | 11 |
| | (4) 移動展 | 17 |
| | (5) 展示解説 | 19 |
| | (6) 体験学習室 | 19 |
| | 4. 調査研究事業 | 20 |
| | (1) 展示資料調査研究 | 20 |
| | (2) その他の調査研究事業 | 22 |
| | (3) 職員の研究活動 | 22 |
| | 5. 教育普及事業 | 25 |
| | (1) 講座・講演会 | 25 |
| | (2) ミュージアムイベント | 31 |
| | (3) Action for KIDS プログラム | 34 |
| | (4) 学校・文化施設との連携 | 37 |
| | (5) 生涯学習・研究支援 | 40 |
| | 6. 広報公聴活動および出版事業 | 41 |
| | (1) 広報活動 | 41 |
| | (2) 公聴活動 | 44 |
| | (3) 出版事業 | 45 |
| | 7. 博物館友の会活動への支援 | 46 |
| | (1) 友の会活動への支援 | 46 |
| | (2) 友の会の活動状況 | 46 |
| III | 管理運営 | 48 |
| | 1. 組織・職員 | 48 |
| | 2. 予 算 | 49 |
| | 3. 委員会の開催 | 50 |
| | (1) 運営協議会 | 50 |
| IV | 利用状況 | 51 |
| | 1. 入館者統計 | 51 |
| | (1) 平成21年度入館者統計 | 51 |
| | (2) 入館者の推移 | 52 |
| | (3) 企画展入館者統計 | 54 |
| | 2. 出版物販売 | 56 |
| V | 法 規 | 58 |
| | 福島県立博物館条例 | 58 |
| | 福島県立博物館運営協議会条例 | 59 |
| | 福島県立博物館条例施行規則 | 59 |
| | 福島県立博物館組織規則 | 62 |
| | 福島県立博物館条例に基づく知事の権限を福島県教育委員会に委任する規則 | 63 |
| | 福島県立博物館収集展示委員会設置要綱 | 63 |
| | 福島県立博物館資料所在調査要領 | 63 |
| | 福島県立博物館資料調査員設置要綱 | 64 |
| | 福島県立博物館友の会規約 | 64 |
| VI | 施設の概要 | 66 |
| | 1. 建築概要 | 66 |
| | 2. 設 備 | 66 |
| | 3. 平面図・各室一覧 | 67 |
| | 4. 施設の修理・改築 | 69 |
| VII | 利用案内 | 70 |

I 浴 革

《開館にいたるまで》

| | |
|-------------|--|
| 昭和52年 5月13日 | 文化を考える県民会議の設置 |
| 6～8月 | 文化に関する県民意識調査の実施 |
| 昭和53年 1月24日 | 文化を考える県民会議から県の文化振興について知事に報告 |
| 7月26日 | 第1回文化振興会議開催 |
| 昭和54年 2月2日 | 文化振興会議から文化振興の具体策について知事に報告 |
| 3月19日 | 文化施設等整備基金条例制定 |
| 4月1日 | 福島県教育庁文化課内に文化施設班を設置 |
| 12月24日 | 福島県美術品等取得基金条例制定 |
| 昭和55年 4月1日 | 福島県教育庁文化課内文化施設整備室を設置 |
| 昭和56年 1月26日 | 県立博物館基本構想検討委員会から建設基本構想の報告を受ける |
| 2月3日 | 県立博物館の建設地を「会津若松市」と決定 |
| 昭和57年 2月18日 | 県立博物館収集展示委員会より「県立博物館総合展示及び部門展示計画」の報告 |
| 昭和58年 7月30日 | 建築実施設計を委託（株式会社佐藤武夫設計事務所） 展示実施設計を委託（株式会社トータルメディア開発研究所） |
| 昭和59年 6月8日 | 建設工事契約（㈱清水建設仙台支店・㈱会津土建・㈱秋山建設による共同企業体） |
| 7月7日 | 県立博物館建築工事着工（～61. 3. 25） |
| 7月10日 | 展示工事委託契約（㈱トータルメディア開発研究所・㈱乃村工芸社・㈱丹青社による共同企業体） |
| 7月13日 | 展示工事着工（～61. 9. 10） |
| 昭和61年 3月25日 | 県立博物館条例 同施行規則 同運営協議会条例及び組織規則制定（61. 4. 1 施行） |
| 3月31日 | 県立博物館公所開設にともない文化施設整備室を廃止 |
| 4月1日 | 県立博物館公所開設 高橋富雄が初代館長として就任 運営協議会委員10名委嘱 |
| 10月1日 | 展示解説員19名採用 |
| 10月18日 | 県立博物館開館 |

《開館してから》

| | |
|-------------|---|
| 昭和61年11月28日 | 登録博物館の指定（第10号） |
| 昭和63年 8月21日 | 入館者50万人達成 |
| 平成元年 3月10日 | 友の会設立 |
| 平成2年10月7日 | 入館者100万人達成 |
| 平成4年 3月31日 | 日本育英会の第一種学資金の返還を免除される職を置く研究所等の指定（文部大臣） |
| 平成5年 4月1日 | 展示解説員22名となる |
| 平成7年 5月5日 | 入館者200万人達成 |
| 平成8年10月5日 | 開館10周年記念式典を催す |
| 平成12年10月15日 | 入館者300万人達成 |
| 平成13年 1月25日 | 博物館リニューアル事業に伴い、新基本構想検討委員会により「福島県立博物館新基本構想」が策定される |
| 平成14年 3月25日 | 博物館リニューアルの新基本構想に基づいて「展示替え基本計画」を策定 |
| 平成15年 3月24日 | 博物館条例第4条改正により小・中学生及び高校生の普通観覧料を無料とする |
| 3月28日 | 高橋富雄館長 「金曜講座」第393回目開催 |
| 3月31日 | 高橋富雄館長退任 |
| 4月1日 | 赤坂憲雄が県立博物館長に就任 前館長高橋富雄に県立博物館名誉館長の称号授与 |
| 平成16年 4月8日 | 赤坂憲雄館長・学芸員 「木曜の広場」第1回開催 |
| 平成17年 5月6日 | 入館者350万人達成 |
| 平成18年 9月29日 | 博物館開館20周年を祝う会「おめでとう20歳の博物館」開催 |
| 平成19年 7月21日 | 当館と鹿児島県歴史資料センター黎明館との共同企画で企画展「樹と竹―列島の文化北から南から―」を開催 |
| 平成20年 7月19日 | 磐梯山噴火記念館および野口英世記念館と連携して共同企画展「会津磐梯山」を開催 |

II 事業の概要

1. 資料収集事業

(1) 収集展示委員会

(ア) 収集展示委員会委員

館の収集資料、企画展の計画等についての審議のため、12人を委嘱している。

収集展示委員会委員名簿

| 氏名 | 役職名 | 専門 | 備考 |
|-------|----------------------|--------|-----|
| 岡田 茂弘 | 国立歴史民俗博物館名誉教授 | 考古 | 委員長 |
| 有賀 祥隆 | 元東北大学文学部教授 | 仏教絵画 | 委員 |
| 入間田宣夫 | 東北芸術工科大学東北文化研究センター教授 | 中世史 | 同 |
| 野沢 謙治 | 郡山女子大学短期大学部教授 | 民俗 | 同 |
| 岡田 清一 | 東北福祉大学教授 | 中世史 | 同 |
| 斎藤 常正 | 元東北大学理学部教授 | 古生物 | 同 |
| 平川 南 | 国立歴史民俗博物館館長 | 古代史 | 同 |
| 原田 一敏 | 東京国立博物館上席研究員 | 工芸 | 同 |
| 村川 友彦 | 福島県史学会会長 | 近世・近代史 | 同 |
| 佐々木利和 | 国立民族学博物館教授 | 近世史 | 同 |
| 柳田 俊雄 | 東北大学総合学術博物館教授 | 考古 | 同 |
| 渡邊 一雄 | 福島県考古学会顧問 | 考古 | 同 |

(イ) 会議

平成21年度は会議を開催しなかった。各委員に、平成21年度の事業の実施概要と平成22年度の事業計画に関する資料を送り、意見を伺った。

(2) 受贈・受託

(ア) 歴史資料

1. 受贈

| | | |
|-----------------|-----|----|
| 会州一関係資料 | 94件 | 個人 |
| 風船爆弾用砂袋 | 1件 | 個人 |
| 養真亭老寿賀泉帖 他 | 3件 | 個人 |
| 小松求馬書屏風 他 | 3件 | 個人 |
| 安藤遠雪筆 四季花鳥図屏風 他 | 2件 | 個人 |
| 掛軸、渋谷源蔵日記 他 | 15件 | 個人 |
| 大澤家文書 | 1件 | 個人 |
| 星研堂筆 忠恭霊社碑拓本 | 1件 | 個人 |
| 山本家資料 | 1件 | 個人 |
| 福島家資料 | 1件 | 個人 |

2. 受託

| | | |
|--------------|------|----|
| 古文書 他 | 177件 | 個人 |
| 沼沢出雲家臣連判状 | 1件 | 個人 |
| 時事新報 | 1件 | 個人 |
| 新聞資料「会津日報」他 | 21件 | 個人 |
| 大般若波羅密多經 卷第一 | 2件 | 個人 |

| | | |
|----------|----|----|
| 圓谷氏系図 他 | 2件 | 個人 |
| 馬嶋杏雨書状 他 | 3件 | 個人 |
| 佐々木氏系図 他 | 3件 | 個人 |

(イ) 美術資料

1. 受贈

| | | |
|--------------------------|-----|----|
| 詩書屏風（岳陽樓詩） 他 | 4件 | 個人 |
| 岩浅松石「スケッチ・墨画」 | 72件 | 個人 |
| 坂内文石書状 | 1件 | 個人 |
| 吸椀塗装工程資料 | 25件 | |
| 福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター所長 | | |

| | | |
|----------|-----|----|
| 下地ヘラ | 12件 | 個人 |
| 北方警備図 他 | 6件 | 個人 |
| 黒塗葵紋蒔絵行器 | 1件 | 個人 |
| 黒塗四ツ椀 | 4件 | 個人 |
| 番傘 他 | 16件 | 個人 |

2. 受託

| | | |
|----------------|-----|----|
| 秀衡文様飾皿 片桐白鳳作 他 | 11件 | 個人 |
| 六字名号 | 1件 | 個人 |
| 石井柏亭「猪苗代湖図屏風」 | 1件 | 個人 |
| 文書類 他 | 75件 | 個人 |
| 絹本着色阿弥陀如来像 | 1件 | 個人 |
| 小平瀧十五景図 他 | 4件 | 個人 |
| 手塚治虫画たぬき漆絵皿 | 1件 | 個人 |
| 灰釉茶碗 銘会津川 他 | 33件 | 個人 |
| 柄鏡 他 | 5件 | 個人 |
| 岩浅松石「十二月風俗図屏風」 | 1件 | 個人 |

(ウ) 民俗資料

1. 受贈

| | | |
|------------------|-----|----|
| 幻燈機 | 1件 | 個人 |
| 大平・丸盆・皿エジコ 他 | 3件 | 個人 |
| お年始（真綿） 他 | 25件 | 個人 |
| 木鉢 他 | 32件 | 個人 |
| 津軽塗テーブル 他 | 19件 | 個人 |
| 表付蒔絵下駄 | 1件 | 個人 |
| ゼンマイ綿混紡ワンピース 他 | 4件 | 個人 |
| 書類、軍隊手帳 他 | 11件 | 個人 |
| シャツ（裁縫雛型） 他 | 23件 | 個人 |
| 牛置物 他 | 7件 | 個人 |
| 炬燵掛け | 1件 | 個人 |
| 伸子、コギン財布 他 | 16件 | 個人 |
| 鞆 | 1件 | 個人 |
| 木宮晃陽筆風景画、斎藤清画集 他 | | |
| | 2件 | 個人 |
| 番傘 他 | 8件 | 個人 |

2. 受託

- 表付蒔絵下駄 他 5点 個人
- (エ) 考古資料
1. 受託
(故)高石静顧コレクション 1件 個人
- (オ) 自然資料
1. 受贈
柏平層 腕足類化石 他 22件 個人
化石・鉱物・岩石標本 185件 個人
合ノ沢層産動物化石一式 26件 個人

(3) 購入

- (ア) 歴史資料
白川候伝心録 1件
- (イ) 美術資料
熊坂適山筆 唐美人図 1件
染付牡丹図手焙 1件
染付梅図壺 1件
黒釉丸鉢 1件
染付山水図大鉢 1件
鉄絵茸図皿 1件
染付草花図植木鉢 1件
黒釉湯たんぼ 1件
染付花鳥図瓢形徳利 1件
倉谷麓山「山水押絵貼屏風」 1件
倉谷麓山「山水押絵貼屏風」 1件
倉谷麓山「夏景山水図」 1件
- (ウ) 自然資料
ジュラ紀アンモナイト化石 他 72件
古生代腕足類化石 他 25件
塩原湖成層産植物化石 他 31件
- (エ) 図書資料
1. 一般図書
考古分野56冊、歴史分野27冊、美術分野37冊、民俗分野66冊、自然分野46冊、保存分野34冊、その他43冊 計309冊

2. 定期刊行物

定期刊行物リスト

| No. | 雑誌名 | 分野 |
|-----|---------------------------------------|------|
| 1 | ナショナルジオグラフィック | 共通 |
| 2 | 信濃 | 共通 |
| 3 | ミュゼ | 共通 |
| 4 | 史林 | 共通 |
| 5 | 月刊文化財 | 共通 |
| 6 | たくさんのふしぎ | 共通 |
| 7 | ニュートン | 共通 |
| 8 | 考古学研究 | 考古 |
| 9 | 考古学雑誌 | 考古 |
| 10 | 古代文化 | 考古 |
| 11 | 文化財発掘出土情報 | 考古 |
| 12 | 考古学ジャーナル | 考古 |
| 13 | 季刊考古学 | 考古 |
| 14 | 宗教研究 | 民俗 |
| 15 | 日本民俗学 | 民俗 |
| 16 | ヒストリア | 歴史 |
| 17 | 史学雑誌 | 歴史 |
| 18 | 歴史評論 | 歴史 |
| 19 | 地方史研究 | 歴史 |
| 20 | 日本史研究 | 歴史 |
| 21 | 日本歴史 | 歴史 |
| 22 | 歴史学研究 | 歴史 |
| 23 | 仏教芸術 | 美術 |
| 24 | 日本の美術 | 美術 |
| 25 | 芸術新潮 | 美術 |
| 26 | 国華 | 美術 |
| 27 | 第四紀研究 | 自然 |
| 28 | 日経サイエンス | 自然 |
| 29 | 科学 | 自然 |
| 30 | 海洋 | 自然 |
| 31 | 地球 | 自然 |
| 32 | Journal of the Foraminiferal Research | 自然 |
| 33 | 化学 | 保存科学 |

2. 保存管理事業

(1) 資料の収蔵

(ア) 博物館資料

資料受入れ時点における収蔵資料件数（概数）の、現在までの累計を示す。

収蔵資料数

(平成22年3月31日現在)

| 分野 | 件数 | 備考 |
|----|---------|--------------------|
| 考古 | 18,485 | 土器・石器・金属器ほか |
| 民俗 | 12,691 | 生活・生業・交通・信仰・芸能用具ほか |
| 歴史 | 20,923 | 書籍・文書資料ほか |
| 美術 | 6,135 | 絵画・彫刻・工芸資料ほか |
| 自然 | 47,627 | 化石・岩石・鉱物ほか |
| 合計 | 105,861 | |

収蔵指定文化財（寄託資料を含む）

| 連番 | 指定者 | 指定種別 | 資料種類 | 資料名 | 点数 | 単位 | 備考 |
|----|-----|-----------|---------|---------------------|-----|----|------------|
| 1 | 国 | 重要文化財 | 絵画 | 絹本着色阿弥陀二十五菩薩来迎図 | 1 | 幅 | 館蔵 |
| 2 | 国 | 重要文化財 | 工芸品 | 銅鉢 | 2 | 口 | 指定4口中の2口寄託 |
| 3 | 国 | 重要文化財 | 工芸品 | 椿彫木彩漆笈 | 1 | 背 | 館蔵 |
| 4 | 国 | 重要文化財 | 工芸品 | 白銅三鈷杵 | 1 | 点 | 寄託 |
| 5 | 国 | 重要文化財 | 工芸品 | 刺繍阿弥陀名号掛幅 | 1 | 幅 | 寄託 |
| 6 | 国 | 重要文化財 | 考古資料 | 会津大塚山古墳出土品 | 一括 | | 寄託 |
| 7 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画 | 絹本着色松平榮翁像 | 1 | 幅 | 館蔵 |
| 8 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画 | 七里ヶ浜遠望図 | 1 | 面 | 寄託 |
| 9 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画 | 絹本着色達磨図 | 1 | 幅 | 寄託 |
| 10 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画 | 絹本墨画著色寒山図・絹本墨画著色拾得図 | 2 | 幅 | 寄託 |
| 11 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画 | 絹本着色名体不離阿弥陀画像 | 1 | 幅 | 寄託 |
| 12 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画 | 絹本着色熊野曼陀羅図 | 1 | 幅 | 寄託 |
| 13 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画 | 絹本着色普賢菩薩像 | 1 | 幅 | 寄託 |
| 14 | 福島県 | 重要文化財 | 彫刻 | 木造地藏菩薩坐像 | 1 | 軀 | 寄託 |
| 15 | 福島県 | 重要文化財 | 彫刻 | 銅造聖観音菩薩立像（羽黒山湯上神社） | 1 | 軀 | 寄託 |
| 16 | 福島県 | 重要文化財 | 彫刻 | 銅造聖観音菩薩立像（福聚寺） | 1 | 軀 | 寄託 |
| 17 | 福島県 | 重要文化財 | 工芸品 | 銅鉢 | 1 | 口 | 寄託 |
| 18 | 福島県 | 重要文化財 | 工芸品 | 青磁牡丹唐草文大瓶 | 1 | 口 | 寄託 |
| 19 | 福島県 | 重要文化財 | 工芸品 | 刺繍阿弥陀三尊来迎掛幅 | 1 | 幅 | 寄託 |
| 20 | 福島県 | 重要文化財 | 書跡 | 紙本墨書猪苗代兼載書八代集秀逸 | 1 | 巻 | 寄託 |
| 21 | 福島県 | 重要文化財 | 書跡 | 相馬家系図 | 1 | 巻 | 寄託 |
| 22 | 福島県 | 重要文化財 | 典籍 | 家世実記 | 277 | 冊 | 館蔵 |
| 23 | 福島県 | 重要文化財 | 古文書 | 築田家文書 | 一括 | | 寄託 |
| 24 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 福島信夫山出土品 | 一括 | | 館蔵 |
| 25 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 金銅製双鱼袋金具 | 2 | 枚 | 館蔵 |
| 26 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 原山1号墳出土埴輪 | 一括 | | 館蔵 |
| 27 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 梁川城本丸跡出土品 | 一括 | | 寄託 |
| 28 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 常世原田遺跡出土品 | 一括 | | 館蔵 |
| 29 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 流廃寺跡出土金銀象嵌鉄剣 | 1 | 口 | 寄託 |
| 30 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 田村山古墳出土品 | 一括 | | 寄託 |
| 31 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 森北1号墳出土品 | 一括 | | 寄託 |
| 32 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 相馬・双葉地方の弥生時代石器 | 一括 | | 館蔵 |
| 33 | 福島県 | 重要文化財 | 歴史資料 | 絹本着色恵日寺絵図 | 1 | 幅 | 寄託 |
| 34 | 福島県 | 重要文化財 | 歴史資料 | 陸奥国会津城絵図 | 1 | 鋪 | 館蔵 |
| 35 | 福島県 | 重要有形民俗文化財 | 有形民俗文化財 | 上行合人形 | 368 | 点 | 寄託 |
| 36 | 福島県 | 天然記念物 | 化石 | パレオパラドキシア化石梁川標本 | 1 | 体 | 館蔵 |

(イ) 図書および映像資料

1. 収蔵図書数（平成22年3月31日現在）
 考古分野：21,153冊 民俗分野：4,119冊
 歴史分野：9,068冊 美術分野：2,979冊
 自然分野：14,962冊 保存分野1,362冊
 その他：47,235冊 合計：100,878冊
2. 収蔵映像資料数（平成22年3月31日現在）
 昨年度より開始した映像資料の修正登録、
 および未登録映像資料の登録作業が本年度で
 完了した。
 収蔵映像資料総数：1,370点

ている。平成21年度は、博物館資料の登録・
 管理をはじめ、データのバックアップ、シス
 テムのアップデートなどのメンテナンスなど
 を実施した。

(イ) 資料管理システムへのデータ入力

博物館資料のデータを次のとおり資料管理
 システムに入力した。表中の数値は入力済み
 資料の件数を示す。

データ入力数（平成22年3月31日現在）

| 資料類別 | データ入力 (平成21年度) | データ入力 (累計) |
|--------|-------------------|---------------|
| 考古資料類 | 18 | 10,436 |
| 民俗資料類 | 724 | 12,647 |
| 歴史資料類 | 1,739 | 32,414 |
| 美術工芸品類 | 4 | 5,743 |
| 自然標本類 | 418 | 21,256 |
| 合計 | 2,903 | 82,496 |

(2) 登録・整理

(ア) 資料管理システムの運用

平成14年度に資料管理のデータベースソ
 フトを新たに導入・カスタマイズし、それに
 伴いネットワークを構築し、サーバー・クラ
 イアント方式で資料の登録・管理を実施して
 いる。平成19年度末に一部機器類を更新し

(ウ) ボランティア

博物館資料の整理のため、次の通り資料整理ボランティアを受け入れ、資料の整理を行った。

1. 自然資料整理

猪俣桂次 標本への注記（受入番号書き込み） 通年 整理点数1,448点

桑原 功 鈴木敬治植物化石コレクションの鑑定ならびに整形・補修（コレクション中の桑原功採集資料について） 延日数21日 整理点数174点

吉田有美 鈴木敬治植物化石コレクションのデータベース登録作業（データベース用写真撮影、ラベル付けを含む） 延日数11日 整理点数243点

2. 古文書整理

14名 延べ日数108日 整理点数379点



古文書整理ボランティア

(3) 貸 出

(ア) 博物館資料

貸出資料

| 資 料 名 | 貸 出 先 (展示施設) | 期 間 | 展 覧 会 名 |
|---|----------------|---|--|
| 桜井遺跡出土土師器等 計54点 | 南相馬市博物館 | 4月1日～平成22年3月31日 | 南相馬市博物館常設展 |
| 跡見塚古墳群出土玉類 8件 318点 | 須賀川市立博物館 | 4月1日～平成22年3月31日 | 常設展「須賀川の歴史」 |
| 新地町三貫地貝塚出土鹿角製漁具 5点 | 福島県文化財センター白河館 | 4月1日～平成22年3月31日 | 福島県文化財センター白河館常設展「暮らしをささえた道具たち」コーナー |
| メタセコイア（いわき市上遠野町） コナラ属の一種（いわき市鹿島町御代） 他 計14点 | ふくしま海洋科学館 | 4月1日～平成22年3月31日 | 常設展「いわき地方の化石」 |
| 腰浜廃寺出土瓦 3点 信夫山出土遺物（鏡・仏具等） 24点 | 福島県文化財センター白河館 | 4月1日(水)～5月20日(水) | 福島県文化財センター白河館企画展「まほろん春のてんじ 信編陸奥国風土記 巻之七 信夫郡」 |
| 荒好氏・平宗雄氏・八巻安夫氏 所蔵軟体動物類化石 | 南相馬市博物館 | 4月10日～7月4日 | 南相馬市博物館特別展「アンモナイト・ワールドー相馬地方のアンモナイトとそのなまたちー」 |
| 永山巨氏寄贈常磐炭田生活用品24点 詳細は別紙のとおり | いわき市石炭・化石館 | 4月16日～4月28日 | 常磐炭田史研究会主催企画展「常磐炭田産業遺産のストーリー」展 |
| 相馬市双葉地方の弥生石器資料のうち 桜井遺跡出土 石器 22点 桜井遺跡出土 紡錘車 1点 合計23点 | 南相馬市博物館 | 4月17日～6月30日 | 南相馬市博物館常設展 |
| 土佐光芳筆「北斗真形図」 9幅 | 三井記念美術館 | 7月11日～9月6日 (展示期間) | 「道教の美術」展 |
| 小川芋銭「年中行事十二ヶ月図屏風」 6曲1双 石井柏亭「猪苗代風景図屏風」 4曲1双 | 福島県立美術館 | 9月4日～12月13日 (展示：10月10日～11月23日) | 「文化の力ー福島と近代美術ー」展 |
| 土佐光芳筆「九曜星図」 9幅 | 大阪市立美術館 | 9月15日～10月25日 (展示期間) | 「道教の美術」展 |
| 福聚寺 銅造聖観音菩薩立像 1軀 羽黒湯上神社 銅造聖観音菩薩立像 1軀 | 東北歴史博物館 | 9月18日～11月1日 (開催期間) | 「東北の群像ーみちのく祈りの名宝ー」展 |
| 新島八重子書「心和天真」 1点 | Neesima Room | 11月2日～12月16日 | 企画展「新島八重の生涯ー進取と矜持ー」 |
| 土佐光芳筆「九曜星図」 9幅 | 長崎歴史文化博物館 | 平成22年1月23日～ 平成22年3月22日 (展示期間) | 「道教の美術」展 |
| 近世の貨幣資料 プレート4枚 | 郡山市民ふれあいプラザ展示室 | 平成22年1月24日(日)～ 平成22年2月21日(日) | 「平成21年度第2回郡山市文化財企画展」 |
| 「泰西王侯騎馬図屏風」 「源氏物語図屏風」 | 会津若松城天守閣郷土博物館 | 平成22年3月1日～ 平成22年5月31日 (展示：平成22年3月27日 ～平成22年5月9日) | 会津若松城天守閣郷土博物館春期企画展「蒲生氏郷と華麗なる桃山文化」 |

(イ) 写真資料

写真資料貸出掲載許可件数80件
美術分野62枚、歴史分野35枚、考古分野37枚、民俗分野6枚、自然分野6枚 延べ枚数146枚

(4) 保存

(ア) 防虫作業等

1. 保存環境調査

常設展示室・収蔵資料展示室・企画展示室、収蔵庫（一時、第1～第6収蔵庫）、エントランスホール、体験学習室、講堂、事務室、会議室、研究室、図書室、空調機械室など主

要なスペースについて昆虫、空中浮遊菌、空中浮遊塵埃数、室内塵埃中昆虫、気相（酸・アルカリ度、ホルムアルデヒド、酢酸、アンモニアの気中濃度）及び温度、湿度、照度等について調査を行った。

調査は季節による生息害虫等の状況を確認するため、7月7日～7月31日、11月17日～12月4日の2回にわたり実施した。

2. 燻蒸庫による燻蒸

第1回（5月14日）～第4回（2月17日）まで、新収蔵資料および企画展出品資料を中心に約587件の燻蒸を実施した。

3. 展示事業

(1) 常設展示

総合展示と部門展示からなる。総合展示は、原始から現代までの福島県の歴史を通観し、人々の暮らしを時系列に沿って展示している。原始・古代・中世・近世・近現代・自然と人間のテーマで構成される。部門展示は、テーマ性の高い専門的な展示であり、民俗・自然・考古・歴史美術の展示に分かれる。部門展示の歴史美術は常設展示の中ではギャラリー的な役割を受

け持ち、年間7～8回のテーマを持ったミニ展示を開催している。

常設展示内ではこれまでも展示替えが行われてきたが、今年度からこれらを整理して1点からでも可とするポイント展、テーマをもったテーマ展に分けた。したがって、歴史美術の部屋での期間展示も上記テーマ展に含めることとなった。

(ア) 展示テーマと展示資料数

テーマ別展示資料数

(平成22年3月31日現在)

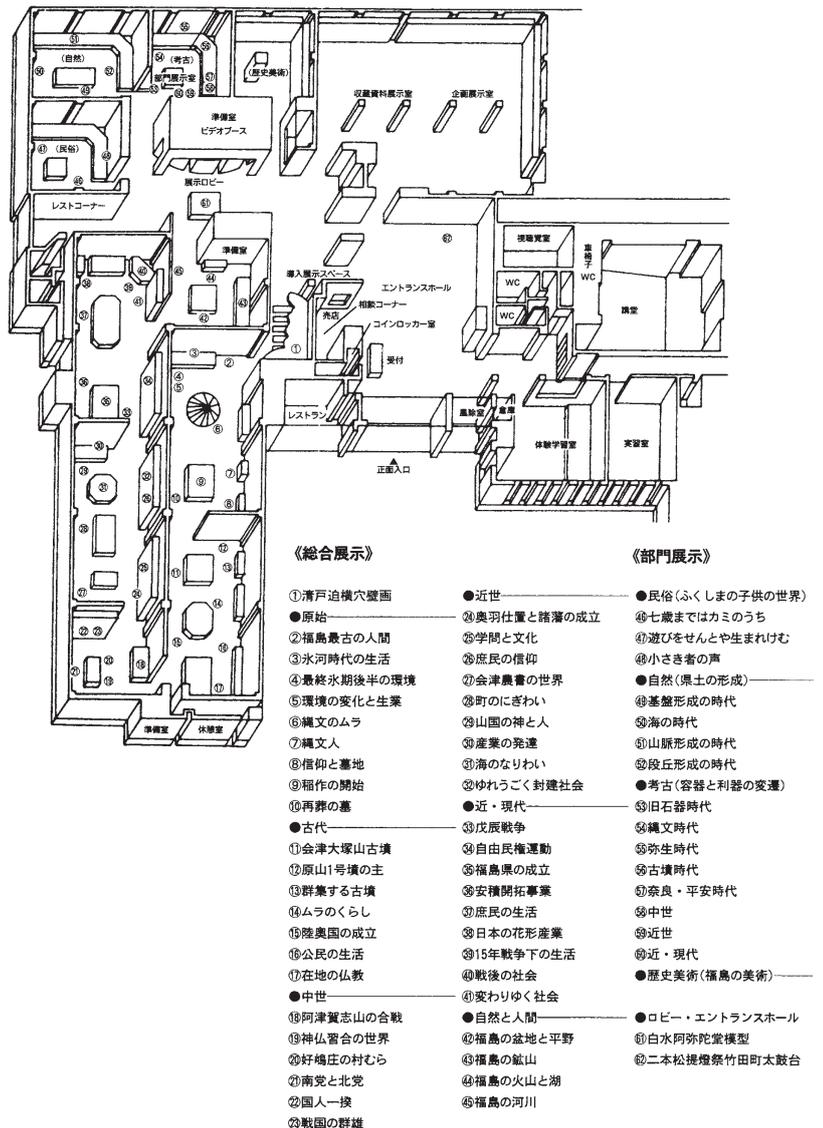
| 大テーマ | 中テーマ | 標本 | 情報 | 計 | 大テーマ | 中テーマ | 標本 | 情報 | 計 | |
|-------------|-------------|-----|----|-----|-------------|--------------|----------------|-----|-----|----|
| A 原 始 | A-1 福島最古の人間 | 37 | 16 | 53 | C 中 世 | C-1 阿津賀志山の合戦 | 1 | 5 | 6 | |
| | 2 氷河時代の生活 | 66 | 3 | 69 | | 2 神仏習合の世界 | 48 | 1 | 49 | |
| | 3 最終氷期後半の環境 | 15 | 2 | 17 | | 3 好嶋庄の村むら | 5 | 2 | 7 | |
| | 4 環境の変化と生業 | 215 | 8 | 223 | | 4 南党と北党 | 21 | 3 | 24 | |
| | 5 縄文のムラ | 158 | 14 | 172 | | 5 国人一揆 | 4 | 3 | 7 | |
| | 6 縄文人 | 3 | 4 | 7 | | 6 戦国の群雄 | 27 | 4 | 31 | |
| | 7 信仰と墓地 | 64 | 13 | 77 | | 小 計 | 106 | 18 | 124 | |
| | 8 稲作の開始 | 97 | 6 | 103 | | D 近 世 | D-1 奥羽仕置と諸藩の成立 | 15 | 2 | 17 |
| | 9 再葬の墓 | 12 | 14 | 26 | | | 2 学問と文化 | 26 | 2 | 28 |
| | 小 計 | 667 | 80 | 747 | | | 3 庶民の信仰 | 62 | 0 | 62 |
| B 古 代 | B-1 会津大塚山古墳 | 175 | 5 | 180 | 4 会津農書の世界 | | 58 | 2 | 60 | |
| | 2 原山1号墳の主 | 26 | 1 | 27 | 5 町のにぎわい | | 34 | 8 | 42 | |
| | 3 群集する古墳 | 48 | 6 | 54 | 6 山国の神と人 | | 51 | 3 | 54 | |
| | 4 ムラの暮らし | 217 | 7 | 224 | 7 産業の発達 | | 25 | 2 | 27 | |
| | 5 陸奥国の成立 | 42 | 23 | 65 | 8 海のなりわい | | 29 | 1 | 30 | |
| | 6 公民の生活 | 135 | 3 | 138 | 9 ゆれうごく封建社会 | | 27 | 11 | 38 | |
| | 7 在地の仏教 | 8 | 2 | 10 | 小 計 | 327 | 31 | 358 | | |
| | 小 計 | 651 | 47 | 698 | | | | | | |

| 大テーマ | 中テーマ | 標本 | 情報 | 計 | 大テーマ | 中テーマ | 標本 | 情報 | 計 |
|-----------------------|----------------|-----|-----|-----|---------------------|----------------|-------|-----|-------|
| E 近 ・ 現 代 | E-1 戊辰戦争 | 28 | 11 | 39 | 自然 県土の形成 | 1 基盤形成の時代 | 193 | 24 | 217 |
| | 2 自由民権運動 | 27 | 19 | 46 | | 2 海の時代 | 126 | 9 | 135 |
| | 3 福島県の成立 | 36 | 8 | 44 | | 3 山脈形成の時代 | 53 | 11 | 64 |
| | 4 安積開拓事業 | 5 | 15 | 20 | | 4 段丘形成の時代 | 63 | 9 | 72 |
| | 5 庶民の生活 | 29 | 16 | 45 | | 小 計 | 435 | 53 | 488 |
| | 6 日本の花形産業 | 37 | 17 | 54 | | (a 旧石器・縄文・弥生) | 166 | 1 | 167 |
| | 7 15年戦争下の生活 | 45 | 10 | 55 | | (b 古墳・奈良・平安) | 160 | 0 | 160 |
| | 8 戦後の社会 | 54 | 5 | 59 | | (c 中世・近世) | 20 | 0 | 20 |
| | 9 変わりゆく社会 | 0 | 4 | 4 | | (d 近・現代) | 14 | 0 | 14 |
| | 小 計 | 261 | 105 | 366 | | 小 計 | 360 | 1 | 361 |
| F 自然と人間 | F-1 福島の盆地と平野 | 27 | 7 | 34 | 考古 利器の器 器の変遷と | テーマ展示 | 29 | 0 | 29 |
| | 2 福島の鉱山 | 71 | 14 | 85 | | 小 計 | 29 | 0 | 29 |
| | 3 福島の火山と湖 | 13 | 7 | 20 | | ビデオ・ブース | 1 | 32 | 33 |
| | 4 福島の河川 | 11 | 20 | 31 | | ホール・ロビー | 2 | 1 | 3 |
| | 小 計 | 122 | 48 | 170 | | 小 計 | 3 | 33 | 36 |
| 民俗 子供の 世界の | 1 七歳まではカミのうち | 114 | 14 | 128 | 歴史 美術 その他 | 総合展示計 | 2,134 | 329 | 2,463 |
| | 2 遊びをせんとや生まれけむ | 134 | 16 | 150 | | 部門展示計 | 1,087 | 95 | 1,182 |
| | 3 小さき者の声 | 15 | 11 | 26 | | 合計 | 3,221 | 424 | 3,645 |
| | 小 計 | 263 | 41 | 304 | | 総計〔総合・部門・導入展等〕 | 3,224 | 457 | 3,681 |

展示資料中の借用資料数（平成22年3月31日現在）

| 区分 | 大テーマ | 標本資料 | 情報資料 | 合計 | 借用資料(内数) |
|------|------------------|-------|------|-------|----------|
| 総合展示 | 原 始 | 667 | 80 | 747 | 193 |
| | 古 代 | 651 | 47 | 698 | 356 |
| | 中 世 | 106 | 18 | 124 | 10 |
| | 近 世 | 327 | 31 | 358 | 144 |
| | 近・現代 | 261 | 105 | 366 | 120 |
| | 自然と人間 | 122 | 48 | 170 | 45 |
| 部門展示 | 民 俗 | 263 | 41 | 304 | 20 |
| | 自 然 | 435 | 53 | 488 | 35 |
| | 考 古 | 360 | 1 | 361 | 160 |
| | 歴史・美術 (テーマ展示) | 29 | 0 | 29 | 0 |
| | ロビー他 | 3 | 33 | 36 | 0 |
| 総 計 | | 3,224 | 457 | 3,681 | 1,083 |

福島県立博物館の展示構成



(イ) テーマ展

本年度より常設展エリア内において、収蔵品を中心として特定のテーマを設定した小・中規模展示を「テーマ展」として実施した。

- ① 「石井研堂の足跡を訪ねて」(部門展示室歴史・美術)
平成21年3月14日(土)～5月10日(日)
- ② 「旧家の装いと彩り —高橋家資料展—」(部門展示室歴史・美術)
平成21年5月16日(土)～6月28日(日)
- ③ 「けんぱく版課外授業 —見る教科書—」(部門展示室歴史・美術)

平成21年7月4日(土)～8月23日(日)

- ④「明治21年の磐梯山噴火による地形変化」
(総合展示室自然と人間)
平成21年7月14日(火)～12月27日(日)
- ⑤「収蔵・寄託 県指定考古資料展」(部門
展示室考古)
平成21年7月22日(水)～平成22年1月31日(日)
- ⑥「照姫と敏姫 ー新収資料でよみとく幕末
会津藩の裏側ー」(部門展示室歴史・美術)
平成21年8月29日(土)～10月4日(日)
- ⑦「けんぱくの宝2009」(部門展示室歴史美術)
平成21年10月10日(土)～11月23日(月)
- ⑧「ズームアップ! 平島松尾 ー民報・民友
の生みの親ー」(部門展示室歴史・美術)
平成21年11月28日(土)～平成22年1月11日(月)
- ⑨「冬虫夏草 ー標本と精密画原画ー」(部
門展示室歴史・美術)
平成22年1月16日(土)～2月28日(日)
- ⑩「絵で見る歳時記 ー四季の楽しみー」(部
門展示室歴史・美術)
平成22年3月6日(土)～4月11日(日)



テーマ展「ズームアップ! 平島松尾」



テーマ展「冬虫夏草」

(ウ) ポイント展

本年度より常設展エリア内において、収蔵品を中心として特別に資料を公開する「ポイント展」を実施した。

- ①「縄文の匠 荒屋敷遺跡」(総合展示室原始)
平成21年4月21日(火)～平成22年3月31日(水)
- ②「勿来金冠塚古墳の古墳時代冑」(総合展
示室古代)
平成21年4月21日(火)～9月23日(水)
- ③「中尊寺経 (清衡経)」(総合展示室古代)
平成21年4月25日(土)～6月21日(日)
- ④「葦名盛氏と伊達政宗 ー上杉・直江のラ
イバル①ー」(総合展示室中世)
平成21年6月4日(木)～12月2日(水)
- ⑤「蒲生氏郷と秀行 ー上杉・直江のライバ
ル②ー」(総合展示室近世)
平成21年6月4日(木)～12月2日(水)
- ⑥「ふくしま最古の化石」(部門展示室自然)
平成21年7月14日(火)～8月25日(火)
- ⑦「日本最古のアリ化石」(部門展示室自然)
平成21年7月14日(火)～8月25日(火)
- ⑧「謎の海獣パレオパラドキシア」(部門展
示室自然)
平成21年7月14日(火)～8月25日(火)
- ⑨「ゾウのいたふくしま」(部門展示室自然)
平成21年7月14日(火)～8月25日(火)
- ⑩「会津慧日寺の宝物」(総合展示室古代)
平成21年7月16日(木)～8月21日(金)
- ⑪「戦時下の資料」(総合展示室近・現代)
平成21年7月16日(木)～8月21日(金)
- ⑫「玉のアクセサリー」(総合展示室原始)
平成21年7月22日(水)～平成22年3月31日(水)
- ⑬「古代の鉄生産」(総合展示室古代)
平成21年9月15日(火)～平成22年3月31日(水)
- ⑭「中尊寺経 (秀衡経)」(総合展示室古代)
平成21年9月26日(土)～11月23日(月)
- ⑮「福島県の教育のあゆみ」(総合展示室近・
現代)
平成21年10月22日(木)～11月18日(水)
- ⑯「宮参りと晴着」(部門展示室民俗)
平成21年10月24日(土)～11月23日(月)
- ⑰「紙漉き」(総合展示室近世)
平成21年12月19日(土)～平成22年3月31日(水)
- ⑱「小さなひな祭り」(部門展示室民俗)
平成22年2月6日(土)～平成22年4月4日(日)



ポイント展「葦名盛氏と伊達政宗」



ポイント展「ゾウのいたふくしま」

(2) 企画展示

歴史・美術・民俗・考古・自然の各分野が企画し、館のオリジナルなテーマに基づいた展示を2ヶ月程度の期間で年に数回開催している。平成21年度は1回の企画展を実施した。

(ア) 秋の企画展

「岡本太郎の博物館・はじめる視点 ―博物館から覚醒するアーティストたち―」

1. 会 期 平成21年10月10日(土)～
11月23日 (月・祝)
2. 会 場 企画展示室
3. 入館者数 3,057人
4. 担当学芸員 美術分野：川延安直
5. 趣 旨

長年過ごしたパリから日本に戻った岡本太郎は、東京国立博物館で出会った縄文土器に魅せられ、日本の文化を見つめ直す旅に出る。遺された写真は、芸術家の鋭い観察力に民族的視点も兼ね備えた岡本独自のものであった。残された膨大なネガには、各地の風俗、祭りの他に各地の資料館や博物館で撮影された資料の写真が散見される。

パリ時代の太郎が頻繁に通った場所は、人類学博物館だった。縄文発見の舞台も博物館

だった。太郎の最大のプロジェクト太陽の塔も、国立民族学博物館として今につながっている。本展覧会では、岡本太郎が撮影した写真を中心に、彼がミュージアムに見いだしたものを探ってみた。

また、太陽の塔内部に世界各地の仮面・神像が展示された地下展示「いのり」にならない、福島県・東北地方の考古・民俗資料で「東北の太陽の塔」を構成・展示した。会場構成は福島大学准教授渡邊晃一氏が行い、会場では森繁哉氏、平山素子氏が当館で行ったパフォーマンスの映像を上映した。

さらに、岡本太郎が博物館から多くを学び取ったように、福島県立博物館が次世代のアートの誕生に寄与するべく、福島県縁のアーティストたちに、博物館の資料を開き、作品の創造を促し、常設展示室をはじめ館内各所に作品を展示した。博物館の収蔵資料はアーティストたちの創造意欲を高め、アーティストによって資料に対するあらたな読みが提示された。また、常設展示にアート作品が混入することで、来館者は展示資料の発するメッセージにあらためて関心を向けることになった。

日本の文化に目を向けた岡本太郎と、郷土の歴史を紐解く次世代のアーティストたちの2つの視点が福島県立博物館の常設展示会場で交差した。

6. 展示構成

I 岡本太郎の博物館 はじめる視点

岡本太郎が撮影した縄文土器・郷土玩具などの「モノ」の写真を展示した。

II 東北の「太陽の塔」

福島県出土の土偶・土器などの考古資料、道祖神・仕事着などの民俗資料で「太陽の塔」地下展示をイメージし構成した。

III 博物館から覚醒するアーティストたち

常設展示室に現代の美術家の作品を展示した。

7. 関連行事

①記念講演会「岡本太郎という思想」

講師 館長 赤坂憲雄

日時 10月17日 午後1時30分～3時

場所 福島県立博物館講堂 無料

②ギャラリートーク

日時：10月17日 午後3時30分～4時

講師 館長 赤坂憲雄

③プレイベント

8月30日(日) かえっこバザール@あいづ
(主催 会津若松市幼稚園連絡協議会・福

島県立博物館)

10月2日(金)3時～4時30分

森 繁哉・赤坂憲雄:トーク「舞踏の東北・太郎の東北」

10月3日(土)10時30分～11時30分

森 繁哉:舞踏ワークショップ「昔のくらし 体で知ろう」

10月3日(土)1時30分～4時30分

森 繁哉:舞踏パフォーマンス「展示室から」「岡本太郎に向き合って」・対談「けんぱくで見直すカラダ」(文化庁文化芸術による創造のまち助成事業)

④公演

10月25日(日)3時30分～

山田広野・しでかすおともだち:活弁上映会 活弁士・山田広野と見る「はじめる視点」ツアー

11月23日(月・祝)3時30分～5時

松本祐一:アンケートアート「岡本太郎についてどう思いますか?」

⑤ワークショップ

10月10日(土)1時30分～

国府由美子:仏様は何を着ていたのかな? 着てみよう&見てみよう

10月11日(日)1時30分～

吉田重信:光りのらくがき・黄金発掘

10月12日(月・祝)1時30分～

出町光識:うぶすなアートラボ I お面で自分の顔を変身させよう

10月18日(日)1時30分～

山本伸樹:新聞紙を丸めて貼って子豚を作ろう

10月24日(土)1時30分～

伊藤達矢:縄文人の家を飾ろう 竪穴住居に花飾り

10月24日(土)2時30分～

塩谷良太:縄文人の家を飾ろう 竪穴住居をクリッピング

11月7日(土)1時30分～

わたなべあずさ:段ボールで作るはにわとおもしろ動物

11月8日(日)3時30分～

出町光識:うぶすなアートラボ II 目玉土偶のお面で博物館を冒険しよう

⑥パフォーマンス

11月1日(日)1時30分～

川島大佳:大字揮毫

⑦アーティストトーク

11月23日(月・祝)1時30分～3時

- ・削減が続く予算の中で企画展を開催するため、さまざまな助成金、支援事業に申請し企画展開催が可能な資金を調達できた。福島大学、会津若松市幼稚園連絡協議会等の団体と連携することで単独では困難な事業を開催できた。
- ・多くの美術家と交流を持つことが出来た。また彼らに博物館の存在を知らせ、博物館があらたな芸術の創造に深く寄与できる可能性を示せた。
- ・担当者の能力不足のため、展示作品の意味が不明、常設展示が混乱する等の批判が寄せられ、さらに館内でも展示内容が不明確、博物館で開催する意味が不明等の意見がほとんどで理解は得られなかった。



「岡本太郎の博物館」リーフレット



「岡本太郎の博物館」館長ギャラリートーク

8. 成果と課題



アーティストトーク（飾られた竪穴式住居）



舞踏パフォーマンス「展示室から」



ワークショップ「段ボールで作るはにわとおもしろ動物」

(3) 特集展

本年度から、テーマを設けた小規模な企画展を「特集展」と名付け、開催することとなった。

(ア) 春の特集展「直江兼続と会津の戦国武将」

1. 会期 平成21年4月25日(土)～5月31日(日)
2. 会場 企画展示室（常設展料金）
3. 入館者数 15,450人（会期中の常設展入館者数）

4. 担当学芸員 歴史分野：高橋 充

5. 趣旨

小説やドラマで話題になっている直江兼続は、会津の歴史ともさまざまな形で関わりがあった。新潟から会津、米沢へと領地を移した上杉氏の動向や、葦名氏・伊達氏・蒲生氏・保科（松平）氏など会津の歴代領主との関わりなどを紹介し、戦国時代・江戸時代初期の会津の歴史に、新たな光を当てる展示である。この展示は三館（県文化センター・県立博物館・まほろん）連携企画「直江兼続とふくしま」の一環として開催された。「天地人」関連の展示やイベントは各地で実施されたが、とくに「会津」ならではの、という視点を大切にして、この時代の歴史の奥深さや面白さに触れていただくことを目指して企画した。

6. 展示構成

I 上杉景勝・直江兼続の生涯

県内に所在する景勝・兼続・上杉家家臣の古文書ならびに直江兼続の肖像画（『集古十種』）を展示し、あわせてゆかりの地の写真パネルなどを展示した。

II 会津の戦国武将列伝－兼続のライバルたち－

葦名・伊達・蒲生・保科（松平）氏関係資料を展示し、上杉氏との関わりなどを解説した。

III 上杉百二十万石時代の城

上杉領の城館の出土品（陶磁器・漆器・瓦など）や城跡のようすを示す写真パネルなどを展示した。

7. 関連行事

①ミュージアムイベント「シンポジウム 会津の景勝・兼続」

日時 5月16日(土)午後1時30分～午後4時30分

講師 新潟大学教授 矢田俊文氏
講演「上杉謙信・景勝と直江兼続」
福島県歴史資料館主任学芸員

渡邊智裕氏

報告「直江兼続配下の代官群像」
福島県歴史資料館主幹 本間 宏氏
報告「神指城について」

福島県立博物館学芸員 阿部綾子
報告「会津藩家世実紀にみる上杉氏」

②歴史講座「古文書からさぐる直江兼続の時代1 花押・印章からみる兼続のライバルたち」

日時 5月9日(土)午後1時30分～午後3時
講師 福島県立博物館主任学芸員 高橋 充

③展示解説会

4月25日(土) 4月26日(日) 5月30日(土)
5月31日(日)

各回とも午後1時30分～午後2時30分

講師 当館学芸員 高橋 充

8. 成果と課題

- 話題性のあるタイムリーな企画であったため、入館者は予想以上に多かった。
- 3館で連携したメリットとして、写真パネルの巡回などによって各館の展示が充実したこと、関連行事などに相互に職員を派遣できたこと、展示や行事の宣伝・広報を協力して実施できたことなどがあげられる。
- 上杉氏に関する県内の資料は、もともと少ないが、それらをほぼすべて集めることができ、また新たに所在が確認された新出資料も展示することができた。
- 入館者アンケートの中には、展示品の数が少なく、期待していた展示品がなかったことに対する不満の声があった。また、歴史愛好者には理解しやすいが、そうでないと、内容がやや難解であるという意見もあった。話題性のある企画であっただけに、気軽に入館してみた方にも、人物や時代背景などが手際よく理解できるような展示手法を、もっと工夫する必要がある。



「直江兼続と会津の戦国武将」展示解説会 1



「直江兼続と会津の戦国武将」展示解説会 2

(イ) 夏の特集展「第2回うつくしま自然展 ― 貴重なふくしまの自然を守る―」

主催：うつくしま自然展実行委員会・福島県立博物館

後援：福島大学自然共生・再生プロジェクト

1. 会 期 平成21年7月7日(火)～9月4日(金)
2. 会 場 企画展示室 (常設展料金)
3. 入館者数 13,660人 (会期中の常設展入館者数)
4. 担当学芸員 自然分野：竹谷陽二郎
5. 趣 旨

人間は野生動物に見るような肉体的な特技は何一つもっていない。それでも繁栄しているのは、自然を改造する能力をもっていたことにある。しかし、人間だけの都合で作り変えられた人工生態系も、現在いろいろの環境問題を抱えて存続が危ぶまれている。この危機をしのぐには、人工生態系を支えている自然生態系に目をやり、自然生態系に調和するように人工生態系の在り方を変えていかなければならない。そのためには、本来の自然生態系がどういうものか、まずは知る必要がある。この展示会では、ふくしまの動植物・鉱物研究団体の研究活動を紹介し、彼らが収集した標本・資料等を展示することにより、ふくしまの多様で貴重な生き物やその生息環境について知識を深める機会としたい。

6. 展示構成

プロローグ 自然生態系

46億年にわたる自然生態系の発達と、人類が誕生して自然生態系を改変して作り上げた人工生態系について概説した。

I ふくしまの植物

福島県の特徴的な植生とそれを決定づける気候と地形、多様な植物の成り立ちを展示した。また、現在その存続が危ぶまれている希少植物を示した。

II ふくしまの動物

哺乳類、両生類・爬虫類、鳥類、淡水魚、昆虫など、福島県の豊かな動物相と希少植物について展示した。また、各研究団体に取り組んでいる保護活動を紹介した。

III 冬虫夏草

冬虫夏草とは、主に昆虫から生える不思議なキノコの総称。福島県で発見されている主要な冬虫夏草を紹介した。

IV 地域の自然

福島県の特徴ある自然を残している地域のうち、只見の自然と石川の鉱物を取り上げて展示した。

エピローグ 自然保護

自然保護のために福島県で行われている環境教育の取り組みを紹介した。

7. 関連行事

①ミュージアムイベント 昆虫にさわってみよう

日時 8月1日(土)午前10時～午後4時

会場 博物館エントランス前広場

内容 カブトムシなどの昆虫に触る。昆虫標本の作り方を学ぶ。また、淡水魚である生きたイトヨを観察する。コアシサシ(鳥)のペーパークラフトの台紙を用意し製作過程を展示する。

②うつくしま自然博士になろう

日時 8月1日(土)午前10時～午後4時

会場 展示室(要常設展チケット)

内容 展示についてのクイズに答えて、全問正解者には「うつくしま自然博士」の認定証を授与する。

③鶴ヶ城の自然を観察しよう

日時 8月1日(土)午前10時～12時

場所 会津若松市鶴ヶ城周辺

講師 福島大学共生システム理工学類准教授 黒沢高秀氏、日本野鳥の会会津支部長 林 克之氏

内容 鶴ヶ城の植物や野鳥を観察し、その種類や生態について学ぶ。

④展示解説会

日時 7月7日(火)午後1時30分、8月1日(土)午後1時30分

講師 福島大学名誉教授 樫村利道氏ほか 展示参加各団体代表者

8. 参加団体

福島県生物同好会、福島県植物研究会、会津生物同好会、日本野鳥の会福島県内支部連合会、会津イトヨ研究会、福島虫の会、日本冬虫夏草の会、只見の自然に学ぶ会、石川町歴史民俗資料館、福島県自然保護協会

9. 成果と課題

- 支部を含めて15団体もの参加であったが、実行委員長の樫村先生を中心に、全体としてうまく連携できた。
- 展示面積は、各団体の要望をくみ取った結果、当初予定の2.5倍に膨れ上がった。見通しが甘かったと言える。
- 各団体の積極的な協力があり、展示作業やイベントはスムーズに進行した。
- 各団体が関わらない部分の展示、「哺乳類」「両生類・爬虫類」では、ただ写真や標本を並べただけとなってしまった。このグ

ループの分布の概要や絶滅希少種の問題につっこめればよかった。

- 展示動線が不明瞭で観覧者にとまどいを感じさせた。
- せっかくの展示、移動展として県内を回すこともあり得たか。
- 実行委員会としては自然史博物館の必要性をもっと前面に出してアピールしても良かった。県博との共催なので、それを主張するのはどうかと遠慮したきらいがある。
- どのようにすれば絶滅を防げるかについて、コーナーを設けて展示すれば、展示意図がよりはっきりしたかもしれない。
- 今後もこのような連携事業を企画できればと思う。



「第2回うつくしま自然展」展示風景



「第2回うつくしま自然展」展示解説会



「うつくしま自然博士になろう」



「鶴ヶ城の自然を観察しよう」

(ウ) Action for KIDS 特集展「会津とマンガ文化 -アニメ監督・笹川ひろしの原点-」

NPO 法人会津マンガ文化研究会と共催
企画協力：株式会社竜の子プロダクション
協力：株式会社手塚プロダクション

1. 会 期 平成21年 8月15日(土)～9月23日
(水・祝) ※開館日数は35日
2. 会 場 企画展示室 (観覧無料)
3. 入場者数 12,174人 (デジタルカウンターによる計算)
4. 担当学芸員 阿部綾子・森 幸彦・田中敏・鈴木克彦・横須賀倫達
5. 趣 旨

夏休みは Action for KIDS と銘打ち、子どもをターゲットとした行事を企画している。その一環としての特集展。

昭和31年に誕生した会津漫画研究会の諸活動や、笹川ひろし氏をはじめとする会員の方々の活躍に注目し、会津とマンガ文化との意外な関わりを紹介した。会津漫画研究会は漫画への情熱を共有した少年たちによって結成され、3名もの会員を手塚治虫のアシスタ

ントとして輩出した。その関係で手塚治虫の会津旅行が実現し、手塚治虫が会津の観光名所を舞台とした作品を残すきっかけとなった。アシスタントの一人で会津旅行にも同行していた笹川ひろし氏は、のちにアニメ制作会社・竜の子プロダクションの設立に参加し、ヤッターマンなどのタイムボカンシリーズやハクション大魔王といった印象に残る数々のアニメーション作品を手がけて日本アニメ界に大きな足跡を残している。

6. 展示構成

I 結成！会津漫画研究会

会津漫画研究会の会誌や会員の作品原稿、手塚治虫が会津旅行をした際の交流を示す資料（写真や色紙、漫画教室開催時に使用した模造紙など）を展示。

II アニメ監督・笹川ひろしの原点

笹川氏が手塚治虫のアシスタントになるきっかけとなった漫画原稿や、上京後の心情をつづった会津漫画研究会の仲間への手紙、漫画家時代の作品など、笹川氏のルーツを紹介。竜の子プロダクション作品の絵コンテ・セル画なども展示した。

7. 関連行事

- ①ミュージアムイベント 親子で楽しむ野外映画会「火の鳥～ヤマト編～」【参加者110名】

日時 8月15日(土)午後7時～8時 於中庭

- ②子どものためのマンガ教室～教えて！笹川ひろし先生～【参加者39名／定員40欠席1】

日時 9月19日(土)午後2時～3時30分

於実習室

講師 株式会社竜の子プロダクション

笹川ひろし氏

※教室がはじまる前に、午後1時30分から約30分間、講堂で1977年にテレビ放映された『タイムボカンシリーズ ヤッターマン』の第1話を無料上映【参加者100名】

- ③展示解説会

8月15日(土) 講師 NPO 法人会津マンガ文化研究会 白井祥隆氏 参加者30名

8月22日(土) 講師 NPO 法人会津マンガ文化研究会 白井祥隆氏 参加者10名

9月23日(水) 講師 当館学芸員

参加者5名

8. その他

- ①会期中、展示室入り口に“よむよむコーナー”設置（手塚治虫全集を配架）
- ②会期中の土日祝日のうち、都合がつく日に

グッズショップ開設（大体12:00～15:00）

9. 成果と課題

① 成果

- アンケートを見ると、展示内容に興味を持って初めて来館して下さった方が複数おり、新たな客層の獲得につながったのではないかと思う。
- アンケートでは「楽しめる展示」「子どもにかえった」「いい企画」「異色の展示」「もっとこういうテーマを」など肯定的な意見を多く頂いた。また「地元の方の活躍を紹介してもらってうれしい」「笹川先生が会津出身だと言うことを知って、誇らしい」「今後また会津から出た方の企画をして欲しい」等の声も多く、地元出身で広く活躍している人を取り上げることに對する要望は多いと感じた。
- 展示室内で上映した竜の子プロダクションのオープニング集は人気が高く、親子で語らいながら見ていた家族連れも多かった（特にヤッターマンは、親が旧作の、子が新作のファンである場合あり）。竜の子プロダクションのご協力により映像や音声を用意することができ、親子で楽しんで貰えたのが良かった。テーマソングを口ずさみ、懐かしんでいた人が多くみられた。オープニング集がなかったら、展示室の印象はかなり違ったものになっていた（寂しい印象だった）と思う。
- 会津マンガ文化研究会のご協力を得て展示室入り口に設置した“よむよむコーナー”（手塚治虫全集を配架）について。手塚治虫を懐かしむ世代の人達や、手塚治虫を知らない世代の子ども達も多く利用していた。じっくり腰を据えて読む人が多く、良き漫画文化に触れてもらうには良い試みだったと思う。心配された盗難もなかった。
- マンガ教室について。笹川先生にお出で頂き、子ども達にマンガの楽しさやメッセージを生ので伝えて頂けて非常に良かったと思う。来館者からは「このような体験を東京に行かなくてもできるのはうれしい」という声を頂いた。子ども達には、展示そのものよりこうした貴重な経験をするの方が強く印象に残ったと思われる。
- 今回は多方面（笹川先生をはじめ、NPO 法人会津マンガ文化研究会、会津漫画研究会、株式会社竜の子プロダク

ション、株式会社手塚プロダクション等）にご協力頂いて出来上がった展示であり、多くの方々とつながりが出来たことが一つの財産だと思う。

② 課題

- 準備期間が短く（3月に立案）、関係先も多かったため、諸調整に非常に時間がかかった。著作権の問題もあったため、やはり最低でも1年以上の準備期間があると、スペースや資料、展示構成等の面でより充実したものになったと思われる。また調整に思ったより時間を要したことから、展示期間やマンガ教室の開催を当初予定から遅らさざるを得ず、諸方面にご迷惑をかけた。こうした経緯により広報活動の開始も直前となり、残念であった。ただ展示内容に対するマスコミの注目度が高かったため、広報開始後は多くの媒体に取り上げてもらい、入館者の増加につながったと思う。
- 急に決まった企画だったため、館の担当者はそれぞれ以前から予定していた展示・講座・イベント等と重なって諸方面で調整が必要であり、無理が生じた部分がある。
- Action for KIDS（館で行っていた、夏休みの子ども向け各種イベントの総称）の開催期間中でありその一貫として展示を行ったが、内容はむしろ往年の子ども向け（ジャングル大帝やアトム世代、タイムボカンシリーズ世代など、30代後半以上）であったと思う。アンケートでも30代以上の層に好評で、子どもからはアンパンマン・ドラえもん・プリキュア・ヤッターマンなどの企画を求める声が多数聞かれた。「Action for KIDS 特集展」と銘打つには、企画段階から子ども向けに徹底して準備する必要があった。



「会津とマンガ文化」展示解説会



子どものためのマンガ教室



マンガ読みコーナー

(エ) 冬の特集展「平成新指定史跡展覧 ―未来へつなぐ福島の遺跡―」

1. 会 期 平成22年2月13日(土)～5月16日(日)
2. 会 場 常設展 部門展示室「考古」
3. 入館者数 12,456人(会期中の常設展入館者数)
4. 担当学芸員 考古分野：田中 敏・藤原妃敏・森 幸彦・大竹正浩・横須賀倫達

5. 趣 旨

文化財のなかで歴史上または学術上価値が高いと認められ、史跡として指定された遺跡は県内で43ヶ所あるが、今回の展示では、そのうち平成になってから指定を受けた史跡を中心に紹介した。この展示をとおして、我々の身近にある文化財にすこしでも興味をもち、文化財の保護と活用、さらにはその意義について考えてもらうきっかけづくりをしたい。

6. 展示構成

I 史跡および出土資料の紹介

写真パネルなどで史跡の現状を紹介するとともに、そこから出土したさまざまな資

料を展示して、それぞれの歴史的意義について考える。

今回紹介した史跡は以下のとおりである。

- ①豊かな海の幸に支えられた縄文のムラー浦尻貝塚(南相馬市)
- ②巨大な柱の建物が建っていた縄文集落ー宮畑遺跡(福島市)
- ③姿を現した4,000年前のムラー和台遺跡(福島市)
- ④謎深き古墳時代豪族の居館ー古屋敷遺跡(喜多方市)
- ⑤古代白河を支配した豪族の拠点ー白河舟田・本沼遺跡群(白河市)
- ⑥東北地方最大の前方後方墳ー大安場古墳(郡山市)
- ⑦古代磐城郡の役所と寺ー根岸官衙遺跡群(いわき市)
- ⑧「藍津之城」か?平安時代末期の城館跡ー陣が峯城跡(会津坂下町)
- ⑨参勤交代の道ー下野街道(下郷町)

II 史跡の整備と活用

郡山市大安場古墳を例に、史跡整備と活用の取り組みがどのように行われているかを、映像資料などを用いて具体的に紹介した。

7. 関連行事

展示解説会

2月27日(土) 講師 当館学芸員 田中 敏 参加者10名

3月6日(土) 講師 当館学芸員 田中 敏 参加者5名

8. 成果と課題

- 収蔵資料展示室を会場に開催する予定であったが、展示室改修工事に伴い、常設展部門展示室「考古」で開催することとなった。このため、展示スペースや展示ケースの使用種別や配置等で制約を受けることとなった。
- 常設展示室内での開催であったため、観覧者にとって、特別な空間で、何か特別な展示を行っているという印象は薄かったようだ。アンケートでも、他の展示室に関する回答が目立った。
- パネルの配置スペースが限られたこともあり、図解パネルで小さく、わかりにくいものがあった。
- 解説パネルやキャプションの文字を可能な限り大きくして、観覧者が読み易いように努めた。文字の大きさを問うアンケートで

は、おおむね満足をいただいた。

- パネル製作作業では、アルミフレームパネルを使用したことで、作業効率が上がった。



「平成新指定史跡展覧」展示風景



「平成新指定史跡展覧」内覧会

(4) 移動展

県立博物館の展示を見たくても「会津若松は遠すぎて」という県民の声がしばしば聞かれる。また、当館で実施した企画展の一部や、当館の収蔵品を市町村の博物館・資料館で公開して欲しいという要望も多い。県立博物館では、収蔵品を県内各地で広く公開することで、県民や市町村の要望に応え、県民に文化に対する理解をさらに深めてもらうという目的で、県内の博物館相当施設での展示を開催している。平成21年度は3回実施した。

(ア) 郷土の仕事着展

1. 会 期 平成21年6月13日(土)～6月28日(日)
2. 会 場 小野町文化の館
3. 入館者数 316人
4. 担当学芸員 民俗分野：佐々木長生・榎陽介・鈴木克彦
5. 趣 旨

県立博物館所蔵、寄託の仕事着資料は東

北・北海道地方と新潟県のもので、その数も千点を越え膨大である。今回の移動展では、小野町文化の館という複合施設（図書館、郷土資料館、美術館）での展示ということもあり、仕事着の美しさを思う存分堪能していただくということで企画した。コレクションの中からえりすぐりの約40点を展示した。南会津や会津若松の刺子をはじめ、青森県津軽地方の繊細なこぎん、美しい山形県庄内地方の雪の上でそりを引くとき用に着た刺子、めずらしい新潟県の藤布、そして北海道のアイヌの樹皮製の衣服まで、変化に富んだ資料で構成した。

6. 展示資料

当館所蔵および寄託の資料40点と小野町側から3点の地元資料が出され、合計43店の展示となった。

7. 関連行事

6月20日(土)午後1時30分～3時

- ①ギャラリートーク「仕事着を楽しもう」

講師 当館学芸員 佐々木長生

- ②体験「糸紡ぎ」講師 当館学芸員 榎陽介

8. 成果と課題

- 今回の移動展では、展示会場の問題があった。展示ケースはのぞき型のものがあるだけで、他はすべて露出になるということだった。そのなかで、前の文化の館学芸員で現在は公民館勤務の小野町の職員が仕事着の専門家でもあることから、地元資料を提供していただき展示することができた。
- 見学者の人数としては十分なものではなかったかもしれないが、女性中心の観覧者からの支持は手ごたえとして感じ取れることがあった。ポスター印刷などの広報の経費をどちらの館も負担できないという条件の悪さから言えば、一概に少ない数字だと



ギャラリートーク「仕事着を楽しもう」

はいえないかもしれない。

- 展覧会の企画はこちらからの提案がきっかけである。すでに昨年度から輸送の予算がなく、それでも昨年は開催館が予算化するという幸運があったが、これからは公用車で運ぶことができるものに限定されていくだろう。

(イ) ふくしまのわら人形

1. 会 期 平成22年1月24日(日)～2月28日(日)
2. 会 場 福島空港1階イベントスペース
3. 担当学芸員 民俗分野：佐々木長生・榎陽介・鈴木克彦 展示班：横須賀倫達
4. 趣 旨

なんでこんなところで?という疑問もあるかもしれないが、その発端は昨年福島空港で開かれた県知事と県内の文化施設の館長の会議。当館館長が「展示します」と手を挙げたので、この移動展になった。といっても、完全なオープンスペースだし、ケースも照明も、と展示環境としてはいろいろ条件が厳しい。しかも、資料を見るということが目的ではない方々に、少しでも目を向けてもらうためには……。これしかないかな、ということでテーマはわら人形に。人目も引くし、奥も深い(と思いますが)し、単純に面白そうと思っていただけそうですし。ともかくも、いろんな感想を抱いていただければ。

5. 展示資料

田村市船引町屋形のオニギョウサマの顔(なにしろ本体は4m以上もある巨大なものなので)と浅川町富貴作のカゼブクロサマ(これも大きいので顔だけ)、それぞれの写真パネル。いわき市遠野町のニンギョウサマ2点。西会津町萱本のニンギョウサマと会津美里町市野のニンギョウサマ(身長は180cmと大きくて迫力あって愛嬌もたっぷり)。最後に天井からは石川町中田八又のニンギョウサマ2体が両腰に刀をさしてぶら下がっている。

6. 成果・課題

今回の移動展では、環境的に困難な条件のもとに行われた。下見の段階で、当館の資料として展示できるのは民俗資料類だけかもしれないということになった。そのためにこのテーマで展示した。ただし、わらなどの素材をオープンな場所に展示することへの懸念があった。触られると破損する可能性もあるし、虫害も心配だった。いったいどのような反応だったかについてははっきりしないが、受入れ側の空港ビルの方からは、この前で記念撮影する方もあったということで、おおむ

ね好評だったようだ。



「ふくしまのわら人形」展示風景

(ウ) みちのくの針と糸の美

1. 会 期 平成22年3月3日(水)～3月31日(水)
2. 会 場 福島空港1階イベントスペース
3. 担当学芸員 民俗分野：佐々木長生・榎陽介・鈴木克彦 展示班：横須賀倫達
4. 趣 旨

布地に針を刺し重ねることにより丈夫な衣類にすることからはじまり、その刺し眼の面白さや美しさを楽しむようになった刺子、ぼろの布を裂いて織ることにより新たな風合を見出した裂き織り。いずれも日常の衣類として、あるいはハレの日の装いとして作り続けられた、いわば庶民の中の輝ける工芸品といえるものだ。今回の展覧会では、福島県内および山形県や青森県の逸品を紹介した。

5. 展示資料

刺子ジバン(復元：旧南郷村)、刺子ワンバリ(会津若松市)、刺子袖無し(山形県鶴岡市)、裂き織袖無し(山形県鶴岡市)、裂き織ジバン(山形県鶴岡市)、刺子ジバン(山形県鶴岡市)、コギン着物(青森県青森市)、刺子着物(青森県八戸市)、藤織ジバン(新潟県村上市)

6. 成果・課題

わら人形の展覧会が終わる前から、続けて別の展示をしてほしいという要望が空港ビルの会社担当者からあった。それで、今回はバリアーを使い、仕事着のコレクションの展示となった。それなりのインパクトはあったのではと思う。しかし、この場所に展示できるものにはおのずと限定がつく。今後同様の話があった時にはどのように対応すべきか、という一つの実験例であったともいえるだろう。



「みちのくの針と糸の美」展示風景

(5) 展示解説

(ア) 展示解説員

当館では、16名の展示解説員を配置し、展示の解説を中心とした業務を担当している。通常の展示解説のほか、次の解説業務を実施している。

1. やさしい展示解説

展示解説員による常設展の定時解説。原則的に土・日曜日、各2回（午前11時、午後2時開始）行い、1回の所要時間は約30分間。解説箇所は総合展示室全体。

実施状況 計69回 参加人数195人
（土曜日29回66人、日曜日40回129人）

2. 通し解説

非定期の常設・企画展解説。個人・団体の要望に応じ、展示解説員1人が総合展示室を解説。

実施回数 計13回

3. 部屋送り解説

不定期の常設・企画展解説。主に個人の要望に応じ、各展示室担当の解説員が交代で解説。

実施回数 計227回

(イ) 学芸員

企画展の会期中において、展示解説員の食事休憩の時間帯で、展示室での解説および監視の人員が不足する事態が生じる。それに対応するため、学芸員がその役割を担う。平成20年度は、1コマ45分で計356コマ担当した。

また、学校等からの依頼により、学芸員が担当展示室での解説を随時実施した。

(ウ) 展示解説のための印刷物

常設展示を解説した印刷物を次のとおり出版している。なお、企画展については、その都度展示解説図録を発行している。

① 福島県立博物館常設展示解説図録

常設展の解説図録。昭和61年初版発行。106p.

② 福島県立博物館ガイドブック

常設展の展示内容をコンパクトに解説。裏方の館活動も紹介。昭和61年発行。28p.

③ 博物館と遊ぼう！

子供に展示に対する興味を起こさせるように工夫した解説書。平成7年発行。61p.

④ Fukushima Museum Permanent Exhibition Guide Book

英文の展示解説パンフレット。希望する来館者に無償配布。平成18年発行。14p.

⑤ 解説シート

常設展示の解説補助として展示解説シートを作成した。常設展示を中心に各コーナーで解説テーマを設け、計21ヶ所に設置した。

(6) 体験学習室

エントランスホールの脇に配置された無料空間。昔のおもちゃで遊んだり、昔の着物を着たりできる体験コーナー。また、資料を実際に手にとって触ったりできるハンズオンコーナーもある。ここには、展示解説員が常駐し来館者に対応している。



体験学習室

(ア) 衣装

1. 衣装着付け

①衣装着付け件数 1,326件

②着付け衣装

春：当世具足・番具足・打掛・半袴

夏：水干・直垂・白拍子・山伏

秋：町人旅姿・武士旅姿・へん綴・壺

冬：古墳男子・推古朝・小袖・天武朝女子

着付けた衣装などの写真を撮影、体験学習室内に掲示。希望者に配布した。

2. 衣装展示

春：大鎧 夏：十二単 秋：大工

冬：小直衣

(イ) 手作り資料展示

季節行事に関する手作り資料の展示（展示解説員が製作）

7月 七夕飾り 12月 クリスマスツリー
1月 団子さし 3月 手作りひな人形



手作りひな人形

(ウ) ハンズオンコーナー

来館者が展示品を実際に手に取ったり使用法を体験できるコーナー

平成21年4月～平成22年3月 古代の音色と輝き（考古分野）

展示資料：銅鐸復元品、方格規矩四神鏡復元品、勾玉、頭椎大刀複製品（郡山市溯の上古墳出土）



ハンズオンコーナー「古代の音色と輝き」

4. 調査研究事業

(1) 展示資料調査研究

将来の博物館リニューアルに向けて、新たな研究成果と展示資料の収集のため、考古・歴史・民俗・美術・自然の各分野がテーマを設定し、調査を実施している。

(ア) 考古資料の材質・製作技法に関する研究

1. 趣旨

出土した状態の考古資料は、そのままでは当時の姿を理解することが難しい。また、製作技術の分析にはその材質や技術的な特徴を把握することが必要である。本研究では展示資料を復元するためのバックデータ収集を目的とする。

2. 調査概要

平成21年度は、県内古墳出土考古資料のうち以下の調査研究を行った。

①喜多方市山崎横穴古墳群出土小札甲（6世紀末～7世紀前葉）

昨年度より継続。本年度も喜多方市教育委員会より資料を借用し、実測、写真撮影等の整理作業、及び構造、製作技術等の調査、検討を実施した。整理作業、調査は終了し、その成果は次年度に予定している同横穴古墳群出土の鉄刀、鉄鏃等の調査成果とともに当館紀要上で発表する予定。

②会津若松市大塚山横穴群出土鉄大刀（6世紀後葉～7世紀中葉）

本年度に実施。会津若松市教育委員会から資料を借用し、実測、X線透過撮影等の整理作業及び、構造、製作技術等の調査、検討を実施した。なお、本資料についての調査成果は、本年度末発行の『福島考古』第51号にて発表した。

主な成果としては、未発表であった銀象嵌鉄刀の詳細について明らかにしたこと、

会津盆地における横穴群の初現が6世紀まで遡ることを確認したことなどが挙げられる。

(イ) 展示室における効果的な歴史理解に資する歴史資料の研究

1. 趣旨

(内容)

この調査研究は、県内外の観覧者が、展示室において効果的に福島県の歴史に関する理解を深めることができるように、各時代のさまざまな様相を象徴的に示すことができる実物資料について、歴史事象を多角的にとらえることができるような周辺資料も含めて、調査研究することを目的とする。その成果は、当館の常設展示の展示替えにおける歴史関係展示資料の候補や複製資料を製作する候補を選定する際に活用する。

(対象)

①古代資料：本県に関わる出土文字資料

地名（郡郷名）や人名・寺社名・歌語が記載されている典籍

②中世資料：国家の変動と本県の武士の動向がわかる歴史資料

（蘆名氏関係資料・伊達氏関係資料・蒲生氏関係資料）

③近世資料：幕藩制下における支配形態と民衆の動向がわかる歴史資料

（県内諸大名関係資料・幕府代官関係資料）

④近・現代資料：国家の動向と本県の役割がわかる歴史資料

（戊辰戦争関係資料・自由民権関係資料）

2. 調査概要

①古代 福島県関係の地名、人名、社寺名が見られる古代史資料（典籍、古辞書など）

の所在調査および写真複製作成候補の選定。とくに恵日寺関係資料の調査。

- ②中世 福島県ゆかりの武将関係資料および絵図類の所在調査、特に新規の県外所在資料の情報収集および所在確認と調査。
- ③近世 福島県ゆかりの大名関係資料や地方関係資料の新規所在確認と調査。古文書資料の製作道具など成立に関わる資料の所在調査。戊辰戦争に至る幕末資料の所在調査。
- ④近代 世界的、全国的に著名になった福島県出身者の動向を示す資料情報の収集と資料調査。明治維新期の県内の行政文書など政治史関係資料や県内の教育史資料の所在調査。西南戦争から第二次世界大戦にかかる県内の戦争関係資料の所在調査。
- ⑤現代 戦後復興期の資料所在調査。日本の高度経済成長期の資料所在調査。
- ⑥その他 資料所在情報調査にあたっては、各時代の担当者が主体性をもってあたるが、資料調査にあたっては、調査先の資料所蔵状況に応じて、相互に協力して調査を推進する。

(ウ) 福島県における衣生活文化の研究

1. 趣旨

福島県内の衣料の歴史と材質を中心に明らかにすることを目的とする。幸い、大沼郡昭和村のようにカラムシの栽培の本州唯一の地域もあり、わが国のカラムシ栽培とそれを材料とする越後上布・縮などの伝統織物の歴史を解き明かす重要な位置にある。また、大沼郡三島町の縄文晩期の荒屋敷遺跡からは、当時の布（アンギン）や布織目の圧痕のある土器片の出土などの資料もあり、布の歴史を知る上で多くの資料を有している。本研究は、これら出土繊維をも含め、麻・シナ・藤・木綿などの衣料の変遷と各地の資料館等に保存されている資料を調査し、福島県内の衣の民俗を明らかにするものである。

2. 調査概要

平成21年度は、会津若松市内の仕事着および普段着の調査を軸に、ゼンマイ織など衣料の変遷の調査を行った。具体的には、寄贈資料と本館寄託の「渡部つとむコレクション」を中心に調査した。

また、会津民俗館長渡部認氏の協力により、同館収蔵の仕事着コレクションの調査と現地での聞き取り調査を行った。

さらに、「渡部つとむコレクション」の中から、会津地方のサシコの調査を昨年度に継

続して行った。

(エ) 福島県域の大名文化に関する研究

1. 趣旨

戦国時代末から江戸時代にかけて、福島県域には多くの領主、大名の支配地が存在した。本研究では、関連諸大名を取り巻く文化の様相を、大名自身の作品、彼らが養成した学者、画家、工人らの資料、学問に関わる資料を通して明らかにする。なお、この成果は文化展示のテーマ内容、ならびに企画展に反映させる。

2. 調査概要

いわき市個人のコレクション約200点を数度にわたり調査した。近世から近代の画家・書家、近代の文人・政治家の書画が主体で、興味深い画人の作例も数点含まれている。資料の内容は大名文化に限定されるものではないが、今後のテーマ展等の展示で紹介していきたい。

(オ) 恐竜時代のふくしまに関する研究

1. 趣旨

本県に分布する中生代のジュラ紀～白亜紀の地層は、本県の大地の基盤をなす重要な位置を占めている。特に最近、本県浜通りに分布する相馬およびいわき地域の中生代の地層から、恐竜をはじめとする脊椎動物、植物化石など、重要な化石の発見が相次ぎ、これらをもとに、地史や古環境を再考することが必要となってきている。本研究では、本県中生代の岩石・化石資料を収集し、調査を進め、東アジア全体の形成史を背景としながら、当時の生物相および古環境がどのようなものであったかを明らかにする。調査にあたっては、大学等の研究機関はもちろんのこと、地域の研究団体との共同研究・情報交換を積極的に進める。

2. 調査概要

平成21年度は、相馬地域に分布するジュラ紀の相馬中村層群より得られた化石の調査を実施した。

①平成21年10月3日～4日

平成20年に常磐自動車道南相馬市原町区石神工事現場で、相馬中村層群中ノ沢層からジュラ紀アンモナイト化石が大量に発見された。そのアンモナイト化石標本の撮影を実施した。また、相馬中村層群研究会の会員および新潟大学の研究者と共に、相馬市および南相馬市に露出する相馬中村層群の代表的露頭の調査と化石採集を実施した。

②平成22年1月23日～24日

上述の常磐自動車道石神工事現場で、相馬中村層群研究会の会員と共に、地層の層序、構造、分布の確認調査を行った。

3. 成果の公表

福島県立博物館紀要第24号に、佐藤正氏および相馬中村層群研究会の会員と共著で、石神産のアンモナイト化石の報告を掲載した。タイトルは次の通り。「南相馬市原町区石神で発見された保存の良い大型標本を含むジュラ紀アンモナイト群集」。また、同じく福島県立博物館紀要第24号に、佐野晋一氏および相馬中村層群研究会の会員と共著で、中ノ沢層から発見された厚歯二枚貝を報告した。タイトルは次の通り。「上部ジュラ系相馬中村層群中ノ沢層からハボウキガイ科二枚貝 *Trichites* の発見」。

(2) その他の調査研究事業

(ア) 古文書整理事業

福島県域に現存する古文書は、他地域と比較して近世初期からの地方文書を大量に含むなど、たいへん良質な事で全国の研究者から注目されている。こうした古文書は、近年の自治体史編纂事業によって、少しずつではあるが人々の目にふれるようになってきた。しかし、保存管理の不備が多々指摘されはじめ、ようやく所在が確認された古文書がその後破損したり、再び所在が確認できなくなったものもある。また、自治体史編纂事業によって整理が進行しているとはいえ、未整理の古文書が古物商・古本屋によって買われ、入札会等に陳列されているのも事実である。

こうした現状は、我々に未整理の古文書の整理と、そのマイクロ撮影による古文書原本の保存が急務であることを知らせている。本事業は、古文書をマイクロ撮影し、原本のかわりに閲覧用に提供し、原本を保存することを目的としている。

平成21年度は、「鈴木忠夫家寄贈資料」を中心に、諸家寄贈・寄託資料の整理を実施した。マイクロ撮影は、「堀切家寄託資料」及び「土津神社寄託資料」の撮影を行った。

(3) 職員の研究活動

(ア) 研究成果の公表(職員の氏名あいうえお順)

1. 印刷物(単行本・自治体史・図録・報告書・紀要・学術雑誌)

阿部綾子, 2010. 3, 馬嶋瑞園の基礎的研究. 福島県立博物館紀要, 第24号, p.63-83,

福島県立博物館.

川延安直・小林めぐみ・笹川英俊, 2009. 10, 福島県立博物館平成21年度企画展「岡本太郎の博物館・はじめる視点～博物館から覚醒するアーティストたち～」展示図録. 104p., 福島県立博物館.

川延安直, 2010. 3, 明治時代前期の白虎隊自刃図について - 渡辺文三郎原画石版図「白虎隊自刃図」を中心に-. 福島県立博物館紀要, 第24号, p.51-62, 福島県立博物館

佐々木長生, 2010. 3, 『会津農書』にみる馬の民俗. 福島の民俗, 第38号, p.15-25, 福島県民俗学会.

鈴木克彦, 2010. 3, 奥会津 暮らしの物語 - 地域の風土の中で -. 福島県立博物館紀要, 第24号, p.85-128, 福島県立博物館.

高橋 充, 2009. 7, 南奥羽の蒲生領の支城配置. 藤木久志・伊藤喜良(編), 奥羽から中世をみる, p.296-315, 吉川弘文館.

佐藤 正・竹谷陽二郎・二上文彦・八巻安夫・栃久保廣恭・荒 好・平 宗雄・佐々木英夫・橋本悦雄・石垣 功, 2010. 3, 南相馬市原町区石神で発見された保存の良い大型標本を含むジュラ紀アンモナイト群集. 福島県立博物館紀要, 第24号, p.7-30, 福島県立博物館.

佐野晋一・竹谷陽二郎・平 宗雄・八巻安夫・荒 好・森野善広・近藤康生, 2010. 3, 上部ジュラ系相馬中村層群中ノ沢層からハボウキガイ科二枚貝 *Trichites* の発見. 福島県立博物館紀要, 第24号, p.31-40, 福島県立博物館.

松田隆嗣・新井田明子, 2010. 3, 会津美里町梶原院大日堂の焼仏の応急処置について. 福島県立博物館紀要, 第24号, p.41-49. 福島県立博物館.

穴沢味光・近藤真佐夫・横須賀倫達, 2010. 3, 会津若松市大塚山横穴墓群出土鉄刀の研究. 福島考古, 第51号, p.63-82, 福島県考古学会.

2. 学会発表

佐藤 正・竹谷陽二郎・二上文彦・八巻安夫・栃久保廣恭・荒 好・佐々木英夫・石垣 功・橋本悦雄, 2010. 1, 南相馬市原町区石神で発見された保存の良い大型標本を含む上部ジュラ系アンモナイト群集. 日本古生物学会第159回例会.

佐野晋一・竹谷陽二郎・平 宗雄・八巻安夫・荒 好・森野善広・近藤康生, 2010. 1,

上部ジュラ系相馬中村層群中ノ沢層からハボウキガイ科二枚貝 *Trichites* の発見. 日本古生物学会第159回例会.

松田隆嗣, 2009. 6, 水質検知管を用いた脱塩溶液中の塩素イオン濃度測定の有効性について(その2) - 低濃度(1~60ppm)用の有効性について-. 文化財保存修復学会第31回大会.

松田泰典・米村祥央・後藤枝里子・鈴木雄太・松田隆嗣, 2009. 6, 史跡「会津藩松平家墓所」における石造文化財の保存状態調査. 文化財保存修復学会第31回大会.

小林 啓・松田隆嗣・横須賀倫達・堀 耕平, 2009. 7, 羽山1号横穴出土馬具の材質調査 - 蛍光X線分析による錫装馬具の確認 -. 日本文化財科学会第26回大会.

(イ) 他団体による委嘱等

阿部綾子: 青森県史編纂委員 青森県

阿部綾子: 伊南村史編纂委員 南会津町教育委員会

阿部綾子: 塩川町史編纂委員 喜多方市教育委員会

榎 陽介: 相馬市史編纂委員 相馬市教育委員会

川延安直: 喜多方市美術品収集委員 喜多方市教育委員会

川延安直: 伊南村史編纂委員 南会津町教育委員会

川延安直: いわき市文化財保護審議委員会委員 いわき市教育委員会

川延安直: 会津俊英美術展委員 会津俊英美術展運営委員会

川延安直: 芸術による地域活性化検討委員 福島大学

小林めぐみ: 伊南村史編纂委員 南会津町教育委員会

佐々木長生: 研究プロジェクト「農業と環境破壊」 総合地球環境学研究所

佐々木長生: 相馬市史執筆委員 相馬市教育委員会

佐々木長生: 小高町史編纂委員 南相馬市教育委員会

佐治 靖: 環境と開発に関する調査 平安座自治会

佐治 靖: 郡山市文化財保護審議委員会委員 郡山市教育委員会

佐治 靖: 檜枝岐民俗誌編纂事業委員 檜枝岐村教育委員会

佐治 靖: マイクロサッカードとしての在来知に関する人類学的研究調査委員 日本学

術振興会

佐藤洋一: 前沢曲屋集落保存対策調査保存計画策定委員会委員 南会津町

高橋 充: 塩川町史編纂委員 喜多方市教育委員会

高橋 充: 伊南村史編纂委員 南会津町教育委員会

高橋 充: 二本松城祉整備指導委員会委員 二本松市教育委員会

高橋 充: 向羽黒山城調査指導委員会委員 会津美里町教育委員会

高橋 充: 原町市史編纂委員 南相馬市教育委員会

高橋 充: 相馬市史編纂委員 相馬市教育委員会

高橋 充: 会津藩主松平家墓所及び松平氏庭園指導会議委員 会津若松市教育委員会

高橋 充: 会津藩主松平氏墓所保存修理検討委員会委員 猪苗代町教育委員会

高橋 充: 阿津賀志山防塁整備指導委員会委員 国見町教育委員会

高橋 充: 宮脇遺跡調査指導委員会委員 伊達市教育委員会

竹谷陽二郎: 相馬市史執筆委員 相馬市教育委員会

藤原妃敏: 会津若松市文化財保護審議委員会委員 会津若松市教育委員会

藤原妃敏: 会津若松市史研究会委員 会津若松市

藤原妃敏: 塩川町史編纂委員 喜多方市教育委員会

藤原妃敏: 原町市史編纂専門研究員 原町市教育委員会

藤原妃敏: 新鶴民俗資料館運営委員 会津美里町教育委員会

藤原妃敏: 喜多方市立美術館運営協議会委員 喜多方市教育委員会

藤原妃敏: 文化遺産オンライン検討委員会委員 文化庁伝統文化課

藤原妃敏: 笹山原No.16遺跡調査指導委員 郡山女子短期大学

松田隆嗣: 会津藩松平家墓所保存整備指導会議委員 会津若松市教育委員会

松田隆嗣: 会津藩主松平家墓所保存修理検討委員会委員 猪苗代町教育委員会

松田隆嗣: 北海道・東北保存科学研究会代表同会

森 幸彦: 原町市史編纂専門研究員 南相馬市教育委員会

森 幸彦: 鹿島町史編纂委員 南相馬市教育

委員会

森 幸彦：三島町歴史文化基本構想策定委員会文化財調査部会委員 三島町
横須賀倫達：日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会全国委員 日本考古学協会
横須賀倫達：原町市史編纂専門部会執筆委員 南相馬市
若林 繁：会津若松市文化財保護審議委員会委員 会津若松市教育委員会
若林 繁：いわき市文化財保護審議委員会委員 いわき市教育委員会
若林 繁：白河市文化財保護審議委員会委員 白河市教育委員会

若林 繁：相馬市市編纂委員 相馬市教育委員会
若林 繁：伊南村史編纂委員 南会津町教育委員会
若林 繁：会津坂下町史編纂委員 会津坂下町教育委員会
若林 繁：慧日寺整備検討委員会専門委員 磐梯町教育委員会
若林 繁：森林文化に係わる調査検討委員会委員 福島県農林水産部
若林 繁：会津若松市市史研究会委員 会津若松市

5. 教育普及事業

(1) 講座・講演会

当館では、館長と学芸員自らおよび外部講師

に依頼し、一般利用者向けの各種の講座や講演会を実施している。

平成21年度行事一覧

(1) 木曜の広場

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|---|------------|--------|----------|------|
| 『会津農書』の世界1 佐瀬与次右衛門と『会津農書』 －『会津農書』誕生の歴史的背景－ | 赤坂憲雄・佐々木長生 | 館長・学芸員 | 4月2日(木) | 88 |
| 『会津農書』の世界2 『会津農書』にみる天気と農業 －会津の気象と農業の民俗－ | 赤坂憲雄・佐々木長生 | 館長・学芸員 | 5月7日(木) | 73 |
| 『会津農書』の世界3 『会津農書』にみる田植えと民俗 －会津地方の田の神信仰－ | 赤坂憲雄・佐々木長生 | 館長・学芸員 | 6月4日(木) | 65 |
| 『会津農書』の世界4 『会津農書』と飢饉の心構え －会津の農業への心構え－ | 赤坂憲雄・佐々木長生 | 館長・学芸員 | 7月2日(木) | 75 |
| 『会津農書』の世界5 『会津農書』の野菜たち－会津 の伝統野菜－ | 赤坂憲雄・佐々木長生 | 館長・学芸員 | 8月6日(木) | 80 |
| 『会津農書』の世界6 『会津農書』と絵農書－描かれ た会津の農業と民俗－ | 赤坂憲雄・佐々木長生 | 館長・学芸員 | 9月3日(木) | 75 |
| 『会津農書』の世界7 『会津農書』にみる収穫儀礼 －会津の作神信仰と民俗－ | 赤坂憲雄・佐々木長生 | 館長・学芸員 | 10月2日(金) | 70 |
| 『会津農書』の世界8 『会津農書』の農具たち－会津 の農業技術遺産－ | 赤坂憲雄・佐々木長生 | 館長・学芸員 | 11月5日(木) | 65 |
| 『会津農書』の世界9 『会津農書』にみる衣・食・住 －会津の農民の暮らしぶり－ | 赤坂憲雄・佐々木長生 | 館長・学芸員 | 12月3日(木) | 80 |
| 『会津農書』の世界10 『会津農書』と村人たち－会 津幕内の村落風景－ | 赤坂憲雄・佐々木長生 | 館長・学芸員 | 1月7日(木) | 75 |
| 『会津農書』の世界11 『会津農書』の技術と村－近 世の農業技術と村形成－ | 赤坂憲雄・佐々木長生 | 館長・学芸員 | 2月4日(木) | 90 |
| 『会津農書』の世界12 『会津農書』と「会津の三泣き」 －会津の地域性と民俗－ | 赤坂憲雄・佐々木長生 | 館長・学芸員 | 3月4日(木) | 160 |

(2) 考古学講座

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|-----------------------------|---------|------|----------|------|
| 考古学講座①「土器作り」1 | 大竹正浩ほか | 学芸員 | 7月25日(土) | 14 |
| 考古学講座②「土器作り」2 | 大竹正浩ほか | 学芸員 | 7月26日(日) | 14 |
| 考古学講座③「高校生のための考古学集中講座」発掘体験 | 田中 敏ほか | 学芸員 | 8月5日(水) | 12 |
| 考古学講座④「高校生のための考古学集中講座」遺跡見学 | 田中 敏ほか | 学芸員 | 8月6日(木) | 12 |
| 考古学講座⑤「高校生のための考古学集中講座」体験学習 | 田中 敏ほか | 学芸員 | 8月7日(金) | 12 |
| 考古学講座⑥「土器焼き」 | 大竹正浩ほか | 学芸員 | 9月27日(日) | 18 |
| 考古学講座⑦「はにわの時代の勾玉・ガラス玉をつくろう」 | 横須賀倫達ほか | 学芸員 | 11月7日(土) | 20 |
| 考古学講座⑧「モノで学ぶ考古学」1 | 藤原妃敏ほか | 学芸課長 | 1月23日(土) | 18 |
| 考古学講座⑨「モノで学ぶ考古学」2 | 田中 敏ほか | 学芸員 | 1月30日(土) | 13 |
| 考古学講座⑩「モノで学ぶ考古学」3 | 森 幸彦ほか | 学芸員 | 2月6日(土) | 13 |
| 考古学講座⑪「モノで学ぶ考古学」4 | 横須賀倫達ほか | 学芸員 | 2月27日(土) | 11 |
| 考古学講座⑫「モノで学ぶ考古学」5 | 大竹正浩ほか | 学芸員 | 3月6日(土) | 14 |

(3) 民俗講座

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|--|-------|-------------------|-----------|------|
| 「学芸員佐々木長生と民俗を語る① ふくしまの風景 を読み解く」 | 岩崎真幸 | みちのく民俗研 究所代表 | 11月21日(土) | 28 |
| 「学芸員佐々木長生と民俗を語る② ふくしまの海の民俗」 | 二本松文雄 | 南相馬市教育委員会 | 12月5日(土) | 23 |
| 「学芸員佐々木長生と民俗を語る③ ふくしま 市の 世界」 | 大山孝正 | 福島県文化財セ ンター白河館 | 1月9日(土) | 35 |
| 「学芸員佐々木長生と民俗を語る④ 奥会津 山村の 暮らしと民俗～長生と克彦の肥物語～」 | 鈴木克彦 | 学芸員 | 2月13日(土) | 42 |
| 「学芸員佐々木長生と民俗を語る⑤ ふくしま 火伏 せ事情事始」 | 榎 陽介 | 学芸員 | 3月13日(土) | 43 |

(4) 歴史講座

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|---------------------------------------|------|------|-----------|------|
| 展示室講座1「石井研堂の足跡を訪ねて」 | 佐藤洋一 | 学芸員 | 4月11日(土) | 20 |
| 展示室講座2「照姫と敏姫－新収史料でよみとく幕末会津藩の裏側－」 | 阿部綾子 | 学芸員 | 9月12日(土) | 60 |
| 展示室講座3「ズームアップ!平島松尾－明治ふくしま新聞創刊のパイオニア－」 | 星 幸 | 学芸員 | 11月28日(土) | 25 |
| 古文書からさぐる直江兼統の時代1「花押・印章からみる兼統のライバルたち」 | 高橋 充 | 学芸員 | 5月9日(土) | 83 |
| 古文書からさぐる直江兼統の時代2「謙信死去は、葦名氏にどう伝えられたか」 | 高橋 充 | 学芸員 | 6月13日(土) | 94 |
| 古文書からさぐる直江兼統の時代3「若松の商人がみた会津の武将たち」 | 高橋 充 | 学芸員 | 7月11日(土) | 101 |
| 古文書からさぐる直江兼統の時代4「関ヶ原合戦の情報は、いつ伝わったか」 | 高橋 充 | 学芸員 | 8月8日(土) | 88 |
| やさしい古文書講座1 | 阿部綾子 | 学芸員 | 10月10日(土) | 27 |
| やさしい古文書講座2 | 阿部綾子 | 学芸員 | 11月14日(土) | 24 |
| やさしい古文書講座3 | 阿部綾子 | 学芸員 | 12月12日(土) | 23 |

(5) 美術講座

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|---------------------------|---------------------|---|-----------|------|
| 展示室講座1「旧家の生活文化－高橋家資料について」 | 小林めぐみ | 学芸員 | 5月23日(土) | 37 |
| 麟閣講座「麟閣で見る会津の美」 | 小林めぐみ・川延安直 ・笹川英俊 | 学芸員 | 7月11日(土) | 16 |
| 親子で楽しむ展示室講座1「さわる触れる博物館」 | 笹川英俊・川延安直・小林めぐみ | 学芸員 | 8月9日(日) | 9 |
| 親子で楽しむ展示室講座2「けんぱくポイント日本史」 | 笹川英俊 | 学芸員 | 8月16日(日) | 53 |
| 親子で楽しむ展示室講座3「教えて達人」 | 渡邊 明 | 会津若松市文化財保護審議会 会長・会津若松市文化財 保護審議会委員 | 8月23日(日) | 5 |
| 展示室講座2「けんぱくの宝2009見どころ解説」 | 川延安直・小林めぐみ | 学芸員 | 10月31日(土) | 18 |

(6) 自然史講座

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|--------------------------------|-------|-------|-----------|------|
| 生物の進化と地球の成り立ち－オリジナル地球史年表をつくらう－ | 小澤義春 | 学芸員 | 6月27日(土) | 4 |
| 「化石をさがそう」 | 相田 優 | 学芸員 | 10月10日(土) | 32 |
| 「化石標本をつくらう」 | 竹谷陽二郎 | 学芸員 | 10月11日(日) | 32 |
| 鶴ヶ城の野鳥 | 古川裕司 | 鳥類研究家 | 11月15日(日) | 9 |

(7) 指導者向け研修講座

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|-------------|--------|------|----------|------|
| 福島県立博物館研修講座 | 小澤義春ほか | 学芸員 | 8月20日(木) | 19 |

(8) 体験講座

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|------------------------|--------|-------|----------|------|
| おもちゃをつくらう「でんでん太鼓をつくらう」 | 渡邊美美ほか | 展示解説員 | 3月22日(月) | 25 |

(9) 実技講座

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|-------------------|-----------|---------|----------|------|
| 須賀川の絵のぼり製作・小旗作り | 大野青峰・大野久子 | 伝統技術保持者 | 5月5日(火) | 20 |
| 三島の編み組細工①「山ぶどう細工」 | 菅家藤一 | 伝統技術保持者 | 11月1日(日) | 15 |
| 三島の編み組細工②「ひろろ細工」 | 菅家藤一 | 伝統技術保持者 | 12月6日(日) | 15 |

(10) 実 演

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|------------------------|-------|-------|-----------|------|
| 昔語り① | 山田登志美 | 語り部 | 5月31日(日) | 21 |
| 機織り① | 山根正平 | 染織工芸家 | 6月14日(日) | 19 |
| 「昔語り② for KIDS」Action1 | 山田登志美 | 語り部 | 7月19日(日) | 45 |
| 「昔語り③ for KIDS」Action2 | 横山幸子 | 語り部 | 8月2日(日) | 26 |
| 機織り② | 山根正平 | 染織工芸家 | 9月13日(日) | 中止 |
| 昔語り④ | 横山幸子 | 語り部 | 10月11日(日) | 20 |

(11) 企画展関連行事（記念講演・シンポジウム・講座・展示解説会等）

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|--|--------------------------------|--|-------------|------|
| 仏様は何を着ていたのかな？着てみよう&見てみよう | 国府由美子 | | 10月10日(土) | 15 |
| ワークショップ 光りのらくがき | 吉田重信 | 美術家 | 10月11日(日) | 30 |
| ワークショップ うぶすなアートラボⅠ お面で自分の顔を変身させよう！ | 出町光識 | 美術家 | 10月12日(月・祝) | 15 |
| 企画展記念講演会「岡本太郎という思想」 | 赤坂憲雄 | 館長 | 10月17日(土) | 60 |
| 館長ギャラリートーク | 赤坂憲雄 | 館長 | 10月17日(土) | 43 |
| ワークショップ 新聞紙を丸めて貼って子豚を作ろう | 山本伸樹 | 美術家 | 10月18日(日) | 20 |
| ワークショップ 縄文人の家を飾ろう 竪穴住居に花飾り | キジマ真紀 | 美術家 | 10月24日(土) | 26 |
| ワークショップ 縄文人の家を飾ろう 竪穴住居をクリッピング | 塩谷良太 | 美術家 | 10月24日(土) | 26 |
| 公演 山田広野と見る「はじめる視点」ツアー | 山田広野 | 活弁士・映画監督 | 10月25日(日) | 43 |
| パフォーマンス 大字揮毫 けんぱくで書く・時間を書く | 川島大佳 | 書家 | 11月1日(日) | 103 |
| ワークショップ 段ボールで作るはにわとおもしろ動物 | わたなべあずさ | 美術家 | 11月7日(土) | 23 |
| ワークショップ うぶすなアートラボⅡ 目玉土偶のお面で博物館を冒険しよう！ | 出町光識 | 美術家 | 11月8日(日) | 14 |
| シンポジウム 漆のくにに会津シンポジウム「漆のチカラ～産地の現状とこれから」 | 初澤敏生・竹内克己・井波 純・小松 勇・赤坂憲雄・小林めぐみ | 福島大学教授・福島県ハイテクプラザ技術支援センター専門研究員・会津大学短期大学部准教授・青森県産業技術センター弘前地域研究所主任研究員・館長・学芸員 | 11月21日(土) | 58 |
| ワークショップ 黄金発掘 | 吉田重信 | 美術家 | 11月22日(日) | 25 |
| アーティストトーク | パネリスト | 出品作家 | 11月23日(月・祝) | 50 |
| 公演 アンケートアート「岡本太郎についてどう思いますか？」 | 松本祐一 | 美術家 | 11月23日(月・祝) | 50 |

(12) 特集展関連行事（記念講演・シンポジウム・講座・展示解説会等）

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|--|----------------------|------------------|----------|------|
| 春の特集展「直江兼統と会津の戦国武将」記念 シンポジウム「会津の景勝・兼統」講演「上杉謙信・景勝と直江兼統」ミュージアムイベント②に同じ | 矢田俊文ほか | 新潟大学教授 | 5月16日(土) | 240 |
| 春の特集展「直江兼統と会津の戦国武将」展示解説会 | 高橋 充 | 学芸員 | 4月25日(土) | 25 |
| 春の特集展「直江兼統と会津の戦国武将」展示解説会 | 高橋 充 | 学芸員 | 4月26日(日) | 55 |
| 春の特集展「直江兼統と会津の戦国武将」展示解説会 | 高橋 充 | 学芸員 | 5月30日(土) | 30 |
| 春の特集展「直江兼統と会津の戦国武将」展示解説会 | 高橋 充 | 学芸員 | 5月31日(日) | 23 |
| 夏の特集展「第2回うつくしま自然展－貴重なふくしまの自然を守る－」展示解説会 | 樫村利道ほか | うつくしま自然展実行員会 | 7月7日(火) | 20 |
| 夏の特集展「第2回うつくしま自然展－貴重なふくしまの自然を守る－」展示解説会 | 樫村利道ほか | うつくしま自然展実行員会 | 8月1日(土) | 35 |
| 鶴ヶ城の自然を観察しよう | 黒沢高秀ほか | 福島大学准教授 | 8月1日(土) | 27 |
| Action for KIDS 特集展・NPO 法人会津マンガ文化研究会・県立博物館共催展「会津とマンガ文化－アニメ監督・笹川ひろしの原点－」展示解説会 | NPO 法人会津マンガ文化研究会の皆さん | NPO 法人会津マンガ文化研究会 | 8月15日(土) | 30 |
| Action for KIDS 特集展・NPO 法人会津マンガ文化研究会・県立博物館共催展「会津とマンガ文化－アニメ監督・笹川ひろしの原点－」展示解説会 | NPO 法人会津マンガ文化研究会の皆さん | NPO 法人会津マンガ文化研究会 | 8月22日(土) | 10 |
| Action for KIDS 特集展・NPO 法人会津マンガ文化研究会・県立博物館共催展「会津とマンガ文化－アニメ監督・笹川ひろしの原点－」展示解説会 | NPO 法人会津マンガ文化研究会の皆さん | NPO 法人会津マンガ文化研究会 | 9月23日(水) | 5 |
| 子どものためのマンガ教室－教えて！笹川ひろし先生－ | 笹川ひろし | アニメ監督 | 9月19日(土) | 39 |
| 『タイムボカンシリーズ ヤッターマン』第1話上映会 | | | 9月19日(土) | 100 |
| 冬の特集展「平成新指定史跡展覧」展示解説会 | 田中 敏 | 学芸員 | 2月27日(土) | 10 |
| 冬の特集展「平成新指定史跡展覧」展示解説会 | 田中 敏 | 学芸員 | 3月6日(土) | 5 |

(13) ミュージアムイベント

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|---------------|------------|--------|----------|------|
| ①『落語から見た江戸文化』 | 三遊亭兼好・赤坂憲雄 | 落語家・館長 | 4月18日(土) | 230 |

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|---|-----------------|------------------------|-----------|------|
| ②春の特集展「直江兼続と会津の戦国武将」記念シンポジウム「会津の景勝・兼続」講演「上杉謙信・景勝と直江兼続」 | 矢田俊文ほか | 新潟大学教授 | 5月16日(土) | 240 |
| ③けんぱく大茶会 | 裏千家会津支部の皆さん | 裏千家会津支部 | 7月18日(土) | 209 |
| ④昆虫にさわってみよう | 福島虫の会会員ほかの皆さん | 福島虫の会ほか | 8月1日(土) | 153 |
| ⑤親子で楽しむ野外映画会『火の鳥～ヤマト編～』 | | | 8月15日(土) | 110 |
| ⑥「クリスマスコンサートーミュージカルとオペラが奏でる母の愛ー」 | 伊藤郁子・大山優子 | メゾソプラノ歌手・ピアニスト | 12月19日(土) | 155 |
| ⑦館長サタデープロジェクト「漆のくに・会津プロジェクト トークイベント」知力と地力を活かした地域の活性化1「F-styleの仕事」 | 赤坂憲雄・五十嵐恵美・星野若菜 | 館長・F-style(伝統産業プロデュース) | 1月16日(土) | 65 |
| ⑧館長サタデープロジェクト「漆のくに・会津プロジェクト トークイベント」知力と地力を活かした地域の活性化2「会津の地力」 | 赤坂憲雄・渡邊晃一・山形洋一 | 館長・福島大学准教授・前喜多方市美術館長 | 2月19日(金) | 43 |
| ⑨館長サタデープロジェクト「漆のくに・会津プロジェクト トークイベント」知力と地力を活かした地域の活性化3「越後妻有とアートの力」 | 赤坂憲雄・北川フラム | 館長・越後妻有大地の芸術祭総合ディレクター | 2月20日(土) | 50 |

(14) Action for KIDS プログラム (上記講座以外)

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|------------------------------|---------|---------------|----------|------|
| KIDS プログラム「夏休み宿題相談会」① | 各分野学芸員 | 学芸員 | 7月23日(木) | 25 |
| KIDS プログラム「夏休み宿題相談会」② | 各分野学芸員 | 学芸員 | 7月24日(金) | 28 |
| KIDS プログラム「1日まるごと博物館」 | 考古分野学芸員 | 学芸員 | 7月30日(木) | 14 |
| KIDS イベント「ナイトミュージアム」 | 各分野学芸員 | 学芸員 | 8月8日(土) | 56 |
| KIDS プログラム「科学おねえさんのみんなの実験教室」 | 福島郁子 | サイエンスコミュニケーター | 8月22日(土) | 95 |
| 会津若松市幼稚園協会共催事業「かえっこバザール@あいづ」 | | | 8月30日(日) | 800 |

(15) 文化庁支援事業

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|--|------------------------|---|-----------|------|
| 文化庁「文化芸術による創造のまち支援事業」[けんぱくで見直すカラダ] 平山素子ダンスパフォーマンス・対談「見直すカラダ」 | 渡邊晃一・平山素子・中川 賢・赤坂憲雄 | 福島大学准教授・ダンサー・ダンサー・館長 | 7月5日(日) | 78 |
| 文化庁「美術館・博物館活動基盤整備支援事業」〈漆のくに・会津〉プロジェクト 私の漆を育てよう1 | 谷口 吏・NPO 法人はるなか漆部会の皆さん | 漆 掻 き 職 人・NPO 法人はるなか漆部会 | 8月1日(土) | 20 |
| 文化庁「文化芸術による創造のまち支援事業」講演「舞踏の東北・太郎の東北」 | 森 繁哉・赤坂憲雄 | 舞踏家/東北芸術工科大学教授・館長 | 10月2日(金) | 33 |
| 森繁哉舞踏ワークショップ「昔のくらし カラダで知ろう」 | 森 繁哉 | 舞踏家/東北芸術工科大学教授 | 10月3日(土) | 12 |
| 文化庁「文化芸術による創造のまち支援事業」森繁哉舞踏パフォーマンス「岡本太郎に向き合って 東北の身体」 | 森 繁哉 | 舞踏家/東北芸術工科大学教授 | 10月3日(土) | 16 |
| 文化庁「文化芸術による創造のまち支援事業」森繁哉舞踏パフォーマンス「展示室から」 | 森 繁哉 | 舞踏家/東北芸術工科大学教授 | 10月3日(土) | 43 |
| 文化庁「文化芸術による創造のまち支援事業」対談「語る身体、舞踏の記憶」 | 森 繁哉・渡邊晃一 | 舞踏家/東北芸術工科大学教授・福島大学芸術による地域創造研究所所長/福島大学准教授 | 10月3日(土) | 18 |
| 文化庁「美術館・博物館活動基盤整備支援事業」〈漆のくに・会津〉プロジェクト 私の漆を育てよう2 漆の木を植える | NPO 法人はるなか漆部会の皆さん | NPO 法人はるなか漆部会 | 11月15日(日) | 23 |

(16) 共催事業

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|---|-----------------|---------------|----------|------|
| 友の会・県立博物館共催展「野山の宝 化石・鉱物展」 | | | ～4月5日(日) | |
| 友の会・県立博物館共催展「野山の宝 化石・鉱物展」展示解説会 | 友の会化石・鉱物探検隊の皆さん | 友の会化石・鉱物探検隊 | 4月5日(日) | 140 |
| NPO 法人はるなか講座「桜守養成講座」 | 佐藤光信 | NPO 法人はるなか理事長 | 5月24日(日) | 13 |
| 会津若松市漆器協同組合青年部・県立博物館共催事業「会津の漆・温故知新の旅1 戦後会津のビッグチャレンジ・マルニ工芸の漆器輸出戦略」 | 小林めぐみ | 学芸員 | 8月27日(木) | 110 |

| テ ー マ | 講 師 | 講師所属 | 期 日 | 参加者数 |
|---|-------------------------------------|---|-----------|------|
| 福島大学芸術による地域創造研究所と県立博物館との共同企画シンポジウム「〈会津〉まちの記憶を掘り起こす」 | 岡部昌生・渋川恵男・照島敏明・渡邊晃一 | 美術家・南沢川開屋代表取締役・會津壺番館経営・福島大学芸術による地域創造研究所所長 | 8月30日(日) | 36 |
| 福島大学芸術による地域創造研究所と県立博物館との共同企画 岡部昌生フロッタージュ・ワークショップ | 岡部昌生 | 美術家 | 8月30日(日) | 25 |
| 会津史学会歴史文化講演会「知られざる会津第7代藩主松平容衆とその時代」 | 野口信一 | 会津若松市立会津図書館長 | 10月25日(日) | 160 |
| FM ふくしま公開録音「一枚の写真から」公開ライブ | 吉田慶子・黒木千波留 | パーソナリティ／ボサノヴァシンガー・ピアニスト | 10月31日(土) | 171 |
| NPO 法人はるなか講演会 里山講演会「里山だより～里山に学び遊び暮らす」 | 月田禮次郎 | 福島県指導林家／福島県もりの案内人 | 11月22日(日) | 77 |
| 会津史談会文化史講座公開講演会「古代の歴史のロマンを求めて…会津の古墳」 | 横須賀倫達 | 学芸員 | 12月4日(金) | 111 |
| 放送大学福島学習センター公開講演会「武士道と禅」 | 何 燕生(カ エンセイ) | 放送大学客員准教授／郡山女子大学短期大学部准教授 | 12月6日(日) | 144 |
| NPO 法人はるなかパネルディスカッション「21世紀の会津漆器をはぐくむ」～うるしのはなしをしよう～ | 大竹信一・鈴木健司・田代早苗・佐瀬朝子・白井孝子・西田文子・小林めぐみ | 漆工芸／蒔絵師・漆掻き／塗師・(株)サニープロジェクト・ドゥ！カメラ・はるなか会員・元うるしやLA・学芸員 | 1月31日(日) | 96 |
| NPO 法人はるなか講座「棉繰り・糸紡ぎ」 | 榎 陽介 | 学芸員 | 2月7日(日) | 29 |
| NPO 法人はるなか生物調査発表会「青木山の生きものたちー自然環境を保全する里山公園をめざしてー」 | 折笠常弘・成田宏一・小林潤一郎・林 克之・菅原宏理・佐藤光信 | 会津生物同好会会長・会津生物同好会理事・福島虫の会会長・日本野鳥の会会津支部長・福島県立薬高等学校教諭・NPO 法人はるなか理事長 | 2月21日(日) | 153 |
| NPO 法人はるなか桜講演会「会津をいつまでも桜の楽園に」 | 阿部 壽 | 30世紀に桜をのこす会会長 | 3月14日(日) | 50 |



木曜の広場「会津農書と会津の三泣き」



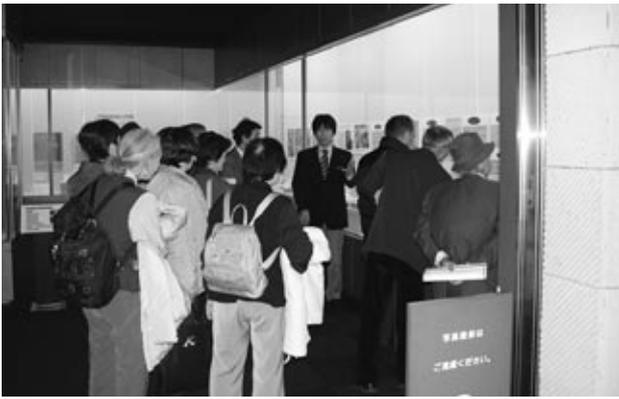
考古学講座「土器作り1」



考古学講座「モノで学ぶ考古学1」



民俗講座「学芸員佐々木長生と民俗を語る④」



歴史講座「展示室講座3 ズームアップ!平島松尾」



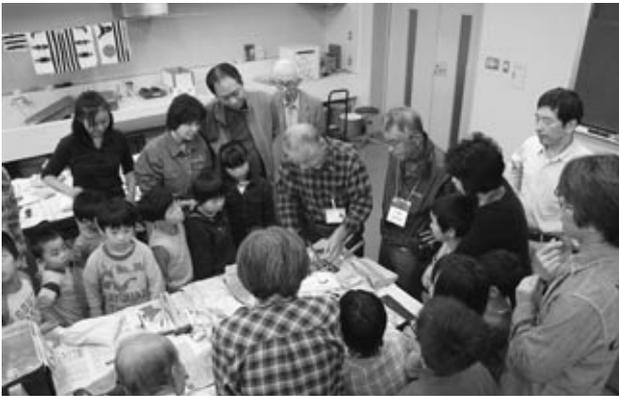
歴史講座「やさしい古文書講座1」



美術講座「展示室講座1 旧家の生活文化」



美術講座「親子で楽しむ展示室講座2
けんぱくポイント日本史」



自然史講座「化石標本をつくろう」



自然史講座「鶴ヶ城の野鳥」



体験講座「でんでん太鼓をつくろう」



実技講座「三島の編み組細工①」



実演「機織り①」



会津若松市漆器協同組合青年部・県立博物館共催事業
「会津の漆・温故知新の旅1」



NPO はるなかパネルディスカッション
「21世紀の会津漆器をはぐくむ」

(2) ミュージアムイベント

地域に開かれた親しみやすい博物館を目指すため、ミュージアムイベントと称し、エントランスホールを中心に各種のイベントを開催した。

(ア) 落語から見た江戸文化

1. 日 時 平成21年4月18日(土) 午後1時30分～3時
2. 会 場 講堂
3. 参加者数 230人
4. 出 演 三遊亭兼好氏 (落語家)
5. 内 容

三遊亭兼好氏は会津若松市出身で、平成20年に「真打ち」に昇進し、芸名も「好二郎」から「兼好」に改めた。兼好氏をゲストに迎えて落語を披露してもらった。後半は、当館館長の赤坂憲雄との対談で、落語文化の背景や落語界の裏話などをうかがいながら、江戸文化を代表する「落語」の歴史的・文化的意義を来館者と共に考えた。



落語から見た江戸文化

(イ) けんぱく大茶会

1. 日 時 平成21年7月18日(土) 午後1時30分～3時
2. 会 場 エントランスホール
3. 参加者数 209人
4. 出 演 茶道裏千家淡交会会津支部のみなさん、川延安直・笹川英俊 (当館学芸員)
5. 共 催 裏千家会津支部青年部・学生茶道部
6. 内 容

茶道には、日本の文化が凝縮されている。中国などからの渡来品に価値を置いていた「唐物」崇拜。現代の建築様式にもつながる書院造の誕生。床飾りに場のテーマを象徴させる考え方。利休が大成した「わび・さび」

の精神。茶道を知ること、日本の文化に親しむことにつながる。子どもたちに茶道の面白さを気軽に楽しんでもらい、日本文化への理解を深めてもらうため、そして大人にも新たな日本文化の発見を促すため、裏千家会津支部との共催により、県立博物館で子供向けの茶会を開催した。家族揃って、あるいは友達とお茶の文化を楽しめる内容とした。

7. 成果と課題

- ①当日は子どもからお年寄りまで幅広い年代の参加者260名が来場した。初めてお茶に接する参加者もあり、気軽に茶の湯文化に触れるという事業の目的はある程度達成できたと思われる。
- ②子ども向けの企画であったが、子どもや親子での参加を促すような広報があまり効果的にできなかった。学校や幼稚園・保育園などへの集中的な広報も、内容によって必要と思われる。



けんぱく大茶会

(ウ) 昆虫にさわってみよう

1. 日時 8月1日(土) 午前10時～午後4時
2. 会場 取面入口前広場 屋外ブース設置、自由参加型(「うつくしま自然展」関連行事)
3. 参加者数 153人
4. 参加団体 福島虫の会、会津イトヨ研究会、日本野鳥の会いわき支部
5. 共催 うつくしま自然展実行委員会(夏の特集展「第2回うつくしま自然展」関連行事)

6. 内容

- ①水生昆虫を中心とした昆虫類の生態を観察し、それらにじかに触れてみる。
- ②会津にも生息する陸封型イトヨの生態を水槽中で観察する。
- ③コアジサシのペーパークラフト作り

博物館正面入口前の広場に2つのテントを張り、「昆虫にさわってみよう」を中心に、上記3つの内容を同時開催した。当日、博物館へ入館するすべての人の目に触れる位置にブースがあり、また、もともとイベント目的で来館した人も多かったと思われる、実質的には来館した人のほぼすべてが多少なりともブースを覗いていったと思われる。

7. 成果と課題

- ①人気は大いに高く、来場者の反応も非常に良かった。昆虫・イトヨ共に、子供たちの人気が特に高かったのはもちろんだが、付き添いの大人たちが子供のことを忘れて夢中になる姿や、そもそもこれらのイベント目的で来館している大人たちも見受けられ、結果的には年齢層を問わないイベント内容であったと考えられる。
- ②実際に昆虫に触れることに対しては、子供、大人共に、全く苦にならない人と拒絶反応を示す人がいたが、一般的には子供のほうが大胆である。ペーパークラフト作りだけは、細かい作業で時間もかかるためその場で作成に挑戦する人はなく、印刷したペーパークラフトを配るだけの単調なものとなった。
- ③一方、参加団体の側からみると、展示した昆虫は飼育の手間があるほか、前日または当日早朝生息地から採集してくるなど多大な労力を費やしており、展示中の管理も大変なうえ、水生昆虫のほとんどは1日の終わりには死んでしまうなど、種々の事情があり、安易に開催できるイベントではないと思われた。イトヨについても、生息地または飼育地の水の運搬、冷却装置による厳密な水温管理(水温が上昇するとすぐに死んでしまう)など、飼育技術を熟知した者でないと対応できない。「いきもの」相手であるだけに、来場者の反応とは対照的に、担当者の側は専門知識と多くの労力が必要なイベントであった。
- ④会場は屋外のテントの下であるため、会場全体から縁日の屋台式な雑然とした雰囲気はぬぐえず、雰囲気作りにはなお工夫が必要と感じられた。会津イトヨ研究会の担当者は、イトヨの展示のほかに、自分で発明した科学玩具を持ち込み、来場者に遊ばせていた。圧力や水の動きを視覚的に捉えさせるたいへん面白い玩具で、来場者の人気は絶大であった。

- ⑤ 今回のイベントの開催は、全体としては来場者の人気非常に高く、良い企画だったと考える。しかしながら、今回は特集展「うつくしま自然展」の関連行事として開催できたからこそ意義あるイベントになり得たものであり、動・植物関連の専門分野を持たない当館で、今後、似たようなイベントだけを開催しても、その意義は中途半端なものとなろう。
- ⑥ 今回のイベントや「うつくしま自然展」の展示に参加した団体にはそれぞれの分野の専門家がおり、標本も蓄えられている。したがって、今後とも何らかの形で展示そのものに協力してもらったり、また、講演会や夏休み相談会の講師に招聘するなどの形で連携することは大いに考えられる。



昆虫にさわってみよう

(エ) 親子で楽しむ野外映画会 火の鳥～ヤマト編～

1. 日時 平成21年 8月15日(土) 午後7時～8時
2. 会場 正面入口前広場
3. 参加者数 110人
4. 内容

昨年同様、フィルムを使わずに、DVDを大型プロジェクターでスクリーンに映し出す方法をとった。昨年は雨のため講堂での上映となったが、今年は天気も良く、野外で楽しむには絶好のコンディションだった。

Action for KID 特集展「会津とマンガ文化ーアニメ監督・笹川ひろしの原点ー」の関連行事としての意味合いもあったため、手塚治虫の名作『火の鳥～ヤマト編～』のアニメーション作品を上映した。

5. 成果と課題

- ① 今年「親子で楽しむ」ことを主目的とし、

小さい子供も無理なく観覧できるように、椅子席に加え、ゴザ席を設けた。また昨年は上映時間が2時間程度であったが、今年は1時間程度の短い作品とした。

- ② 特集展の関連行事として行ったため、当日は午後7時まで同展の観覧時間を延長した。上映時間までゆっくり過ごしてもらえて良かったと思う。
- ③ アンケートでは、野外での上映は開放感や迫力があって感動が違うという意見、子供に野外で映画を見る体験をさせてあげることができて良かったなどの意見があった。
- ④ 映画を楽しく観覧してもらうため、レストランの協力を得て、かき氷を販売した。好評であった反面、観覧中製氷機の音がうるさかったという意見もあった。

(オ) クリスマスコンサートーミュージカルとオペラが奏でる母の愛ー

1. 日時 平成21年12月19日(土) 午後1時30分～3時
2. 会場 エントランスホール
3. 参加者数 155人
4. 出演 伊藤郁子氏(メゾソプラノ)、大山優子氏(ピアノ)
5. 内容

ご両親が会津若松出身で仙台を中心に活動している声楽家伊藤郁子氏のコンサート。同じく仙台で活動している大山優子氏がピアノ伴奏。「ミュージカルとオペラが奏でる母の愛」というテーマで、前半はミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」のハイライト、後半は母の愛を歌ったオペラのアリア。オペラの中の1曲には、源義経に従った佐藤嗣信・忠信兄弟の母、乙和御前を主役とし、子を思う母の愛を表現した福島オペラ協会による創作オペラ「乙和の椿」も披露した。感情のこもった美しい歌声は、来場者の感動を誘い、オペラの魅力をあらためて認識できた。



クリスマスコンサート

(カ) 館長サタデープロジェクト

平成20年度から、ミュージアムイベントの新企画として、「館長サタデープロジェクト」を実施した。平成21年度の館長サタデープロジェクトは、当該年度に実施した平成21年度文化庁美術館博物館活動基盤整備支援事業「〈漆のくに・会津〉プロジェクト」の小事業の一つとして、トークイベント「知力と地力を活かした地域の活性化」を3回連続で開催した。地域の文化資源を活用して地域の活性化を行っている取り組みを、4組のゲストに紹介いただき、館長との対談を交えて、“地力”を“知力”でどう活性化するかを来場者とともに考えた。

1. トークイベント 知力と地力を活かした地域の活性化1 「F-styleの仕事」

日時 平成22年1月16日(土) 午後1時30分～3時

会場 講堂

参加者数 65人

ゲスト 五十嵐恵美氏・星野若菜氏 (F-style)

2. トークイベント 知力と地力を活かした地域の活性化2 「会津の地力」

日時 平成22年2月19日(金) 午後3時～5時

会場 講堂

参加者数 43人

ゲスト 山形洋一氏 (前喜多方市美術館長)、渡邊晃一氏 (福島大学准教授・福島大学芸術による地域創造研究所長)

3. トークイベント 知力と地力を活かした地域の活性化3 「越後妻有とアートの力」

日時 平成22年2月20日(土) 午後1時30分～3時

会場 福島県立博物館講堂



会津の地力



越後妻有とアートの力

参加者数：50人

ゲスト 北川フラム氏 (越後妻有アートトリエンナーレ総合プロデューサー)

(3) Action for KIDS プログラム

福島県立博物館では、夏休みは子ども向けの企画を優先的に実施してきた。平成21年度の夏は、特に子どもを強く意識して、小学生～中学生を中心とした子どものための事業展開を試みた。その行事は次頁の表に示したとおりである (平成21年度行事一覧の表と重複)。この事業を、会津管内の小・中学校に広報し、行事への参加を呼びかけた。



F-styleの仕事

Action for KIDS プログラム

| アクション No | 期 日 | 種 別 | 名 称 | 内 容 | 参加方法 |
|-------------|--|------------------------|--|---|-------|
| 1 | 7月4日(土) ～ 8月23日(日) | テーマ展示 | 「けんぱく版課外 授業－見る教科書 －」 | 博物館のさまざまな分野の収蔵資 料を中心に構成した見る教科書。 夏休みの宿題や自由研究のヒント が見つかるかも。 | 展示観覧型 |
| 2 | 7月7日(火) ～ 9月4日(金) | 夏の特集展 | 「第2回うつくし ま自然展 －貴重なふくしま の自然を守る－」 | 福島県の動植物の研究団体が集め た、昆虫・野鳥・魚・草花・鉱物 などの実物や写真を展示。福島県 の多様で貴重な生き物やその生息 環境がご覧になれます。 | 展示観覧型 |
| 3 | 8月15日(土) ～ 9月23日(水) | Action for KIDS 特集展 | 「会津とマンガ文化 －アニメ監督・笹 川ひろしの原点－」 | 人気アニメ「ヤッターマン」の監 督といえば会津若松市出身の笹川 ひろしさん。笹川さんを中心に、 会津とマンガ文化の知られざる深 い関係を紹介します。 | 展示観覧型 |
| 4 | 7月18日(土) 13:30～15:30 | ミュージアムイベ ント | 「けんぱく大茶会」 | 茶の湯を楽しめる4つのブースが 登場。お茶を飲んだり、点てたり、 日本ならではの和室での礼儀作法 をやさしく教えてもらったり。裏 千家会津支部との共催事業です。 | 自由参加型 |
| 5 | 7月19日(日) 13:30～15:00 | 実演 | 「昔語り for KIDS」 Action 1 | “語り部”山田登志美さんの実 演。子供たちを対象にした楽しい 「昔語り」です。 | 自由参加型 |
| 6 | 7月23日(木) 7月24日(金) 10:00～16:00 | KIDS プログラム | 「夏休み宿題相談 会」 (歴史・美術・考古・ 民俗・自然) | 歴史・美術・考古・民俗・自然の 各分野の学芸員がエントランスに 相談コーナーを設けて、子どもた ちの夏休みの宿題相談に応じます。 す。 | 自由参加型 |
| 7 | 7月30日(木) 10:00～16:00 | KIDS プログラム | 「1日まるごと博 物館」 | 「バックヤードツアー」・「勾玉作 り」・「火おこし体験」など、さま ざまな体験活動に参加しながら、 一日を館内で過ごす博物館に親し むイベントです。 | 募集型 |
| 8 | 8月1日(土) 10:00～16:00 | ミュージアムイベ ント | 「昆虫にさわって みよう」 | 「第2回うつくしま自然展」関連 行事。 福島虫の会会員の指導による、昆 虫の見方や昆虫の標本作製指導な どを行います。生きた魚に触れる コーナーもあります。 | 自由参加型 |
| 9 | 8月2日(日) 13:30～15:00 | 実演 | 「昔語り for KIDS」 Action 2 | “語り部”横山幸子さんの実演。 子供たちを対象にした楽しい「昔 語り」です。 | 自由参加型 |
| 10 | 8月5日(水) ～ 8月7日(金) 10:00～16:00 | 考古学講座 | 「高校生のための 考古学集中講座」 発掘体験・遺跡見 学・体験学習 | 3日間連続参加していただきます。 遺跡見学・発掘調査体験のほか、 火おこし、玉作りなどの体験学 習を通して、考古学の基礎を学 びます。 | 募集型 |
| 11 | 8月8日(土) 17:30～18:30 | KIDS イベント | 「ナイトミュージ アム」 | 真っ暗な夜の常設展示室を懐中電 灯を持って探検します。闇に浮か び上がる「フタバスズキリュウ」、 「縄文の竪穴住居」、「木炭バス」 は迫力満点です。 | 募集型 |
| 12 | 8月9日(日) 13:30～15:00 | 美術講座 | 親子で楽しむ展示 室講座1 「さわる触れる博 物館」 | テーマ展示「けんぱく版課外授 業」関連講座。 美術資料・民俗資料等幅広い収蔵 資料の材質・質量などを実際に体 験。ワークシート形式で学習しま す。 | 自由参加型 |

| アクション No | 期 日 | 種 別 | 名 称 | 内 容 | 参加方法 |
|----------|-------------------------|-------------------|-------------------------------|--|-------|
| 13 | 8月15日(土) 19:00~20:00 | ミュージアムイベント | 親子で楽しむ野外映画会 「火の鳥～ヤマト編～」 | 漫画家手塚治虫のライフワーク『火の鳥』。映画化されたシリーズのうち、古墳時代の日本を舞台に、神話を下敷きとして展開する「ヤマト編」を上映します。 | 自由参加型 |
| 14 | 8月16日(日) 13:30~15:00 | 美術講座 | 親子で楽しむ展示室講座2 「けんぱくポイント日本史」 | テーマ展示「けんぱく版課外授業」関連講座。開催中のテーマ展示「けんぱく版課外授業-見る教科書-」の解説を親子向けに展開します。 | 自由参加型 |
| 15 | 8月22日(土) 13:30~15:00 | KIDS プログラム | 「科学おねえさんのみんなの実験教室」 | 喜多方市出身の科学おねえさん福島郁子氏の科学パフォーマンス教室。空気砲やストロー笛の実験などを小学向けにエントランスホールで行います。 | 自由参加型 |
| 16 | 8月23日(日) 13:30~15:00 | 美術講座 | 親子で楽しむ展示室講座3 「教えて達人」 | テーマ展示「けんぱく版課外授業」関連講座。本県在住の専門家が展示中のテーマ展示資料から、それぞれの専門分野の資料を選んで解説します。刀剣・会津漆器・銅版画を予定しています。 | 自由参加型 |
| 17 | 8月30日(日) 10:00~14:00 | 会津若松市幼稚園連絡協議会共催事業 | かえっこバザール@あいづ | 不要となったおもちゃを持ち寄って交換したり、ポイントを貯めて自分の欲しいおもちゃをゲットするイベント。誰でも参加できる、お金のいらぬ子供たちの遊び場です。 | 自由参加型 |



夏休み宿題相談会



1日まるごと博物館



科学おねえさんのみんなの実験教室



かえっこバザール@あいづ

(4) 学校・文化施設との連携

学校および文化施設との連携をはかり、次の事業を実施している。

(ア) 展示室での自主学習

1. 博物館見学のしおり (小・中学生用)

自由記述形式のワークシート。常設展示を見学して書き込みながら学ぶように構成されている。展示資料をよく観察することによって様々な考え方・まとめ方ができる内容になっている。小・中学生の個人および団体系来館者に無償配布している。



博物館見学のしおり

2. ワークシート

ホームページからダウンロードでき、利用する団体が学習目的にあわせて使用できる。常設展示室のテーマ別に主な展示品を題材にしている。

(イ) 団体体験学習プログラム

来館した児童生徒が博物館資料を用いた直接体験をすることは、多様なものの見方、考え方を養う上で有効であることから、団体の要望に応じて体験学習を実施している。「古代の技に挑戦 (考古)」「化石にふれてみよう (自然)」「糸紡ぎ (民俗)」「度量衡の統一と農民の暮らし (歴史)」の体験メニューを用意し、入館団体が選択して利用しやすいよう



ワークシート「フタバスズキリュウ」

にしている。

体験学習プログラム実施状況 (分野・回数)

4月 (考古・2回) 5月 (考古・5回)
6月 (考古・2回 民俗・1回 自然・1回
美術・1回) 7月 (考古・1回 美術・1回)
9月 (考古・1回 民俗・1回)
10月 (民俗・1回 自然・1回) 11月 (考古・2回
自然・1回) 12月 (考古・1回 民俗・1回
自然・1回) 2月 (考古・1回) 合計25回



糸紡ぎ (吾妻小)

(ウ) 博物館研修講座 (指導者向け研修)

学校教育・生涯教育関係者を対象に、博物

館の利用方法の周知と、体験メニューを実際に体験してもらい学校や公民館等が授業や講座で利用できるという意識を高めることを目的に研修講座を実施した。博物館が行っている体験メニューや団体入館時の体験学習の事例等を紹介した。

平成21年8月20日(木) 参加者19名(小・中学校教員16名 生涯教育関係者3名)

なお、今年度は福島県教育庁社会教育課主催の福島県学芸員及び学芸員補研修を兼ねて行われ、他館から13名の学芸員が参加した。



博物館研修講座

(エ) 体験用具の貸出

学校や生涯教育関連施設が行う体験的活動を支援するため、考古・歴史・民俗・自然の各分野で体験用具・教材の貸出を行っている。用具貸出状況

9月12日 こも編み機2台
金山町立金山小学校

10月25日 火縄銃2丁
只見町立只見中学校

11月6日 化石・岩石採集用ハンマー30点
ほか
下郷町立下郷中学校

(オ) ゲスト・ティーチャー

博物館学芸員の専門知識や経験を館外でも有効に利用していただくため、学校や公民館等の要請に応じて現地に赴き、体験学習や講話を中心とした授業を実施した。

ゲスト・ティーチャー実施一覧

| 月 日 | 講 師 | 内 容 | 実 施 先 |
|--------|------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|
| 5月31日 | 小澤 義春 | すごいぞ! 大気のカー大気圧とその秘密ー | 喜多方市立第一小学校 |
| 6月3日 | 阿部 綾子 | 会津歴代藩主の変遷と保科家の史跡整備 | 猪苗代町立猪苗代中学校 |
| 7月3日 | 田中 敏 | 米作りが始まった頃 | 会津若松市立第一中学校 |
| 7月3日 | 小林めぐみ | 会津の漆 | 会津若松市立第一中学校 |
| 7月7日 | 佐々木長生 | “市”から見た会津若松の歴史 | 会津若松市立第一中学校 |
| 7月7日 | 星 幸 | 会津の歴史 | 会津若松市立第一中学校 |
| 7月8日 | 相田 優 | 会津の大地 | 会津若松市立第一中学校 |
| 7月27日 | 川延 安直・笹川 英俊・小林めぐみ・田中 敏・大竹 正浩 | 簡易茶会 古美術の見方・扱い方 水墨画の観賞 勾玉づくり | 福島県小学校教育研究会北会地区研究会生活科・総合研究部 |
| 7月27日 | 川延 安直・笹川 英俊・小林めぐみ | 簡易茶会 古美術の見方・扱い方 水墨画の観賞 | 福島県小学校教育研究会北会地区研究会社会科研究部 |
| 10月6日 | 相田 優 | 会津の自然 | 会津慈光幼稚園 |
| 10月13日 | 相田 優 | 会津の自然 | 慈光第二幼稚園 |
| 10月17日 | 小澤 義春 | 火山灰の中に宝石を見つけよう | 会津自然の家 |
| 10月17日 | 榎 陽介 | 糸紡ぎ | 会津自然の家 |
| 10月24日 | 田中 敏・大竹 正浩 | 勾玉づくり 喜多方の古代史 | 喜多方市立第二小学校 PTA |
| 11月13日 | 森 幸彦 | 縄文土器の話 | 西会津町新郷公民館 |
| 11月19日 | 竹谷陽二郎 | 黒森の地層の成り立ちと化石のでき方 (ウェブ・ミーティング) | 下郷町立下郷中学校 |
| 11月27日 | 小澤 義春 | 黒森高川層産出の植物化石と化石のでき方 (ウェブ・ミーティング) | 下郷町立下郷中学校 |
| 12月3日 | 笹川 英俊 | 会津の歴史と文化 | 会津若松市立大戸中学校 |



ゲスト・ティーチャー「火山灰の中に宝石を見つけよう！」(会津自然の家)



職場体験 (若松商業高校)

(カ) 職場体験

生徒の適切な進路選択に寄与すべく、学校からの要請を受け入れ、実際に博物館業務を体験させた。

- ①会津若松市立第四中学校 (4名) 2日間
- ②会津若松市立大戸中学校 (2名) 2日間
- ③福島県立若松商業高等学校 (3名) 2日間
- ④会津美里町立高田中学校 (4名) 2日間

(キ) 博物館実習

大学における学芸員資格取得のための「博物館実習」を実施。県内の大学生および県内出身の大学生を受け入れている。

人数 13名

実習期間 8月25日(火)～8月30日(日)

博物館実習プログラム

| 月日 | 時間 | 内容 | 担当 | 場所 |
|------------------|-----------------|------------------|------------------|---|
| 8月 25日 (火) | 8:50～9:00 | 出席確認・諸連絡 | 学習支援班 (小澤) | 第2会議室 事務室 第2会議室 第2会議室 館内外 総合展示室 展示室 第2会議室 第2会議室 |
| | 9:00～9:10 | 実習生紹介 | 学習支援班 (小澤) | |
| | 9:10～9:40 | オリエンテーション | 学習支援班 (小澤) | |
| | 9:50～10:50 | 福島県立博物館の概要 | 学芸課長 | |
| | 11:00～12:00 | 博物館の設備 (館内外施設見学) | 学習支援班 (小澤) | |
| | 13:00～14:00 | 常設展・フロントヤード自由観覧 | 学習支援班 (小澤) | |
| | 14:00～14:40 | 解説員による展示解説について | 展示解説員 (渡邊麻衣子) | |
| 14:50～16:30 | 自己紹介 観覧の感想・質疑応答 | 学習支援班 (小澤)・学芸課長 | | |
| 16:40～17:30 | 実習日誌の作成・提出 | 学習支援班 (小澤・星) | | |
| 26日 (水) | 8:50～9:00 | 出席確認・諸連絡 | 学習支援班 (小澤) | 第2会議室 第2会議室 第2会議室 第2会議室 |
| | 9:10～10:00 | 博物館の企画・運営 | 企画運営班 (竹谷) | |
| | 10:10～11:00 | 博物館の資料と調査研究 | 資料整理班 (相田) | |
| | 11:10～12:00 | 歴史資料について | 歴史分野 (高橋) | |
| 13:00～16:30 | 歴史資料の取り扱い | 歴史分野 (高橋) | 第2会議室 第2会議室 | |
| 16:40～17:30 | 実習日誌の作成提出 | 学習支援班 (小澤・星) | | |
| 27日 (木) | 8:50～9:00 | 出席確認・諸連絡 | 学習支援班 (小澤) | 第2会議室 第2会議室 第2会議室 収蔵庫等 |
| | 9:10～10:00 | 博物館の展示 | 展示班 (榎) | |
| | 10:10～11:00 | 資料保存について | 保存科学分野 (松田) | |
| | 11:10～12:00 | 資料保存の実際 | 保存科学分野 (松田) | |
| 13:00～16:30 | 民俗資料の取り扱い | 民俗分野 (佐々木・榎・鈴木) | 第1収蔵庫等 第2会議室 | |
| 16:40～17:30 | 実習日誌の作成・提出 | 学習支援班 (小澤・星) | | |
| 28日 (金) | 8:50～9:00 | 出席確認・諸連絡 | 学習支援班 (小澤) | 第2会議室 第2会議室 図書室 第2会議室 |
| | 9:10～10:00 | 博物館の広報普及活動 | 広報班 (佐藤) | |
| | 10:10～11:00 | 図書資料の整理・登録・管理 | 資料整理班 (相田・長澤・加藤) | |
| | 11:00～12:00 | 美術資料について | 美術分野 (川延) | |
| | 13:00～16:30 | 美術資料の取り扱い | 美術分野 (川延・小林・笹川) | |
| 16:40～17:30 | 実習日誌の作成・提出 | 学習支援班 (小澤・星) | | |
| 29日 (土) | 8:50～9:00 | 出席確認・諸連絡 | 学習支援班 (小澤) | 第2会議室 第2会議室 第2会議室 第2会議室 |
| | 9:10～10:00 | 博物館の学習支援活動 | 学習支援班 (小澤) | |
| | 10:10～11:00 | 民俗資料について | 民俗分野 (佐々木) | |
| | 11:10～12:00 | 自然資料について | 自然分野 (竹谷) | |
| | 13:00～16:30 | 自然資料の取り扱い | 自然分野 (竹谷・小澤) | |
| 16:40～17:30 | 実習日誌の作成・提出 | 学習支援班 (小澤・星) | | |

| 月 日 | 時 間 | 内 容 | 担 当 | 場 所 |
|-------------|-------------|---|---|--------------------------|
| 30日 (日) | 8:50~9:00 | 出席確認・諸連絡 考古資料について 考古資料の取り扱い | 学習支援班 (小澤) 考古分野 (田中) 考古分野 (田中・大竹) | 第2会議室 第2会議室 考古作業室等 |
| | 9:10~10:00 | | | |
| | 10:10~12:00 | | | |
| | —昼食— | | | |
| | 13:00~14:40 | 考古資料の取り扱い(午前の続き) 実習を終えて(質疑・意見交換) 実習日誌の作成・提出 | 考古分野 (田中・大竹) 学習支援班 (小澤)・学芸課長 学習支援班 (小澤・星) | 考古作業室等 第2会議室 第2会議室 |
| 14:50~16:10 | | | | |
| 16:20~17:30 | | | | |

実習生所属大学一覧

| No. | 大 学 名 | 人 数 |
|-----|-------------|-----|
| 1 | 愛知学院大学 | 1 |
| 2 | 郡山女子大学短期大学部 | 1 |
| 3 | 清泉女子大学 | 2 |
| 4 | 専修大学 | 1 |
| 5 | 大東文化大学 | 1 |
| 6 | 筑波学院大学 | 1 |
| 7 | 筑波大学 | 1 |
| 8 | 東北学院大学 | 3 |
| 9 | 新潟大学 | 1 |
| 10 | 米沢女子短期大学 | 1 |
| | 合 計 | 13 |



博物館実習「化石のクリーニングと登録作業」

間。展示図録・報告書・紀要など博物館の刊行物の他、博物館資料に関連した一般図書や図鑑・辞書など2,387冊を配架。入館者が自由に閲覧できる。平成21年度は110冊増加した。また、入館者の展示や資料に関する質問や相談の求めに応じて、入館者と学芸員が面談する場でもある。



相談コーナー

(イ) 資料の特別観覧

個人や研究機関による研究活動を支援するため、博物館資料の閲覧や撮影を許可し実施している。

分野別特別観覧件数：

考古：4件 歴史：26件 美術：1件
自然：2件 民俗：0件 合計：33件

(ウ) 講師派遣

公民館や研究団体など他団体から依頼された講座・講演に対して、学芸員を講師として派遣した。

(5) 生涯学習・研究支援

(ア) 相談コーナー

エントランスホール内に配置された無料空

講師派遣状況

| 月 日 | 講 師 | 演 題 | 主 催 |
|--------|-------|------------------------|------------------|
| 8月27日 | 川延 安直 | 会津の美術—近世から現代まで— | 会津若松市中央公民館 |
| 10月1日 | 阿部 綾子 | 正之公と会津松平家 | 猪苗代町体験交流館 |
| 10月9日 | 竹谷陽二郎 | 飯豊山の自然Ⅱ (地質) | 飯豊の山の案内人養成塾実行委員会 |
| 10月27日 | 藤原 妃敏 | 福島の魅力を知る | 福島県立医科大学 |
| 11月5日 | 田中 敏 | 考古学から見た福島の歴史—弥生・古墳時代編— | 白河中央公民館 |
| 11月5日 | 高橋 充 | 正之公の葬送と土津神社 | 猪苗代町体験交流館 |
| 11月5日 | 横須賀倫達 | 会津の古墳めぐり | 会津史談会 |
| 12月4日 | 横須賀倫達 | 古代のロマンを求めて—会津の古墳— | 会津史談会 |
| 2月7日 | 榎 陽介 | 棉操り、糸紡ぎ | NPO はるなか 藍・棉・綿部会 |

6. 広報公聴活動および出版事業

(1) 広報活動

(ア) 広報用印刷物

博物館の広報を目的とする印刷物として次のものを発行している。

広報用印刷物の印刷部数と送付先

| 種 類 | サ イ ズ | 印 刷 数 | 主 な 送 付 先 |
|---|-------------------|----------------------------|--|
| ポスター | B 2 | 企画展 3,000枚×1回 計3,000枚 | 県内小・中・高校 県内博物館・美術館・図書館・ 公民館・文化施設・教育施設 県外主要博物館 東北・関東地方の県立図書館・大学図書館 会津地 域の銀行・病院・JA・道の駅・旅館・ホテル・保養施 設・その他店頭 博物館友の会会員（町貼り協力者） 県内市町村教育委員会 会津方部県出先機関 県 教育事務所 |
| リーフレット | A 4 | 企画展 35,000枚×1回 計35,000枚 | 県内および近県の新聞社・放送局 県内タウン情報 誌 県内公立小・中・高校 県内博物館・美術館・ 図書館・公民館・文化施設・教育施設 県外主要博 物館 東北・関東地方の県立図書館・大学図書館 会津地域の銀行・病院・JA・道の駅・旅館・ホテル・ 保養施設・その他店頭 南東北・関東・新潟旅行代 理店 博物館友の会会員（町貼り協力者） 県内 市町村教育委員会 会津方部県出先機関 県教育 事務所 |
| 博物館だより（博 物館の広報誌） | A 4 8頁 | 3,500冊×4回=14,000冊 | 県内タウン情報誌 県内公立小・中・高校 県内 私立小・中・高校 県内博物館・美術館・図書館・ 公民館・文化施設・教育施設 県外主要博物館 東北・関東地方の国立・県立図書館・大学図書館 県内市町村教育委員会 会津方部県出先機関 県 教育事務所 |
| 年間催し物案内 | 20×39.4cm 四つ折り | 45,000枚×1回=45,000枚 | 県内の放送局 県内タウン情報誌 県内公立小・ 中・高校 県内私立小・中・高校 県内博物館・ 美術館・図書館・公民館・文化施設・教育施設 県 外主要博物館 東北・関東地方の県立図書館・大学図 書館 会津地域の銀行・病院・JA・道の駅・旅館・ ホテル・保養施設・その他店頭 南東北・関東・新 潟旅行代理店 県内市町村教育委員会 会津方部 県出先機関 県教育事務所 |
| はくぶつかん ニュース | A 4両面 (館内印刷) | 31,500枚×12回=378,000枚 | 県内公立小・中・高校 県内私立小・中学校 県 内図書館・公民館・教育施設 県内市町村教育委員 会 県教育事務所 |
| 月行事予定表 | A 4 (館内印刷) | 1,200枚×12回=14,400枚 | 県内および新潟県の新聞社・放送局 県内タウン情 報誌 会津若松市記者クラブ 会津若松市・周辺 市町村の観光・広報係 県内主要文化施設 |
| 投げ込み（企画展 の記者発表などマ スコミ向けイベン ト情報の提供） | A 4 (館内印刷) | 随時 | 県内新聞社・放送局・タウン情報誌 場合により近 県のマスコミに提供 県政記者クラブ 会津若松 市記者クラブ |

(イ) 広 告

特に企画展等の広報を目的とする広告を次のとおり実施した。

広告掲載一覧

| 展示会ほか | 看板(駅前・博物館周り) | 新聞 |
|------------------------|--------------|---------------|
| 春の特集展「直江兼統と会津の戦国武将」 | ○ | 福島民報社・福島民友新聞社 |
| 夏の特集展「第2回うつくしま自然展」 | ○ | 福島民報社・福島民友新聞社 |
| 秋の企画展「岡本太郎の博物館 はじめる視点」 | ○ | 福島民報社・福島民友新聞社 |
| 冬の特集展「平成新指定史跡展覧」 | | 福島民報社・福島民友新聞社 |

(ウ) ホームページ

当館ではホームページを開設し、館の紹介およびイベントなどの各種情報を発信している。

ホームページアクセス件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| リクエスト数 | 116,005 | 129,206 | 464,441 | 517,211 | 621,263 | 557,408 | 521,939 | 440,786 | 291,378 | 366,159 | 360,069 | 425,429 | 4,811,294 |
| ページ数 | 29,583 | 31,715 | 39,687 | 35,638 | 37,205 | 36,167 | 38,223 | 30,430 | 23,921 | 28,521 | 30,495 | 34,423 | 396,008 |



博物館だより第93号

(エ) ニュースメール

当館ではニュースメールを作成し、企画展、テーマ展示、講座、講演会などの催し物の情報などを、マスコミ向けに発信している。

平成21年度：Vol.72～Vol.97

(オ) 取材・報道・記事

展示会に関するものを中心に掲載した。

1. 春の特集展「直江兼統と会津の戦国武将」

①報道向け説明会（4月24日）

福島民報社・福島民友新聞社・河北新報社・週刊ボイス 取材

②テレビ・ラジオ

- ・FM ふくしま「ふくしまイブニングブレイク」
- ・TUF ニュース他（4月29日取材）
- ・KFB「トピックスうつくしま」（5月5日取材、5月9日放映）他
- ・NHK 県内ニュース

③新聞

- ・福島民友「きょうから県立博物館で特集展 兼統の書状、全国初公開」（4月25日記事）
- ・福島民報「きょう開幕 兼統と会津の武将展 県立博物館」（4月25日記事）
- ・福島民友「県立博物館で特集展開幕 兼統と会津接点紹介」（4月26日記事）
- ・福島民報 福島県広報「案内 直江兼統と会津の戦国武将展」（4月26日記事）
- ・河北新報「会津若松で特集展 直江兼統の足跡たどる」（4月26日記事）
- ・福島民報「県立博物館 景勝と兼統シンポ開催 歴史ファン聞き入る」（5月17日記事）
- ・福島民友「県立博物館でシンポ 会津の歴史と上杉氏に理解」（5月17日記事）
- ・新潟日報社「天地人ゆかりの松」（5月20日取材）

④雑誌・情報誌（県・市町村広報誌、博物館広報誌は除く。以下同じ）

- ・JR 東日本トランベール 平成21年1月

号「直江兼続に関する展示を予定」

- ほんものの旅 春号「天地人特集」(福島県観光物産交流協会)
- 会津嶺 2009年4月号 第25回けんぱくへ行こう! 「春の特集展 直江兼続と会津の戦国武将」

⑤ ホームページ情報提供

- 福島県観光 HP 「大河ドラマ天地人関係機関情報」(福島県観光交流課) 2008年9月～
- ふくしま発信事業 HP 「天地人の時代」(財団法人福島県文化振興事業団)

⑥ その他

- 会津若松観光情報交換会 (平成21年11月25日)

2. 夏の特集展「第2回うつくしま自然展」

① 報道向け説明会 (7月7日)

福島民報社・福島民友新聞社・読売新聞社・河北新報社 取材

② テレビ・ラジオ

- KFB 「スーパー J チャン」(7月9日取材、7月9日放映)
- TUF 「昼のニュース」(7月11日取材、7月14日放映)
- FM ふくしま 「ふくしまイブニングブレイク」(7月21日取材、7月27日放送)
- NHK 福島放送局 「NHK ニュース福島版 朝のニュース」(7月31日取材、8月放映)

③ 新聞

- 福島民友 「県立博物館で「自然展」開幕」(7月7日取材、7月8日記事)
- 福島民報 「県内の生態系紹介」(7月7日取材、7月8日記事)
- 福島民報 「あぶくま抄」(7月23日記事)

④ 雑誌・情報誌

- 会津嶺 2009年7月号 「第28回けんぱくへ行こう! 夏の特集展 第2回うつくしま自然展」
- Voice 7月25日号 「ミュージアムイベント 昆虫にさわってみよう」
- Voice 8月8日号 「第2回うつくしま自然展 特集展開催中」

3. Action for KIDS 特集展「会津とマンガ文化」

① 報道向け説明会 (8月14日)

福島民報社・福島民友新聞社・朝日新聞社・河北新報社・福島中央テレビ・テレビユー福島 取材

② 新聞

- 福島民報 「来月15日から展示会」(7月

10日記事)

- 福島民報 「若松で15日から特集展」(7月27日記事)
- 福島民報 「「アトム」手伝いアニメの道へ」(8月6日記事)
- 福島民報 「会津とマンガ文化展①～⑤」(8月11日～15日連載記事)
- 福島民報 「会津の漫画原点探る」(8月15日記事)
- 福島民報 「あぶくま抄」(8月15日記事)
- 毎日新聞 「会津とマンガ文化 企画展」(8月15日記事)
- 福島民報 「貴重な資料にファン注目」(8月16日記事)
- 読売新聞 「笹川ひろしさんの企画展」(8月15日取材、8月16日記事)
- 福島民友 「会津とマンガ文化 開幕」(8月16日記事)

③ 雑誌・情報誌

- 会津嶺 2009年8月号 「第29回けんぱくへ行こう! Action for Kids 特集展 会津とマンガ文化」
- 会津嶺 2009年9月号 「第30回けんぱくへ行こう! Action for Kids 特集展 会津とマンガ文化」

④ ホームページ情報提供

- タツノコプロダクション HP に掲載

4. 秋の企画展「岡本太郎の博物館・はじめる視点」

① 報道向け説明会 (10月9日)

福島民報社・福島民友新聞社・読売新聞社・河北新報社 取材

② テレビ・ラジオ

- FCT (10月12日取材)
- KFB (10月14日取材、10月17日放映)
- NHK 「お昼のニュース」(10月15日取材、10月15日放映)
- NHK 福島放送局 「ふくみみ」(10月20日取材、10月29日放映)
- FCT 「ごじテレシャトル」(11月3日取材、11月3日放映)

③ 新聞

- 日々の新聞第161号 「県立博物館の試み」(11月5日取材)

④ 雑誌・情報誌

- 会津嶺 2009年10月号 「第31回けんぱくへ行こう! 秋の企画展 岡本太郎の博物館」
- 会津嶺 2009年11月号 「第32回けんぱくへ行こう! 秋の企画展 岡本太郎の

博物館」

- ・ Mon mo 第23号「岡本太郎の博物館・はじめる視点

5. 冬の特集展「平成新指定史跡展覧」

- ①報道向け説明会（2月13日）
福島民報社・福島民友・福島放送 取材
- ②テレビ・ラジオ
 - ・ KFB「夕方ニュース」（2月13日放映）
 - ・ FM ふくしま「ふくしまイブニングブレイク」（2月9日収録、2月22日放送）
- ③新聞
 - ・ 河北新報「平成新指定史跡展覧」（3月25日記事）
- ④雑誌・情報誌
 - ・ 会津嶺 2009年3月号「第36回けんぱくへ行こう！ 冬の特集展 平成新指定史跡展覧」

6. テーマ展

- ①「旧家の装いと彩り —高橋家資料展—」（部門展示室歴史美術）
 - ・ 会津嶺 2009年6月号「第27回けんぱくへ行こう！ テーマ展 旧家の装いと彩り」
- ②「照姫と敏姫」
 - ・ 会津嶺 2009年9月号「第30回けんぱくへ行こう！ テーマ展 照姫と敏姫」
- ③「ズームアップ！平島松尾 —民報・民友の生みの親—」（部門展示室歴史美術）
 - ・ 会津嶺 2009年12月号「第33回けんぱくへ行こう！ テーマ展 ズームアップ！平島松尾」
- ④「冬虫夏草 —標本と精密画原画—」（部門展示室歴史美術）
 - ・ 福島民友「冬虫夏草」（1月27日記事）
 - ・ 会津嶺 2010年1月号「第34回けんぱくへ行こう！ テーマ展 冬虫夏草」
 - ・ 会津嶺 2010年2月号「第35回けんぱくへ行こう！ テーマ展 冬虫夏草」
- ⑤「絵で見る歳時記 —四季の楽しみ—」（部門展示室歴史美術）
 - ・ 会津嶺 2009年3月号「第36回けんぱくへ行こう！ テーマ展 絵で見る歳時記」

7. ポイント展

- ①「縄文の匠 荒屋敷遺跡」
 - ・ 会津嶺 2009年4月号「第25回けんぱくへ行こう！ ポイント展 縄文の匠 荒屋敷遺跡」
- ②「勿来金冠塚古墳の古墳時代青」
 - ・ 福島民報「ポイント展始まる（4月22日記事）」
 - ・ 会津嶺 2009年5月号「第26回けんぱくへ行こう！ ポイント展 勿来金冠塚古墳の古墳時代青」
- ③「葦名盛氏と伊達政宗—上杉・直江のライバル①—」「蒲生氏郷と秀行—上杉・直江のライバル②—」
 - ・ ぴあ株式会社「戦国城めぐりぴあ」（7月10日取材、9月10日刊行予定）
 - ・ FTV「うつくしま情報局」（7月30日取材、8月9日放映）
- ④「戦時下の資料 —風船爆弾—」（総合展示室近・現代）
 - ・ NHK 福島放送局「県内ニュース」（7月30日取材、同日放映）
 - ・ 福島民友「風船爆弾」（8月4日記事）
 - ・ 福島民友「ふくしま戦火の記憶4」（8月13日記事）
 - ・ 朝日新聞「風船爆弾」（夕刊8月13日・8月14日記事）

8. 常設展示

- ①総合展示 近現代「自由民権運動」
 - ・ FCT「おしえて！うつくしま ふくしまの自由民権運動」（9月13日取材、9月27日放映）
- ②部門展示 県土の形成「海の時代」
 - ・ TUF「ふしぎのトビラ しょっぱい温泉の秘密」（11月10日取材、2010年2月13日放映）

(2) 公聴活動

次の行事について利用者に対するアンケート調査を実施した。この結果を中期目標の平成21年度達成度評価の資料とすると同時に、データを分析し、館の事業の改善に努めた。

アンケート実施行事一覧

| No. | 分類 | タイトル | 開催日 |
|-----|---------|-------------------|--------------|
| 1 | 企画展・特集展 | 特集展「直江兼続と会津の戦国武将」 | 21/4/25-5/31 |
| 2 | 企画展・特集展 | 特集展「第2回うつくしま自然展」 | 21/7/7-9/4 |

| No | 分類 | タイトル | 開催日 |
|----|---------|---|----------------|
| 3 | 企画展・特集展 | 特集展「会津とマンガ文化」 | 21/8/15-9/23 |
| 4 | 企画展・特集展 | 企画展「岡本太郎の博物館・はじめる視点」 | 21/10/10-11/23 |
| 5 | 企画展・特集展 | 特集展「平成新指定史跡展覧」 | 22/2/13-5/16 |
| 6 | 公演 | ミュージアムイベント「落語から見た江戸文化」 | 21/4/18 |
| 7 | 公演 | 親子で楽しむ野外映画会「火の鳥～ヤマト編～」 | 21/8/15 |
| 8 | 公演 | KIDS プログラム「科学おねえさんのみんなの実験教室」 | 21/8/22 |
| 9 | 公演 | 森繁哉舞踏パフォーマンス・対談 | 21/10/3 |
| 10 | 公演 | クリスマスコンサート「ミュージカルとオペラが奏でる母の愛」 | 21/12/19 |
| 11 | 講演・対談 | シンポジウム「会津の景勝・兼統」講演「上杉謙信・景勝と直江兼統」 | 21/5/16 |
| 12 | 講演・対談 | 平山素子ダンスパフォーマンス・対談「見直すカラダ」 | 21/7/5 |
| 13 | 講演・対談 | 講演「舞踏の東北・太郎の東北」 | 21/10/2 |
| 14 | 講演・対談 | 〈漆のくに・会津〉プロジェクト「私の漆を育てよう2 漆の木を植える」 | 21/11/15 |
| 15 | 講演・対談 | 漆のくに会津シンポジウム「漆のチカラ～産地の現状とこれから」 | 21/11/21 |
| 16 | 講演・対談 | 〈漆のくに・会津〉プロジェクト トークイベント 知力と地力を活かした地域の活性化1「F-styleの仕事」 | 22/1/16 |
| 17 | 講座 | 展示室講座1「石井研堂の足跡を訪ねて」 | 21/4/11 |
| 18 | 講座 | 鶴ヶ城の自然を観察しよう | 21/8/1 |
| 19 | 講座 | 福島県立博物館研修講座 | 21/8/20 |
| 20 | 講座 | 古文書からさぐる直江兼統の時代1～4 | 21/5/9-8/8 |
| 21 | 講座 | 化石をさがそう・化石標本をつくろう | 21/10/10-11 |
| 22 | 講座 | やさしい古文書講座1～3 | 21/10/10-12/12 |
| 23 | 講座 | 考古学講座「モノで学ぶ考古学」1～5 | 22/1/23-3/6 |
| 24 | 常設展 | 常設展無料日アンケート | 21/8/21(県民の日) |
| 25 | 常設展 | 常設展無料日アンケート | 21/9/21(敬老の日) |
| 26 | 常設展 | 常設展無料日アンケート | 21/11/3(文化の日) |
| 27 | 常設展 | 常設展アンケート | 通年 |
| 28 | 展示解説 | やさしい展示解説会 | 通年 |

(3) 出版事業

平成21年度は次の出版物を刊行した。

(ア) 企画展図録

福島県立博物館平成21年度企画展「岡本太郎の博物館・はじめる視点～博物館から覚醒するアーティストたち～」展示図録
1,000冊

(イ) 紀要

福島県立博物館紀要 第24号 600冊

(ウ) 年報

福島県立博物館年報 第23号 400冊



「岡本太郎の博物館」展示図録

7. 博物館友の会活動への支援

(1) 友の会活動への支援

当館は、福島県立博物館友の会の活動を支援するため、共催事業などの実施、行事に対する講師の派遣、サークル活動への協力、各会員に対して博物館だよりの送付、展示観覧への便宜、資料や文献の閲覧等研究活動の支援などを行っている。

(2) 友の会の活動状況

ア) 友の会の概要

1. 発 足 平成元年3月10日

2. 設立の目的

博物館活動に協力するとともに、会員が「福島県の歴史と文化・自然」についての研修を深め、会員相互の親睦をはかり、あわせて博物館活動の普及発展に寄与することを目的とする。

3. 総会の開催 平成22年3月4日

4. 平成21年度会員数

個人会員：289名 家族会員：163家族

高校生会員：24名

賛助会員：6（個人2・法人4）

イ) 平成21年度事業概要

1. 研修旅行の実施

①春の研修旅行（古都金沢散策と金沢21世紀美術館・歴史博物館・七尾美術館をめぐる旅）

研修先 兼六園、金沢21世紀美術館、石川県立歴史博物館、石川県七尾美術館など

期 日 平成21年5月19日～20日

参加者 35名

歴史博物館・七尾美術館では企画展担当学芸員の解説を聞きながら観覧した。



友の会春の研修旅行（金沢21世紀美術館にて）

②秋の研修旅行（愛と義の人 直江兼続ゆかりの地を訪ねる旅）

研修先 米沢市上杉博物館、直江石堤、堂森善光寺、東源寺、法泉寺、春日山林泉寺など

期 日 平成21年10月25日

参加者 33名

当館より高橋充学芸員が同行し各見学場所で歴史背景の解説を行った。また、上杉博物館では、企画展担当学芸員による展示解説があった。堂森善光寺では前田慶次の会副会長縮氏より堂森地区内の慶次ゆかりの場所を案内して頂いた。

2. 会報の発行

年4回（季刊）、会報を発行し会員に配布した。



友の会会報第84号

3. 博物館事業への協力

①博物館展示観覧

平成21年度友の会会員入館者数 常設展1214件 企画展182件（今年度は企画展は1回のみ開催）

②博物館講座への協力

博物館自然史講座「化石をさがそう（会

津若松市大戸町黒森地区)」に、友の会サークルである「友の会化石・鉱物探検隊」が参加・協力した。

③福島県立博物館友の会ミュージアムショップの開設

企画展と特集展の会期に合わせて、年3期ショップを開設した。友の会役員並びにボランティアの方々により運営がなされた。



友の会ミュージアムショップ

導と安全確保を行った。

平成22年2月に化石と鉱物の研修会を行った。2月19日の植物化石の研修会では、福島県立恐竜博物館の矢部淳氏に、植物化石の見方を教わり、会員が採集した化石を同定してもらった。3月14日には総会と研修会を行い、記念講演として、会津化石研究グループの小林昭二氏に、アイヅタカサトカイギュウの研究の成果を話してもらった。



化石・鉱物探検隊「植物化石の研修会」

4. 会議

①役員会 平成21年4月11日、9月5日、平成22年2月27日

②第22回総会 平成22年3月4日(木)

(ウ) サークル活動

1. 化石・鉱物探検隊

化石や鉱物に興味をもつ研究サークルで、自然史に関する研鑽と会員相互の親睦を深めることを目的とし、平成11年に設立された。会員数35名。野外での巡検や化石・鉱物の採集、研修会等の活動を行っており、博物館の行事にも随時協力している。

平成21年度は、春から秋にかけて県内および会津と中通りの化石・鉱物産地を計7回訪れ地層観察と採集活動を行った。さらに、10月10日の博物館自然史講座「化石をさがそう」に協力し、講座参加者に対する採集指



化石・鉱物探検隊 雲水峰鉱山採集調査



化石・鉱物探検隊「小林昭二氏による講演」

2. 古文書愛好会

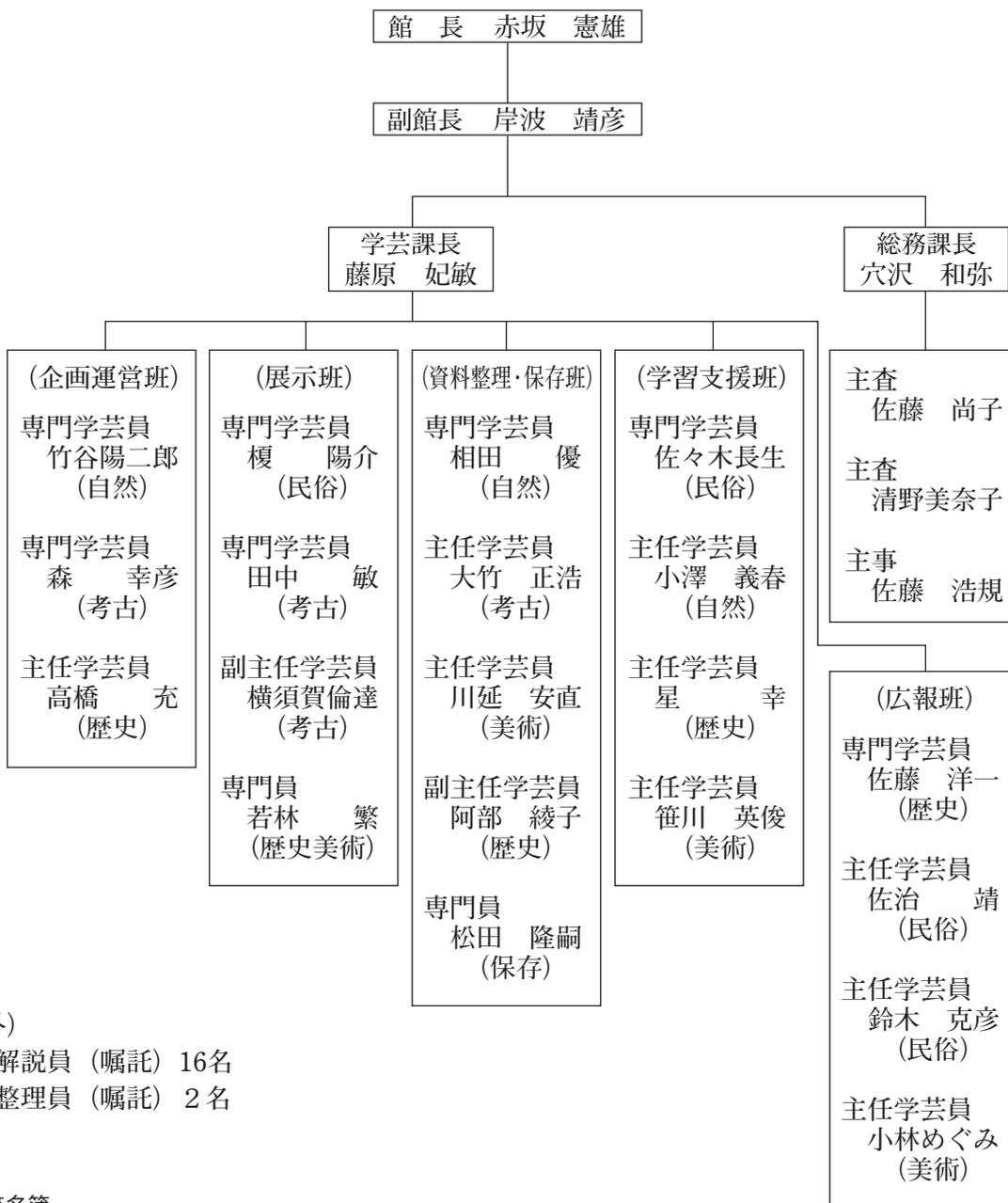
平成14年度に発足した古文書愛好会は、随時20～30名が参加し、活動を続けてきた。メンバーはそれぞれ5つの班に分かれ、チームを組んで古文書の解読・考察にあたっている。平成21年度は月1回・第2土曜日の午前中に開催し、班ごとに順番に発表を行い、毎回最後に全員で文字・内容の検討を行った。テキストには当初から県指定文化財の築田家文書（福島県立博物館寄託）を用いている。築田家は江戸時代には一貫して若松城下の検断（町役人）をつとめた家で、その文書は城下の諸相を伝える良質な資料であるため、解読を通して少しずつ会津藩の歴史についての知見を深めている。

Ⅲ 管理運営

1. 組織・職員

福島県立博物館の組織

(平成21年4月1日現在)



(定数外)

- ・展示解説員 (嘱託) 16名
- ・資料整理員 (嘱託) 2名

嘱託員等名簿

| 職名 | 氏名 | 職名 | 氏名 |
|--------|--------|-------|-------|
| 展示解説員 | 赤羽 愛 | 展示解説員 | 佐藤 彩美 |
| | 渡邊 麻衣子 | | 篠原 詩子 |
| | 五十嵐 早苗 | | 増井 文夏 |
| | 大坪 千絵美 | | 平川 貴子 |
| | 山田 久美子 | | 齋藤 史子 |
| | 芳賀 真美 | | 後藤 詩織 |
| | 渡邊 芙美 | | 及川 幸 |
| | 一条 稚子 | | 竹内 咲 |
| 伊関 めぐみ | 資料整理員 | 長澤 宏子 | |

2. 予 算

平成21年度は、下表のとおり予算を執行した。

予算執行状況

歳 入

(単位：千円)

| 科 目 (款・項・目・節) | | | 金 額 |
|---------------|-------------|-------------|-------|
| 使用料及び手数料 | | | 6,904 |
| | 使 用 料 | | 6,904 |
| | | 行政財産使用料 | 459 |
| | | 建 物 使 用 料 | 459 |
| | | 教 育 使 用 料 | 6,445 |
| | | 博 物 館 使 用 料 | 6,445 |
| 財 産 収 入 | | | 1,583 |
| | 財 産 売 払 収 入 | | 1,583 |
| | | 物 品 売 払 収 入 | 1,583 |
| | | その他物品売払代金 | 1,583 |
| 諸 収 入 | | | 825 |
| | 雑 入 | | 825 |
| | | 雑 入 | 825 |
| | | 雑 入 | 825 |
| | | 雑 入 | 825 |
| | 合 計 | | 9,312 |

歳 出

(単位：千円)

| 科 目 (款・項・目・節) | | | 金 額 |
|---------------|-----------|---------------|---------|
| 労 働 費 | | | 8,718 |
| | 雇 用 対 策 費 | | 8,718 |
| | | 緊急雇用対策費 | 8,718 |
| | | 共 済 費 | 211 |
| | | 賃 金 | 1,661 |
| | | 委 託 料 | 6,846 |
| 農 林 水 産 業 費 | | | 1,919 |
| | 林 業 費 | | 1,919 |
| | | 森 林 整 備 費 | 1,919 |
| | | 工 事 請 負 費 | 1,919 |
| 教 育 費 | | | 181,209 |
| | 教 育 総 務 費 | | 4,783 |
| | | 事 務 局 費 | 3,048 |
| | | 報 酬 | 2,400 |
| | | 職 員 手 当 | 625 |
| | | 共 済 費 | 23 |
| | | 財 務 管 理 費 | 1,735 |
| | | 交 際 費 | 13 |
| | | 使用料及び賃借料 | 0 |
| | | 工 事 請 負 費 | 1,722 |
| | 社 会 教 育 費 | | 176,426 |
| | | 社 会 教 育 総 務 費 | 60 |
| | | 需 用 費 | 60 |
| | | 博 物 館 費 | 176,366 |
| | | 報 酬 | 30,272 |
| | | 共 済 費 | 4,173 |
| | | 報 償 費 | 1,390 |
| | | 旅 費 | 2,838 |
| | | 需 用 費 | 57,200 |
| | | 需用費（食糧費） | 19 |
| | | 役 務 費 | 4,576 |
| | | 委 託 料 | 46,020 |
| | | 使用料及び賃借料 | 923 |
| | | 工 事 請 負 費 | 23,705 |
| | | 備 品 購 入 費 | 5,155 |
| | | 負担金、補助及び交付金 | 61 |
| | | 公 課 費 | 34 |
| | 合 計 | | 191,846 |

3. 委員会の開催

(1) 運営協議会

(ア) 運営協議会委員

博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関であり、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験のある者のうちから10名に委嘱している。また、平成13年1月からは、委員の選考に一部公募方式を導入した。

(イ) 会議

第1回 平成21年7月17日(金)

議題

- ①会長及び副会長の選出について
- ②平成21年度事業計画について
- ③その他

第2回 平成22年2月5日(金)

議題

- ①平成21年度事業の実施概要について
- ②平成22年度事業計画について
- ③福島県立博物館の中期目標について
- ④その他

運営協議会委員名簿

| 区分 | 氏名 | 役職名 |
|-------|--------------|-------------------------|
| 学校教育 | 古川 満里子 | 福島市立蓬莱東小学校長 |
| | 両國 茂 | 福島市立清水中学校長 |
| | 渡部 裕一 | 県立会津高等学校長 |
| 社会教育 | 会長 富田 孝志 | (助)福島県文化振興事業団 理事長 |
| | 有田 實 | 喜多方市中央公民館長 |
| 学識経験者 | 副会長 佐藤 弘子 | 会津大学コンピュータ理 工学部非常勤講師 |
| | 伊藤 豊松 | 喜多方市文化財保護審議 会長 |
| | 井上 禮子 | 会津若松市教育委員会委員 |
| | 渡辺 紀子 | 公募委員 |
| | 新国 勇 | 公募委員 |

IV 利用状況

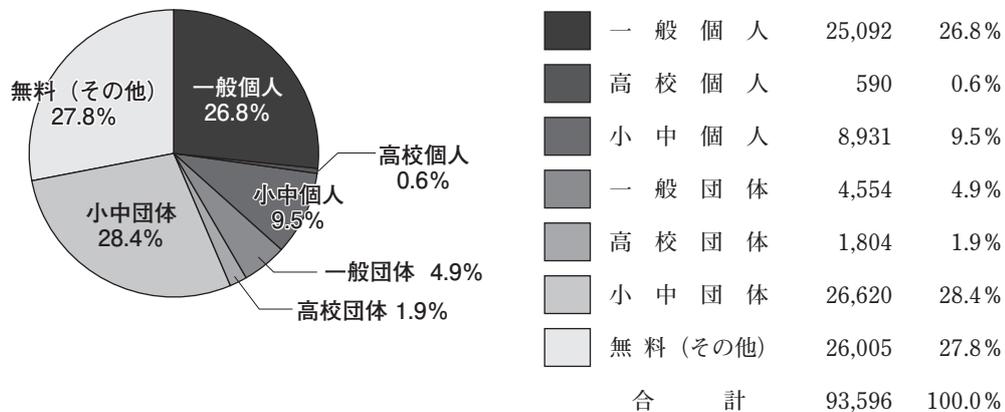
1. 入館者統計

(1) 平成21年度入館者統計

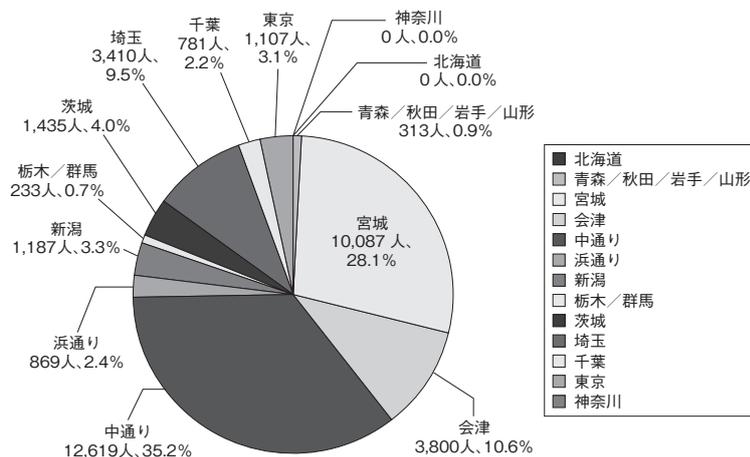
月別区分別入館者数

| 月別 | 常設展 | | | | 企画展 | | | 合計 | | 構成比 |
|----|-----|--------|-------------|-----------|-----|-------|-----|-----|--------|--------|
| | 日数 | 有料 | 無料 | | 日数 | 有料 | 無料 | 日数 | 人数 | |
| | | 人数 | 小中高校生 人数 | その他 人数 | | 人数 | 人数 | | | |
| 4 | 26 | 2,863 | 3,955 | 1,159 | | | | 26 | 7,977 | 8.5% |
| 5 | 28 | 5,215 | 6,663 | 1,182 | | | | 28 | 13,060 | 13.9% |
| 6 | 24 | 2,061 | 9,170 | 681 | | | | 24 | 11,912 | 12.7% |
| 7 | 27 | 2,262 | 3,876 | 1,218 | | | | 27 | 7,356 | 7.9% |
| 8 | 26 | 3,967 | 2,307 | 8,006 | | | | 26 | 14,280 | 15.3% |
| 9 | 26 | 3,369 | 6,002 | 7,493 | | | | 26 | 16,864 | 18.0% |
| 10 | 27 | 2,613 | 3,752 | 1,751 | 19 | 889 | 206 | 27 | 9,211 | 9.8% |
| 11 | 26 | 2,004 | 1,456 | 2,167 | 4 | 1,120 | 14 | 26 | 6,761 | 7.2% |
| 12 | 23 | 629 | 164 | 590 | | | | 23 | 1,383 | 1.5% |
| 1 | 24 | 581 | 129 | 417 | | | | 24 | 1,127 | 1.2% |
| 2 | 23 | 1,112 | 136 | 567 | | | | 23 | 1,815 | 1.9% |
| 3 | 26 | 1,065 | 231 | 554 | | | | 26 | 1,850 | 2.0% |
| 合計 | 306 | 27,741 | 37,841 | 25,785 | 23 | 2,009 | 220 | 306 | 93,596 | 100.0% |

平成21年度入館者内訳



地域別学校団体入館申込者数



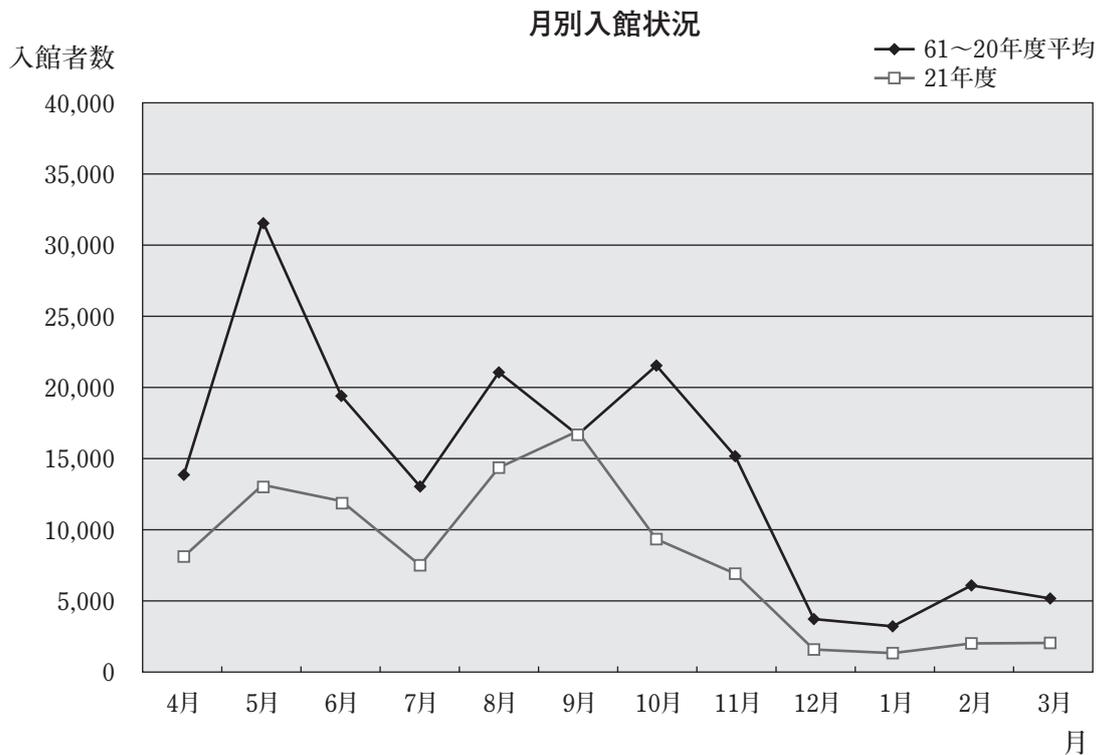
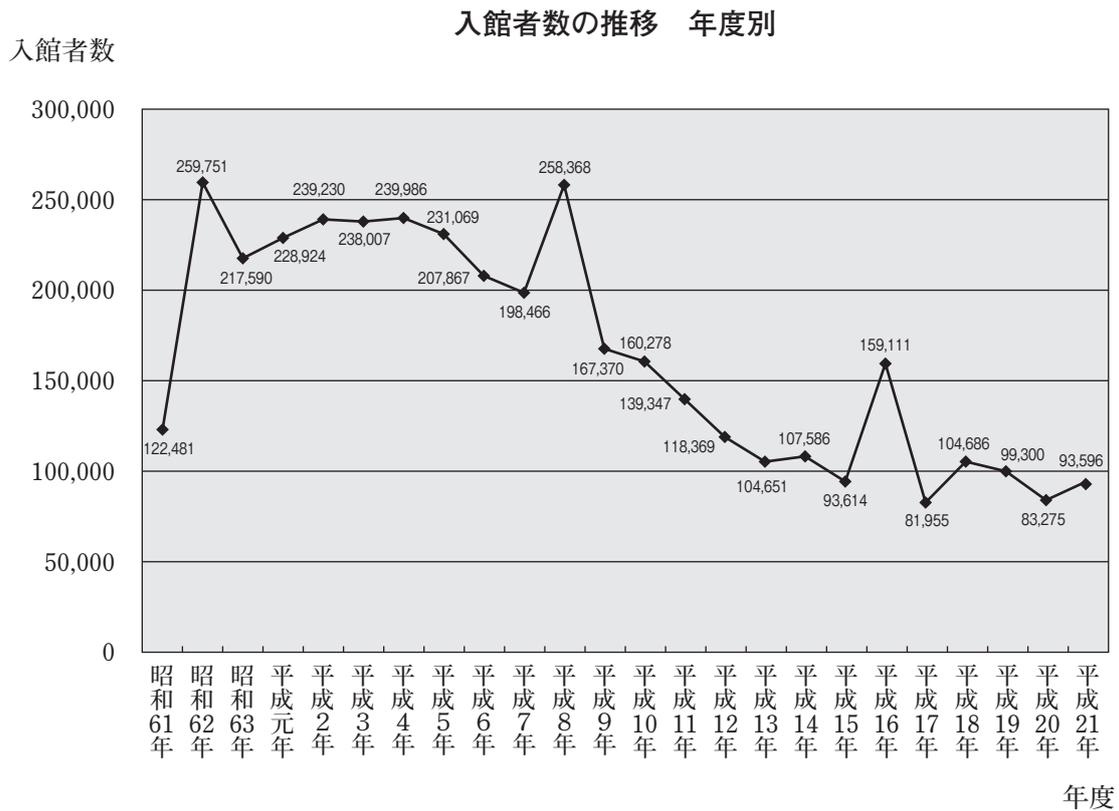
入館者の推移（年度別・月別）

（単位：人）

(2) 入館者の推移（年度別・月別）

| 区分 | 61年 | 62年 | 63年 | 元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 4月 | | 25,919 | 20,561 | 25,699 | 22,750 | 22,851 | 16,637 | 17,975 | 15,320 | 16,571 | 12,433 | 13,521 |
| 5月 | | 48,367 | 35,853 | 52,872 | 50,265 | 52,723 | 56,983 | 50,452 | 38,693 | 42,832 | 40,138 | 39,844 |
| 6月 | | 17,831 | 14,823 | 20,356 | 19,043 | 23,592 | 23,841 | 29,319 | 20,737 | 28,622 | 18,185 | 22,279 |
| 7月 | | 23,356 | 22,651 | 18,456 | 24,050 | 20,340 | 22,800 | 21,138 | 12,328 | 15,340 | 9,725 | 8,036 |
| 8月 | | 40,749 | 32,396 | 31,127 | 34,218 | 33,257 | 37,431 | 28,490 | 25,837 | 23,785 | 21,495 | 15,803 |
| 9月 | | 24,259 | 20,198 | 18,248 | 17,008 | 21,882 | 20,334 | 18,285 | 16,551 | 16,428 | 15,879 | 13,082 |
| 10月 | 31,758 | 27,099 | 29,648 | 26,832 | 34,201 | 21,851 | 18,565 | 20,022 | 28,034 | 20,252 | 64,772 | 26,015 |
| 11月 | 49,868 | 27,082 | 21,234 | 16,058 | 18,482 | 15,682 | 17,592 | 15,629 | 19,857 | 15,096 | 50,811 | 10,290 |
| 12月 | 8,860 | 5,548 | 4,512 | 3,369 | 2,303 | 3,618 | 4,028 | 6,989 | 7,839 | 2,048 | 9,473 | 2,125 |
| 1月 | 6,531 | 4,010 | 4,959 | 4,048 | 3,813 | 8,675 | 5,073 | 4,993 | 4,732 | 2,701 | 3,141 | 2,111 |
| 2月 | 13,614 | 7,653 | 6,350 | 6,986 | 5,982 | 7,006 | 9,096 | 9,137 | 9,197 | 7,631 | 6,700 | 7,578 |
| 3月 | 11,850 | 7,878 | 4,405 | 4,873 | 7,115 | 6,530 | 7,606 | 8,640 | 8,742 | 7,160 | 5,616 | 6,686 |
| 合計 | 122,481 | 259,751 | 217,590 | 228,924 | 239,230 | 238,007 | 239,986 | 231,069 | 207,867 | 198,466 | 258,368 | 167,370 |
| 日数 | 133 | 297 | 296 | 299 | 299 | 298 | 297 | 293 | 296 | 298 | 294 | 295 |
| 日平均 | 921 | 875 | 735 | 766 | 800 | 799 | 808 | 789 | 702 | 666 | 879 | 567 |
| 月平均 | 20,414 | 21,646 | 18,133 | 19,077 | 19,936 | 19,834 | 19,999 | 19,256 | 17,322 | 16,539 | 21,531 | 13,948 |
| 累計 | 122,481 | 382,232 | 599,822 | 828,746 | 1,067,976 | 1,305,983 | 1,545,969 | 1,777,038 | 1,984,905 | 2,183,371 | 2,441,739 | 2,609,109 |
| 区分 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 | 18年 | 19年 | 20年 | 21年 |
| 4月 | 14,922 | 13,456 | 10,539 | 8,473 | 8,028 | 4,899 | 8,770 | 8,440 | 7,019 | 7,419 | 6,521 | 7,977 |
| 5月 | 34,430 | 30,999 | 21,341 | 20,267 | 19,242 | 13,884 | 19,287 | 14,548 | 11,381 | 12,271 | 10,730 | 13,060 |
| 6月 | 24,933 | 23,659 | 18,775 | 16,475 | 17,211 | 12,884 | 16,768 | 12,008 | 14,151 | 25,016 | 13,011 | 11,912 |
| 7月 | 9,541 | 9,051 | 7,127 | 5,682 | 4,706 | 8,732 | 20,318 | 7,507 | 5,246 | 6,808 | 7,401 | 7,356 |
| 8月 | 16,208 | 13,607 | 13,184 | 8,451 | 14,702 | 10,630 | 34,732 | 7,157 | 10,548 | 7,148 | 8,582 | 14,280 |
| 9月 | 13,794 | 12,175 | 12,794 | 13,423 | 19,901 | 12,525 | 35,813 | 8,787 | 13,405 | 10,084 | 10,326 | 16,864 |
| 10月 | 18,431 | 15,696 | 15,609 | 12,192 | 10,688 | 13,000 | 11,227 | 11,972 | 25,464 | 12,495 | 11,388 | 9,211 |
| 11月 | 9,061 | 7,937 | 8,120 | 5,825 | 5,265 | 7,693 | 5,440 | 4,374 | 9,029 | 8,261 | 6,798 | 6,761 |
| 12月 | 2,395 | 1,582 | 1,801 | 5,797 | 1,078 | 1,665 | 2,192 | 926 | 1,989 | 1,938 | 1,558 | 1,383 |
| 1月 | 3,218 | 2,714 | 829 | 1,412 | 1,196 | 1,235 | 855 | 1,159 | 1,468 | 1,627 | 1,037 | 1,127 |
| 2月 | 9,770 | 4,795 | 5,353 | 3,836 | 3,183 | 3,733 | 2,019 | 2,815 | 2,928 | 2,943 | 2,193 | 1,815 |
| 3月 | 3,575 | 3,676 | 2,897 | 2,818 | 2,386 | 2,734 | 1,690 | 2,262 | 2,058 | 3,290 | 3,730 | 1,850 |
| 合計 | 160,278 | 139,347 | 118,369 | 104,651 | 107,586 | 93,614 | 159,111 | 81,955 | 104,686 | 99,300 | 83,275 | 93,596 |
| 日数 | 295 | 294 | 301 | 303 | 306 | 302 | 302 | 305 | 310 | 306 | 306 | 306 |
| 日平均 | 474 | 393 | 393 | 345 | 352 | 310 | 527 | 269 | 338 | 325 | 272 | 306 |
| 月平均 | 13,357 | 11,612 | 9,864 | 8,721 | 8,966 | 7,801 | 13,259 | 6,830 | 8,724 | 8,275 | 6,940 | 7,800 |
| 累計 | 2,769,387 | 2,908,734 | 3,027,103 | 3,131,754 | 3,239,340 | 3,332,954 | 3,492,065 | 3,574,020 | 3,678,706 | 3,778,006 | 3,861,281 | 3,954,877 |

入館者数の推移グラフ（年度別・月別）



(3) 企画展入館者統計

企画展入館者数

| 年度 | 企画展名 | 期間 | 日数 | 一般 | 高校 | 小中 | 合計 |
|----|--------------|-------------------|-----|---------|--------|--------|---------|
| 61 | 武家の文化 | 61.10.18~61.11.16 | 27日 | 18,806人 | 1,967人 | 4,474人 | 25,247人 |
| | 福島のみまつり | 62.1.17~62.3.1 | 37 | 6,302 | 456 | 755 | 7,513 |
| | 計 | | 64 | 25,108 | 2,423 | 5,229 | 32,760 |
| 62 | 福島の顔 | 62.4.18~62.6.14 | 48 | 13,008 | 510 | 7,077 | 20,595 |
| | 植物化石展 | 62.7.18~62.9.15 | 51 | 14,116 | 1,267 | 7,149 | 22,532 |
| | 会津の仏像 | 62.10.17~62.12.13 | 49 | 14,670 | 440 | 904 | 16,014 |
| | 陸奥の古瓦 | 63.1.23~63.3.21 | 50 | 4,069 | 151 | 291 | 4,511 |
| | 計 | | 198 | 45,863 | 2,368 | 15,421 | 63,652 |
| 63 | 境の神・風の神 | 63.4.16~63.6.12 | 49 | 9,804 | 1,046 | 5,668 | 16,518 |
| | 江戸時代の流通路 | 63.7.16~63.9.11 | 50 | 16,240 | 1,502 | 5,729 | 23,471 |
| | 東国の埴輪 | 63.10.8~63.12.11 | 54 | 15,585 | 1,472 | 4,702 | 21,759 |
| | 鉱物の世界 | 元.1.21~元.3.19 | 49 | 4,160 | 470 | 2,653 | 7,283 |
| | 計 | | 202 | 45,789 | 4,490 | 18,752 | 69,031 |
| 元 | 縄文の四季 | 元.4.18~元.6.11 | 48 | 13,246 | 2,293 | 27,743 | 43,282 |
| | まちの成立とにぎわい | 元.7.4~元.9.3 | 54 | 16,611 | 1,151 | 8,120 | 25,882 |
| | 中通りの仏像 | 元.9.22~元.11.26 | 55 | 15,356 | 1,895 | 6,486 | 23,737 |
| | 東北の陶磁史 | 2.1.20~2.3.18 | 50 | 5,058 | 151 | 1,532 | 6,741 |
| | 計 | | 207 | 50,271 | 5,490 | 43,881 | 99,642 |
| 2 | 亜欧堂田善とその系譜 | 2.4.21~2.6.10 | 44 | 12,274 | 2,507 | 22,522 | 37,303 |
| | 太古の生きものたち | 2.7.6~2.9.2 | 51 | 17,519 | 1,407 | 10,681 | 29,607 |
| | 秀吉・氏郷・政宗 | 2.9.22~2.11.25 | 55 | 18,273 | 2,481 | 8,516 | 29,270 |
| | 日本の音色 | 3.1.19~3.3.21 | 53 | 5,567 | 149 | 1,731 | 7,447 |
| | 計 | | 203 | 53,633 | 6,544 | 43,450 | 103,627 |
| 3 | シルクロード紀行 | 3.4.16~3.6.9 | 48 | 13,878 | 3,319 | 27,384 | 44,581 |
| | 縄文絵巻 | 3.7.20~3.9.23 | 57 | 21,276 | 1,734 | 10,548 | 33,558 |
| | 浜通りの仏像 | 3.10.10~3.12.8 | 51 | 12,293 | 1,030 | 3,528 | 16,851 |
| | ふくしま鉱山のあゆみ | 4.1.18~4.3.15 | 49 | 7,626 | 138 | 2,043 | 9,807 |
| | 計 | | 205 | 55,073 | 6,221 | 43,503 | 104,797 |
| 4 | マンガ文化の源流 | 4.4.18~4.6.4 | 49 | 12,151 | 2,192 | 27,981 | 42,324 |
| | 恐竜のあるいた道 | 4.7.18~4.9.23 | 57 | 22,049 | 1,459 | 11,772 | 35,280 |
| | 定信と文晁 | 4.10.17~4.12.6 | 43 | 10,333 | 1,083 | 2,549 | 13,965 |
| | 発掘ふくしま | 5.1.16~5.3.21 | 55 | 7,004 | 338 | 1,831 | 9,173 |
| | 計 | | 204 | 51,537 | 5,072 | 44,133 | 100,742 |
| 5 | 明治はじめて物語 | 5.4.17~5.6.13 | 48 | 12,810 | 1,542 | 28,085 | 42,437 |
| | 稲とくらし | 5.7.17~5.9.23 | 58 | 19,467 | 1,195 | 8,349 | 29,011 |
| | 東北からの弥生文化 | 5.10.16~5.12.5 | 42 | 12,436 | 936 | 3,178 | 16,550 |
| | 会津の自然史 | 6.1.22~6.3.21 | 51 | 6,928 | 418 | 2,350 | 9,696 |
| | 計 | | 199 | 51,641 | 4,091 | 41,962 | 97,694 |
| 6 | 玉堂と春琴・秋琴 | 6.4.23~6.6.5 | 37 | 8,816 | 346 | 16,330 | 25,492 |
| | げんき・病・元気 | 6.7.23~6.9.18 | 49 | 14,075 | 1,027 | 6,232 | 21,334 |
| | 会津大塚山古墳の時代 | 6.10.8~6.12.4 | 48 | 18,285 | 751 | 7,095 | 26,131 |
| | 村芝居の世界 | 7.1.21~7.3.26 | 55 | 7,676 | 268 | 2,445 | 10,389 |
| | 計 | | 189 | 48,852 | 2,392 | 32,102 | 83,346 |
| 7 | 探検員化石ワールド | 7.4.22~7.6.11 | 44 | 9,187 | 1,608 | 26,208 | 37,003 |
| | 海のまくあけ | 7.7.22~7.9.17 | 50 | 14,101 | 1,003 | 5,889 | 20,993 |
| | 福島1000年時のかたち | 7.10.7~7.11.26 | 43 | 9,379 | 1,342 | 3,417 | 14,138 |
| | いにしえの木匠 | 8.1.20~8.3.24 | 55 | 5,760 | 74 | 1,907 | 7,741 |
| | 計 | | 192 | 38,427 | 4,027 | 37,421 | 79,875 |
| 8 | 福島の山岳信仰 | 8.4.20~8.6.9 | 44 | 8,931 | 976 | 12,432 | 22,339 |
| | 地震・火山・津波 | 8.7.20~7.9.16 | 51 | 11,671 | 443 | 6,176 | 18,290 |
| | 秀吉と桃山文化 | 8.10.5~8.11.24 | 43 | 45,643 | 1,583 | 8,929 | 56,155 |
| | 近代子どもの世界 | 9.1.18~9.3.23 | 54 | 3,733 | 130 | 2,427 | 6,290 |
| | 計 | | 192 | 69,978 | 3,132 | 29,964 | 103,074 |

| 年度 | 企画展名 | 期間 | 日数 | 一般 | 高校 | 小中 | 合計 |
|----|---------------|-----------------------|-----|--------|-------|--------|--------|
| 9 | 縄文たんけん | 9. 4. 19~9. 6. 8 | 43 | 5,282 | 1,164 | 23,052 | 29,498 |
| | 日本の魚学・水産学事始め | 9. 7. 19~9. 9. 15 | 51 | 6,396 | 396 | 4,082 | 10,874 |
| | 染める | 9. 10. 10~9. 12. 7 | 51 | 6,165 | 118 | 7,372 | 13,655 |
| | 遠澤と探幽 | 10. 1. 24~10. 3. 15 | 43 | 5,854 | 433 | 775 | 7,062 |
| | 計 | | 188 | 23,697 | 2,111 | 35,281 | 61,089 |
| 10 | 戦国の城 | 10. 4. 18~10. 6. 14 | 49 | 8,731 | 600 | 19,452 | 28,783 |
| | 発掘ふくしま2 | 10. 7. 18~10. 9. 13 | 50 | 7,930 | 484 | 5,954 | 14,368 |
| | 天の絹絲 | 10. 10. 10~10. 12. 13 | 55 | 6,521 | 133 | 3,009 | 9,663 |
| | 日本の美 | 11. 1. 26~11. 2. 21 | 23 | 5,055 | 101 | 567 | 5,723 |
| | 計 | | 177 | 28,237 | 1,318 | 28,982 | 58,537 |
| 11 | 氷河時代 | 11. 4. 17~11. 6. 13 | 49 | 6,351 | 680 | 20,052 | 27,083 |
| | 新弥生紀行 | 11. 7. 17~11. 9. 15 | 43 | 6,128 | 409 | 3,438 | 9,975 |
| | 生の中の死 | 11. 10. 9~11. 12. 12 | 54 | 5,826 | 225 | 2,103 | 8,154 |
| | 豊かなる世界へ | 12. 1. 22~12. 3. 20 | 51 | 3,426 | 103 | 448 | 3,977 |
| | 計 | | 197 | 21,731 | 1,417 | 26,041 | 49,189 |
| 12 | 集古十種 | 12. 4. 22~12. 6. 11 | 44 | 4,843 | 81 | 7,960 | 12,884 |
| | 海獣パレオパラドキシア | 12. 7. 15~12. 9. 10 | 49 | 6,013 | 363 | 4,074 | 10,450 |
| | 英雄たちの系譜 | 12. 10. 7~12. 12. 10 | 55 | 5,838 | 139 | 3,326 | 9,303 |
| | 安積良斎と門人たち | 13. 1. 20~13. 3. 20 | 51 | 2,963 | 73 | 115 | 3,151 |
| | 計 | | 199 | 19,657 | 656 | 15,475 | 35,788 |
| 13 | 食と考古学 | 13. 4. 21~13. 6. 10 | 44 | 3,330 | 281 | 8,964 | 12,575 |
| | 肖像に見る福島を築いた人々 | 13. 7. 7~13. 8. 26 | 44 | 3,630 | 118 | 1,148 | 4,896 |
| | 武者たちが通る | 13. 9. 22~13. 11. 11 | 44 | 4,437 | 385 | 2,675 | 7,497 |
| | 計 | | 132 | 11,397 | 784 | 12,787 | 24,968 |
| 14 | 化石芸術 | 14. 4. 27~14. 6. 30 | 56 | 3,921 | 552 | 6,928 | 11,401 |
| | 雪村展 | 14. 8. 10~14. 9. 23 | 39 | 11,362 | 169 | 1,149 | 12,680 |
| | 計 | | 95 | 15,283 | 721 | 8,077 | 24,081 |

| 年度 | 企画展名 | 期間 | 日数 | 一般 | 高校 | 小中 | 無料 | 合計 |
|----|----------------|-----------------------|-----|--------|-------|--------|-------|--------|
| 15 | 発掘された日本列島2003 | 15. 7. 15~15. 8. 13 | 26 | 2,473 | 386 | 647 | 1,424 | 4,930 |
| | 発掘ふくしま3 | 15. 8. 20~15. 9. 23 | 30 | 1,833 | 40 | 479 | 432 | 2,784 |
| | 《笑い》の想像力 | 15. 10. 11~15. 12. 7 | 50 | 3,190 | 47 | 456 | 769 | 4,462 |
| | 計 | | 106 | 7,496 | 473 | 1,582 | 2,625 | 12,176 |
| 16 | 戊辰戦争といま | 16. 4. 17~16. 6. 13 | 49 | 6,451 | 190 | 3,191 | 1,048 | 10,880 |
| | アートオブスター・ウォーズ展 | 16. 7. 3~16. 9. 26 | 75 | 46,019 | 5,631 | 11,234 | 1,552 | 64,436 |
| | ふくしまの工芸 | 16. 10. 23~16. 12. 5 | 36 | 2,524 | 65 | 182 | 626 | 3,397 |
| | 計 | | 160 | 54,994 | 5,886 | 14,607 | 3,226 | 78,713 |
| 17 | 老い | 17. 4. 23~17. 6. 5 | 39 | 1,732 | 80 | 414 | 814 | 3,040 |
| | 婚礼 | 17. 9. 23~17. 11. 6 | 39 | 2,480 | 45 | 233 | 1,020 | 3,778 |
| | 計 | | 78 | 4,212 | 125 | 647 | 1,834 | 6,818 |
| 18 | 馬と人との年代記 | 18. 4. 22~18. 6. 11 | 45 | 1,679 | 24 | 801 | 615 | 3,119 |
| | 布の声をきく | 18. 7. 22~18. 9. 3 | 40 | 2,137 | 53 | 284 | 464 | 2,938 |
| | 徳川将軍家と会津松平家 | 18. 9. 30~18. 11. 5 | 36 | 14,879 | 126 | 1,918 | 2,560 | 19,483 |
| | 計 | | 121 | 18,695 | 203 | 3,003 | 3,639 | 25,540 |
| 19 | 樹と竹 | 19. 7. 21~19. 9. 17 | 52 | 1,987 | 44 | 429 | 619 | 3,079 |
| | わくわく!化石大集合 | 19. 10. 6~19. 11. 25 | 44 | 2,611 | 21 | 1,593 | 2,233 | 6,458 |
| | 計 | | 96 | 4,598 | 65 | 2,022 | 2,852 | 9,537 |
| 20 | 宝の山2008 | 20. 7. 19~20. 9. 23 | 58 | 3,943 | 66 | 1,131 | 1,070 | 6,210 |
| | 遠藤香山 | 20. 10. 11~20. 11. 24 | 41 | 1,619 | 131 | 106 | 973 | 2,829 |
| | 計 | | 99 | 5,562 | 197 | 1,237 | 2,043 | 9,039 |
| 21 | 岡本太郎の博物館 | 21. 10. 10~21. 11. 23 | 40 | 1,905 | 9 | 95 | 1,371 | 3,380 |
| | 計 | | 40 | 1,905 | 9 | 95 | 1,371 | 3,380 |

※平成16年度のアート オブ スター・ウォーズ展については高校生の区分は中学生・高校生、小・中学生の区分は小学生と読替え

2. 出版物販売

平成21年度出版物売上表

| | 単価 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 金額 |
|--------------|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|--------|
| 常設展示図録 | 1,100 | 7 | 9 | 2 | 7 | 10 | 10 | 9 | 9 | 3 | 3 | 4 | 4 | 77 | 84,700 |
| 武家の文化 | 600 | | | | | | | 2 | | 1 | | | | 3 | 1,800 |
| 福島のまつり | 400 | 4 | | | | | | | | | | | | 4 | 1,600 |
| ふくしまの顔 | 500 | | | | 1 | | | | 1 | | | | | 2 | 1,000 |
| 陸奥の古瓦 | 400 | 1 | 4 | 2 | | 1 | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | 12 | 4,800 |
| 江戸時代の流通路 | 500 | 7 | 6 | | | 5 | 3 | 1 | 2 | 2 | 2 | | 1 | 29 | 14,500 |
| 鉱物の世界 | 400 | 11 | 4 | 1 | 1 | 2 | 3 | 1 | 3 | | 1 | 1 | | 28 | 11,200 |
| 縄文の四季 | 500 | 2 | 1 | | | | 2 | | 3 | 1 | 1 | 1 | | 11 | 5,500 |
| まちの成立とにぎわい | 500 | | 1 | 1 | 1 | | 2 | | | | | | | 5 | 2,500 |
| 亜欧堂田善とその系譜 | 1,000 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | | 10 | 10,000 |
| 太古の生きものたち | 500 | | 1 | 1 | | | | 1 | | | | | | 3 | 1,500 |
| 日本の音色 | 800 | 1 | | | | | | | | 1 | | | 1 | 3 | 2,400 |
| シルクロード紀行 | 1,000 | | | | 1 | | | | 1 | | | | | 2 | 2,000 |
| 縄文絵巻 | 800 | | 2 | 2 | 1 | | 2 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | 15 | 12,000 |
| 浜通りの仏像 | 500 | 2 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 2 | 12 | 6,000 |
| ふくしま鉱山のあゆみ | 800 | 1 | 3 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | | 1 | 1 | 13 | 10,400 |
| マンガ文化の源流 | 1,000 | | | | | 7 | | 2 | 1 | 1 | 1 | | | 12 | 12,000 |
| 恐竜のあるいた道 | 500 | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 500 |
| 定信と文晁 | 1,000 | 3 | 2 | | 1 | 1 | | 1 | | | 1 | | | 9 | 9,000 |
| 明治はじめて物語 | 500 | 6 | 1 | | 2 | 6 | 1 | | | 1 | 2 | | 1 | 20 | 10,000 |
| 稲とくらし | 800 | | 10 | | 2 | 1 | 6 | | 6 | 2 | | 1 | | 28 | 22,400 |
| 東北からの弥生文化 | 800 | | 1 | | | 1 | 1 | 2 | 2 | | | 1 | | 8 | 6,400 |
| 会津の自然史 | 800 | 2 | 1 | | 2 | 4 | | 2 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 18 | 14,400 |
| 玉堂と春琴・秋琴 | 1,100 | 1 | | 1 | | | | | | | 1 | | | 3 | 3,300 |
| げんき・病・元気 | 800 | | 1 | 1 | | 2 | 2 | | | 1 | 2 | 1 | 3 | 13 | 10,400 |
| 村芝居の世界 | 900 | | 1 | | | 1 | | | 2 | 1 | | | | 5 | 4,500 |
| 探検員化石ワールド | 800 | 5 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | | 1 | 11 | 8,800 |
| 海のまくあけ | 800 | | 1 | | | 1 | | | | 1 | | | | 3 | 2,400 |
| 福島1000年時のかたち | 900 | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 900 |
| いにしえの木の匠 | 600 | 1 | 1 | | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | | | | 2 | 13 | 7,800 |
| 福島の山岳信仰 | 800 | 3 | 1 | | | 3 | 1 | 2 | 4 | 1 | 2 | 3 | | 20 | 16,000 |
| 地震・火山・津波 | 500 | 3 | 2 | | | | | | 1 | | | | | 6 | 3,000 |
| 近代子どもの世界 | 900 | | | 1 | | | | | | | | 1 | 1 | 3 | 2,700 |
| 縄文たんけん | 900 | 1 | | | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 3 | 2 | | 1 | 15 | 13,500 |
| 日本の魚学・水産学事始め | 500 | | | | 2 | | | 1 | | | | | | 3 | 1,500 |
| 染める | 600 | 1 | 2 | | 1 | 1 | | | 3 | | 1 | | | 9 | 5,400 |
| 遠澤と探幽 | 1,300 | 2 | 1 | | 1 | | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | 8 | 10,400 |
| 戦国の城 | 800 | 4 | 42 | 3 | 4 | 5 | 6 | 4 | 4 | 2 | 1 | 2 | 2 | 79 | 63,200 |
| 天の絹糸 | 1,300 | | 2 | 2 | | 3 | 1 | | 2 | 1 | 1 | | 1 | 13 | 16,900 |

| | 単価 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 金額 |
|-------------------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-----------|
| 日本の美 | 800 | | | | | | | 1 | | | 1 | | | 2 | 1,600 |
| 氷河時代 | 700 | 1 | 1 | | 1 | | | | 2 | 5 | | | | 10 | 7,000 |
| 新弥生紀行 | 1,100 | 2 | 1 | 1 | | | | 1 | 2 | 1 | | 1 | | 9 | 9,900 |
| 生の中の死 | 900 | | 2 | 1 | 2 | 2 | | | 1 | | 2 | 1 | | 11 | 9,900 |
| 豊かなる世界へ | 600 | 1 | 1 | 2 | 1 | | | | | | | | 12 | 17 | 10,200 |
| 集古十種 | 2,100 | 1 | 2 | | 1 | 3 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | | 11 | 23,100 |
| 海獣パレオパラドキシア | 1,200 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | 4 | 4,800 |
| 英雄たちの系譜 | 1,000 | 2 | | | | | | | 1 | 1 | | | 1 | 5 | 5,000 |
| 食と考古学 | 1,000 | 1 | 2 | | 3 | 3 | 2 | 2 | 4 | 5 | | 2 | 2 | 26 | 26,000 |
| 肖像に見る福島を築いた人々 | 1,700 | 1 | | | | | | | 1 | | 1 | | | 3 | 5,100 |
| 武者たちが通る | 800 | 3 | 4 | 2 | 1 | 2 | 1 | 4 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 26 | 20,800 |
| 発掘ふくしま3 | 1,100 | 1 | | 1 | 2 | 2 | 4 | | 1 | 5 | 1 | | 3 | 20 | 22,000 |
| 笑いの想像力 | 2,000 | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 2 | | | | | 6 | 12,000 |
| 老い | 2,000 | 1 | | | | | | 1 | 1 | | | | | 3 | 6,000 |
| 婚礼 | 1,500 | | 2 | | | | | | | | | | | 2 | 3,000 |
| 馬と人との年代記 | 1,600 | 1 | | 3 | 3 | 1 | | 1 | | | | | 3 | 12 | 19,200 |
| 布の声をきく | 1,300 | 2 | | 5 | 7 | 2 | 4 | | 1 | 1 | | 1 | | 23 | 29,900 |
| 徳川将軍家と会津松平家 | 1,200 | 12 | 20 | 1 | 7 | 12 | 12 | 11 | 8 | 2 | 3 | 1 | 4 | 93 | 111,600 |
| 樹と竹 | 1,200 | | | 2 | 4 | 1 | 4 | 5 | 7 | 4 | | 2 | 2 | 31 | 37,200 |
| わくわく！化石大集合 | 800 | 6 | 2 | 1 | 10 | 5 | 1 | 2 | | 1 | | | | 28 | 22,400 |
| 古代会津 | 250 | 10 | 12 | 2 | 7 | 11 | 10 | 4 | 7 | 36 | 1 | 3 | 14 | 117 | 29,250 |
| 会津磐梯山 | 1,000 | 9 | 7 | 1 | 4 | 11 | 1 | | 3 | 2 | | 3 | | 41 | 41,000 |
| 遠藤香村 | 1,500 | 2 | 4 | 1 | | 4 | 1 | 2 | | 3 | | | 1 | 18 | 27,000 |
| 岡本太郎の博物館 | 1,000 | | | | | | | | 106 | 11 | 4 | 3 | 2 | 126 | 126,000 |
| 紀要(数量) | | 9 | 7 | 4 | 5 | 13 | 6 | 5 | 9 | 3 | 2 | 13 | 5 | 81 | |
| 紀要(金額) | | 16,200 | 9,700 | 5,500 | 8,600 | 25,100 | 10,700 | 8,300 | 13,700 | 4,400 | 3,600 | 19,500 | 7,400 | | 132,700 |
| ふくしまの仏像(仏像図説) | 1,300 | 1 | 5 | | 3 | 5 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 23 | 29,900 |
| 福島の古墳 | 1,200 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 3 | 2 | 4 | | 1 | 6 | 31 | 37,200 |
| 福島の化石 | 1,500 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | | | 1 | | 10 | 15,000 |
| 戦時下の福島 | 800 | 3 | | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 | 1 | | | 1 | | 15 | 12,000 |
| 福島の年中行事 | 1,100 | | | 1 | | 2 | | | | | | 1 | | 4 | 4,400 |
| ガイドブック | 300 | 11 | 9 | 5 | 5 | 21 | 8 | 8 | 8 | 2 | 2 | 1 | 3 | 83 | 24,900 |
| 小学校における博物館学習指導の手引 | 700 | | | 1 | | 2 | | 1 | | | | | | 4 | 2,800 |
| 常世原田遺跡 | 600 | 1 | | | | 2 | | | 1 | | | 1 | | 5 | 3,000 |
| ふくしまの農具 | 1,000 | 2 | | | 3 | 1 | 4 | 1 | 7 | 1 | | 2 | 1 | 22 | 22,000 |
| 報告書(数量) | | 12 | 18 | 7 | 12 | 16 | 14 | 2 | 8 | 9 | 4 | 5 | 8 | 115 | |
| 報告書(金額) | | 20,800 | 20,000 | 8,000 | 14,700 | 15,900 | 15,100 | 3,200 | 7,300 | 9,900 | 4,600 | 5,000 | 8,100 | | 132,600 |
| 絵葉書 | 50 | 20 | 52 | 7 | 31 | 25 | 107 | 15 | 33 | 14 | 3 | 6 | 6 | 319 | 15,950 |
| クリアホルダー | 200 | 24 | 19 | 10 | 10 | 14 | 21 | 21 | 13 | 4 | | 3 | 3 | 142 | 28,400 |
| 合計 | | 212 | 278 | 78 | 161 | 229 | 262 | 135 | 289 | 146 | 53 | 78 | 107 | 2,028 | 1,488,100 |

V 法 規

福島県立博物館条例

(昭和61年3月25日 条例第30号)

(設 置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第18条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条及び地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項の規定に基づき、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、福島県立博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(位 置)

第2条 博物館は、会津若松市城東町8番地に置く。

(業 務)

第3条 博物館において行う業務は、次のとおりとする。

- 1 歴史、考古、民俗、美術工芸、自然等に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード等の資料(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- 2 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 3 博物館資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- 4 博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行うこと。
- 5 前各号に掲げるもののほか、その設置の目的を達成するために必要な業務を行うこと。

(観覧料)

第4条 博物館の展示品(以下「展示品」という。)を観覧しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。

(観覧料の免除)

第5条 知事は、公益上の必要があると認めるときは、規則で定めるところにより、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料不返還の原則)

第6条 既納の観覧料は、返還しない。ただし、規則で定める場合は、その全部又は一部を返還することができる。

(遵守事項)

第7条 博物館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 1 博物館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、又は汚損しないこと。
- 2 物品を販売し、又は頒布しないこと(教育委員会の許可を受けた場合を除く。)
- 3 展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと(教育委員会の許可を受けた場合を除く。)
- 4 所定の場所以外において、喫煙及び飲食を行わないこと。
- 5 他の利用者に危害又は迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- 6 前各号に掲げるもののほか、管理上教育委員会が指示する事項

(入館の規制等)

第8条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、入館を拒否し、又は退館若しくは退去を命ずることができる。

- 1 前条の規定に違反した者
- 2 博物館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、又は汚損するおそれのある者
- 3 館内の秩序を乱し、又はそのおそれのある者

(職 員)

第9条 博物館に事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(委 任)

第10条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理その他この条例の施行に関して必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則(平成9年3月25日条例第52号)

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成11年12月24日条例第93号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成15年3月24日条例第53号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

別表(第4条関係)

| 区 分 | 普通観覧料の額(一人当たり) | | 特別観覧料の額 |
|--------------|----------------|------|-------------|
| | 個 人 | 団 体 | |
| 一般(大学生を含む。) | 260円 | 210円 | その都度知事が定める額 |
| 高校生及びこれに準ずる者 | 無 料 | 無 料 | その都度知事が定める額 |
| 中学生及び小学生 | 無 料 | 無 料 | その都度知事が定める額 |

備考

- 1 「普通観覧料」とあるのは、常設展の展示品のみを観覧する場合の観覧料をいい、「特別観覧料」とあるのは、企画による展示品を観覧する場合の観覧料をいう。
- 2 「団体」とあるのは、20人以上の団体をいう。

福島県立博物館運営協議会条例

(昭和61年3月25日 条例第31号)

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条第1項の規定に基づき、福島県立博物館(以下「博物館」という。)の適正な運営を図るため、福島県立博物館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(組織)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とする。

(委員の任命及び任期)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

(雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附則

この条例は、昭和61年4月1日から施行する。

福島県立博物館条例施行規則

(昭和61年3月25日 教育委員会規則第5号)

(休館日)

第1条 福島県立博物館(以下「博物館」という。)の定期の休館日は、次のとおりとする。

1 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(次号において「休日」という。)に当たるときを除く。

2 休日の翌日。ただし、その日が土曜日、日曜日又は休日当たるときを除く。

3 1月1日から同月4日まで

4 12月28日から同月31日まで

2 博物館の長(以下「館長」という。)は、必要があると認めるときは、臨時に休館し、又は臨時に開館することができる。

(開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、館長は、必要があると認めるときは、これを臨時に変更することができる。

(観覧手続)

第3条 館長は、福島県立博物館条例(昭和61年福島県条例第30号。以下「条例」という。)第4条の規定により観覧料を納入した者に対し、観覧券(様式第1号)を交付するものとする。

(観覧料の免除及びその手続)

第4条 館長は、条例第5条の規定により、次の表の上欄に掲げる場合における普通観覧料について、同表の下欄に掲げる額を免除するものとする。

| 普通観覧料を免除する場合 | 免除する額 |
|---|---|
| 1 大学生(これに準ずる者として福島県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)が別に定める者を含む。)及びその引率者並びに高校生、中学生及び小学生(これらに準ずる者として教育長が別に定める者を含む。)の引率者が、学校教育に基づく活動として観覧するとき。 | 条例別表に定める普通観覧料の額の全額 |
| 2 県、又は市町村が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき。 | 条例別表に定める普通観覧料の額の100分の50に相当する額(引率者にあつては全額) |

| | |
|--|--------------------|
| 3 国民の祝日に関する法律第2条に定めるこどもの日、敬老の日及び文化の日に観覧するとき。 | 条例別表に定める普通観覧料の額の全額 |
| 4 知事の発行する外国人留学生文化施設等無料観覧証の交付を受けている者が観覧するとき。 | 条例別表に定める普通観覧料の額の全額 |
| 5 その他免除することが公益上適当と認めるとき。 | 教育長が別に定める額 |

2 観覧料の免除を受けようとする者（前項の表の第3号又は第4号のいずれかに該当する場合に観覧料の免除を受けようとする者を除く。）は、前項の表の第1号又は第2号に該当する場合にあっては観覧しようとする日の3日前まで、第5号に該当する場合にあっては10日前までに観覧料免除申請書（様式第2号）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

3 館長は、前項の規定により観覧料の免除を承認したときは、観覧料免除承認書（様式第3号）を交付するものとする。
（観覧料の返還）

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、それぞれ当該各号に定めるところにより、観覧料の全部又は一部を返還するものとする。

- 1 観覧しようとする者の責めによらない理由により観覧することができなくなったとき。全額
 - 2 その他やむを得ない理由があると認めるとき。教育長が別に定める額
- 2 観覧料の返還を受けようとする者は、観覧料返還申請書（様式第4号）に観覧券を添えて、館長に提出しなければならない。

（博物館資料の特別利用）

第6条 博物館が所蔵し、又は寄託を受けている博物館資料を学術上の研究その他の目的のため特に利用しようとする者は、館長の承認を受けなければならない。

（教育長への委任）

第7条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理その他この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年3月25日教育委員会規則第9号）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成4年7月28日教育委員会規則第14号）

この規則は、平成4年9月1日から施行する。

附 則（平成7年3月31日教育委員会規則第15号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年3月29日教育委員会規則第16号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成8年8月20日教育委員会規則第20号）

この規則は、平成8年10月1日から施行する。

附 則（平成12年3月31日教育委員会規則第16号）

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成14年3月26日教育委員会規則第14号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成15年3月24日教育委員会規則第3号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

様式第1号（第3条関係）

| | |
|---|---|
| 観 覧 券 （観覧者の区分） （金 額） 福 島 県 立 博 物 館 | 観 覧 券 （観覧者の区分） （金 額） 福 島 県 立 博 物 館 |
|---|---|

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

様式第2号(第4条関係)

福島県立博物館長

住所又は所在地
氏名又は名称及
び代表者の氏名
申請者

年 月 日

印

観覧料免除申請書

次の理由により観覧料を免除してください。

| | | | | |
|-----------------|--------|------|--------|---------|
| 観覧目的 | | | | |
| 観覧日時 | 年 月 日 | 時 | 分から | 分まで |
| 観覧者の種別 及び人数 | 一般 | 人 | その他() | 人 |
| | 大学生 | | () | |
| | 高校生 | | | |
| | 中学生 | | 引率者 | |
| | 小学生 | | 合計 | |
| 免除申請の理由 | | | | |
| 引率者の職及び氏名 | 職 | 氏名 | | |
| 連絡先及び電話番号 | 電話 () | | | |
| 観覧料 | 免除率 | 免除金額 | 免除の根拠 | |
| ※ 円※ | | ※ 円※ | | |
| 上記のとおり承認してよろしい。 | | | | 第 年 月 日 |
| 館長 | 副館長 | 総務課長 | 主任 | |

(注) ※印の欄は、記入しないこと。

様式第3号(第4条関係)

第 号

年 月 日

様

福島県立博物館長

観覧料免除承認書

観覧料の免除について、次のとおり承認します。

| | | | | |
|----------------|-------|------|--------|-----|
| 観覧目的 | | | | |
| 観覧日時 | 年 月 日 | 時 | 分から | 分まで |
| 観覧者の種別 及び人数 | 一般 | 人 | その他() | 人 |
| | 大学生 | | () | |
| | 高校生 | | | |
| | 中学生 | | 引率者 | |
| | 小学生 | | 合計 | |
| 免除申請の理由 | | | | |
| 注意事項 | | | | |
| 観覧料 | 免除率 | 免除金額 | | |
| 円 | | 円 | | |

様式第4号(第5条関係)

福島県立博物館長

住所又は所在地
氏名又は名称及
び代表者の氏名
申請者

年 月 日

印

観覧料返還申請書

次の理由により観覧料を返還してください。

| | | | | |
|------------------|--------|------|-------|----|
| 展覧会の名称 | | | | |
| 観覧料の納入月日 | 年 | 月 | 日 | |
| 既納観覧料の 区分及び金額 | 区 | 分 | 人 | 金額 |
| | | | 人 | 円 |
| | | | | |
| | 合計 | | | |
| 返還を申請する理由 | | | | |
| 連絡先及び電話番号 | 電話 () | | | |
| 観覧料 | 返還率 | 返還金額 | 返還の根拠 | |
| ※ 円※ | | ※ 円※ | | |
| 上記のとおり返還してよろしい。 | | | | |
| 館長 | 副館長 | 総務課長 | 主任 | |
| 受付月日 | ・ | ・ | 決裁月日 | ・ |

(注) ※印の欄は、記入しないこと。

福島県立博物館組織規則

(昭和61年3月25日 教育委員会規則第6号)

(目的)

第1条 この規則は、福島県立博物館（以下「博物館」という。）の組織に関して必要な事項を定めることを目的とする。

(課)

第2条 博物館に次の課を置く。

総務課

学芸課

(事業分掌)

第3条 総務課においては、次の事務を行う。

- 1 館内事務の総合調整及び企画調査に関すること。
 - 2 公印の管理に関すること。
 - 3 人事に関すること。
 - 4 文書の收受、発送、編集及び保存に関すること。
 - 5 予算の編成、経理及び執行に関すること。
 - 6 物品の調達及び処分に関すること。
 - 7 財産の管理に関すること。
 - 8 観覧料の徴収に関すること。
 - 9 福島県立博物館運営協議会に関すること。
 - 10 前各号に掲げるもののほか、他課の所掌に属しない事務に関すること。
- 2 学芸課においては、次の事務を行う。
- 1 博物館資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
 - 2 博物館資料に関する調査及び研究に関すること。
 - 3 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
 - 4 博物館資料に関する解説書、年報、調査研究報告書等の作成に関すること。
 - 5 博物館資料に関する相談、情報提供その他博物館資料に関する教育の普及に関すること。
 - 6 国立博物館、公立博物館その他の教育機関及び関係団体との連絡提携に関すること。
 - 7 前各号に掲げるもののほか、博物館資料に関する専門的事項に関すること。

(館長)

第4条 博物館に館長を置く。

- 2 館長は、上司の命を受け、博物館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

(副館長)

第5条 博物館に副館長を置く。

- 2 副館長は、館長を補佐し、博物館の事務を整理する。

(課長)

第6条 博物館の課に課長を置く。

- 2 課長は、上司の命を受け、課の事務を処理し、所属職員を指揮監督する。

第7条 削除

(学芸員等)

第8条 博物館に主任専門学芸員、専門学芸員、主任学芸員、副主任学芸員及び学芸員を置く。

- 2 主任専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の高度な学芸事務を処理する。
- 3 専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の学芸事務を処理する。
- 4 主任学芸員は、上司の命を受け、担任の学芸事務を処理する。
- 5 副主任学芸員は、上司の命を受け、高度な学芸事務をつかさどる。
- 6 学芸員は、上司の命を受け、学芸事務をつかさどる。

(主任主査その他の職)

第9条 博物館に、第4条から前条までに規定する職のほか、必要に応じ、次の表の上欄に掲げる職を置き、その職の職務は、それぞれ同表の当該下欄に掲げるとおりとする。

| 職 | 職務 |
|------|---------------------------|
| 主任主査 | 上司の命を受け、館長が定める特定の事務を処理する。 |
| 主査 | 上司の命を受け、担任の事務を処理する。 |
| 副主査 | 上司の命を受け、高度な事務をつかさどる。 |
| 主事 | 上司の命を受け、事務をつかさどる。 |
| 専門員 | 上司の命を受け、担任の専門的業務に従事する。 |

附則

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

附則（平成6年3月15日教育委員会規則第4号）

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附則（平成13年3月27日教育委員会規則第6号）

この規則は、平成13年4月1日から施行する。
附 則（平成14年3月29日教育委員会規則第18号）
この規則は、平成14年4月1日から施行する。

福島県立博物館条例に基づく知事の権限を福島県教育委員会に委任する規則

（昭和61年3月25日 福島県規則第11号）

福島県立博物館条例（昭和61年福島県条例第30号）第5条、第6条ただし書き及び別表に規定する知事の権限は、福島県教育委員会に委任する。

附 則
この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

福島県立博物館収集展示委員会設置要綱

（設 置）

第1条 福島県立博物館に収蔵する博物館資料（以下「資料」という。）の収集並びに展示計画について審議するため、福島県立博物館収集展示委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（組織等）

第2条 委員会は12人以上の委員を持って構成する。

- 2 委員は学識経験者のうちから福島県立博物館長（以下「館長」という。）が委嘱する。
- 3 委員会に委員長及び副委員長を置く。委員長及び副委員長は委員の互選により選出する。
- 4 委員長は委員会を代表し、会務を掌握する。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

（会 議）

第3条 委員会は必要のつど館長が招集する。

- 2 委員会は資料収集の適否及び展示計画等について審議し、その結果を館長に報告する。
- 3 委員会は特に必要がある場合、委員以外の専門的分野に関する学識経験者の指導及び助言を求めることができる。

（展示計画作成委員）

第4条 委員会は展示計画原案作成のため、委員のうちから6人の展示計画作成委員（以下「展示委員」という。）を選任する。

- 2 展示委員は次の任務を遂行する。
 - (1) 展示計画原案の作成
 - (2) 展示計画作成のための基礎的資料の収集
 - (3) 展示計画作成に関する専門的指導

（任 期）

第5条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠によって選任された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（庶 務）

第6条 委員会の庶務は、福島県立博物館において処理する。

（その他）

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

附 則

この要綱は、昭和56年5月1日から施行する。

昭和61年4月1日一部改正

福島県立博物館資料所在調査要領

1) 調査の目的

福島県内に散在する考古、歴史、民俗美術工芸等の資料について、その所在及び内容を把握し、県立博物館の活動のための基礎データを得ることを目的とする。

2) 調査の実施

(1) 調査員

- イ) 調査員は、各地域の歴史に精通した研究者の中から館長が委嘱する。
- ロ) 委嘱期間は、4月1日から3月31日までの1年間とする。

(2) 調査の内容

資料の種類、形状、用途、数量、由来、時代、保存状況、所有者等について調査する。

(3) 調査の時期

4月1日から3月31日とする。

(4) 調査カードの作成・提出

調査員は、調査資料についてカードを作成し、福島県立博物館に提出する。

福島県立博物館資料調査員設置要綱

(設 置)

第1条 福島県立博物館の収集、展示、研究等に関する基礎データを得るため福島県立博物館資料調査員（以下「資料調査員」という。）を置く。

(選 任)

第2条 資料調査員は、各地域の歴史に精通した研究者の中から、福島県立博物館館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

(職 務)

第3条 資料調査員は、福島県内に散在する考古、歴史、民俗、美術工芸等の資料について、所在及び内容を調査し、その結果を館長に報告する。

(任 期)

第4条 資料調査員の任期は1年とする。

2 補欠によって選任された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(補 足)

第5条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、昭和55年4月1日から施行する。

昭和61年4月1日一部改正。

福島県立博物館友の会規約

(名 称)

第1条 本会の名称は、福島県立博物館友の会という。

(目 的)

第2条 本会は、博物館活動に協力するとともに、会員が「福島県の歴史と文化・自然」についての研修を深め、会員相互の親睦をはかり、あわせて博物館活動の普及発展に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は次の事業を行う。

- 1 広報活動
- 2 講演会・研修会等の開催
- 3 博物館に関連する事業への協力
- 4 図書等の斡旋等の事業
- 5 その他必要な事業

(会員及び会費)

第4条 会員の種類は次のとおりとし、会員には会員証を交付する。

- ① 個人会員 本会の目的に賛同し、年額2,000円を納めた個人。
- ② 家族会員 本会の目的に賛同し、年額3,000円を納めた生計を一にする家族。
- ③ 高校生会員 本会の趣旨に賛同し、年額500円を納めた高校生個人。
- ④ 賛助会員 本会の目的に賛同し、特に会の発展に協力するため、年間10,000円を納めた個人及び団体。

2 会員の期間は、入会の年4月1日から翌年の3月31日までの1年間とする。

3 会員が退会した場合であっても、既に納入した会費はこれを返還しない。

(会員の特典)

第5条 会員は次の特典を受けることができる。

- 1 博物館の展示を観覧する場合に、特別な便宜を受けることができる。
- 2 会報、博物館だより、博物館の各種催しの案内等の情報の提供を受けることができる。
- 3 会の事業に参加することができる。
- 4 会員が歴史や文化等の研究に際し、指導を受けることができる。

(役 員)

第6条 本会に次の役員を置く

| | |
|-------|-----|
| 会 長 | 1名 |
| 副 会 長 | 若干名 |
| 幹 事 | 若干名 |
| 監 事 | 2名 |

2 幹事のうち1名は、福島県立博物館学芸課長の職にある者を充てる。

(役員を選出及び任期)

第7条 役員は総会において選出し、任期は2年とする。ただし再任は妨げない。

2 補欠のため任ぜられた役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第8条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代理する。

3 幹事は、本会の会務を運営し、その実務に携わる。

4 監事は、本会の会計を監査する。

(会議)

第9条 総会は、毎年1回会長が招集し、事業計画、予算、決算、役員選任、その他重要事項をはかるものとする。

2 役員会は、必要のつど会長が招集する。

3 総会及び役員会の議長は、会長があたるものとする。

4 議事は、出席者の過半数により決する。

(顧問)

第10条 本会は、顧問をおくことができる。顧問は、役員会の承認を得て、会長が委嘱する。

(会計年度)

第11条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるを原則とする。

2 本会の経費は、会費、寄付金、事業収入等をもってあてるものとする。

(事務局)

第12条 本会の事務を処理するための事務局を、福島県立博物館内に置くものとする。

2 本会の事務局員は会長が委嘱する。

(その他)

第13条 本規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項については、会長が別に定める。

附 則

1 この規約は、平成元年4月1日から施行する。

2 この規約は、平成3年4月1日から施行する。(第6条第2項関係)。

3 この規約は、平成5年4月1日から施行する。(第4条第1項②関係)。

4 この規約は、平成7年4月1日から施行する。(第11条第1項、第12条第1項関係)。

5 この規約は、平成8年4月1日から施行する。(第4条第1項③関係)。

6 この規約は、平成11年4月1日から施行する。(第6条第1項関係)。

VI 施設の概要

1. 建築概要

| | |
|-------|---|
| 設計者 | (株)佐藤武夫設計事務所 |
| 工事監理 | 福島県会津若松建設事務所 (株)佐藤武夫設計事務所 |
| 施工者 | 建築本体工事 福島県立博物館(本体) 工事 清水建設(株)・会津土建(株)・秋山建設(株) |
| 共同企業体 | 電気設備工事 福島県立博物館建設(電気設備) 工事 六興電機(株)・吉田電工(株)共同企業体 空気調和設備工事 福島県立博物館建設(空気調和設備) 工事 新日本空調(株)・若松ガス工業(株) 共同企業体 火災報知その他設備工事 福島県立博物館建設(火災報知その他 設備) 工事 (株)富士工業商会 給排水衛生設備工事 福島県立博物館建設(給排水衛生設 備) 工事 (株)共立配管工業所 昇降機設備工事 福島県立博物館建設(昇降機設備) 工事 ダイコー(株) |
| 面積 | 敷地面積 37,269.6㎡ 建築面積 10,986.23㎡ 延面積 11,071.44㎡ 1階 9,980.45㎡ 2階 1,090.99㎡ |
| 建築事業費 | 6,451,641千円 内訳 建物本体 4,623,714 展示工事 1,257,500 外構工事 368,688 その他庁用備品等 201,739 |
| 規模 | 地上2階 |
| 最高の高さ | 20.6m |
| 最高の軒高 | 13.6m |
| 地域地区 | 住居地域 風致地区第1種 |

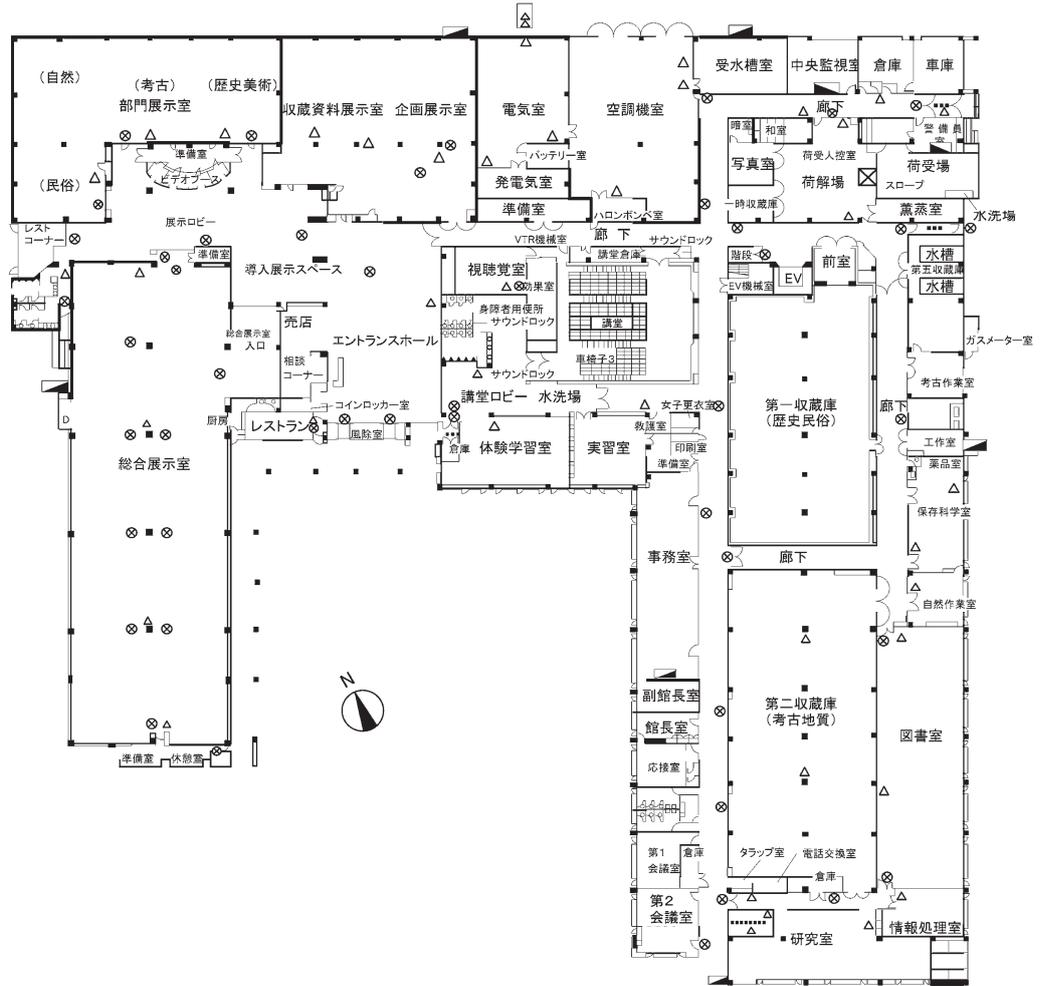
| | |
|-------|--|
| 構造 | 主体構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 基礎構造 場所打ちコンクリート杭 |
| 外部仕上げ | 屋根 厚0.6mm 硫化銅板 特殊一文字葺 外壁 特焼磁器質タイル打込プレキャスト コンクリート版 建具 アルミ断熱サッシ電解着色仕上げ |
| 内部仕上げ | (エントランスホール・展示ロビー) 床 花崗岩ジェットバーナー仕上げ 壁 凝灰岩リブ付厚40mm 天井 練付合板 クリアラッカー仕上げ (総合展示室) 床 カーペットタイル 壁 プラスターボード厚12mm 天井 アルミ特殊ルーバー天井 (講堂) 床 カーペットタイル 壁 凝灰岩 リブ付 天井 練付合板 アクリルラッカー仕上げ (第1・3・6収蔵庫) 床 ブナフローリングボード厚12mm 壁 杉板厚12mm ヒブクラハギ張 天井 杉板厚12mm 本実張 (第2収蔵庫) 床 コンクリート塗り床 壁 化粧珪酸カルシウム板 天井 化粧珪酸カルシウム板 (第4収蔵庫) 床 ブナフローリングボード厚12mm 壁 化粧珪酸カルシウム板 天井 化粧珪酸カルシウム板 (第5収蔵庫) 床 コンクリート塗り床 壁 プラスターボード 天井 化粧珪酸カルシウム板 |
| 工期 | 着工 昭和59年7月7日 完成 昭和61年3月25日 |

2. 設備

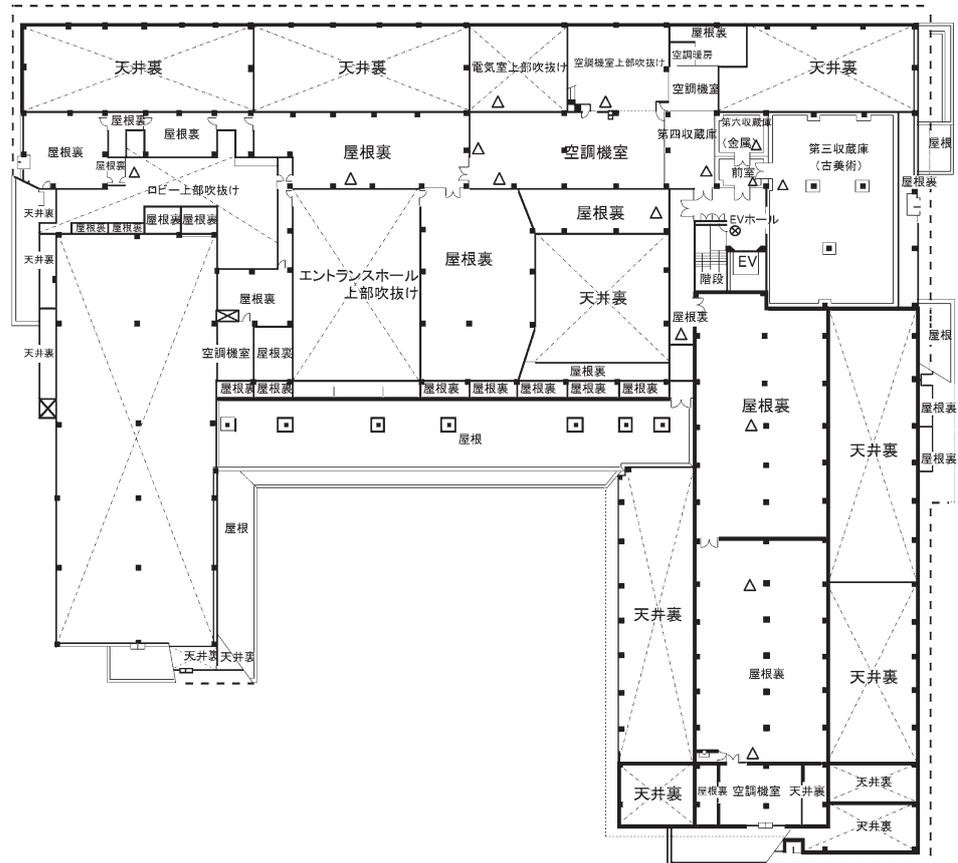
| | |
|----------|---|
| 電気設備 | 2. 消火設備 (屋内) スプリンクラーとハロン消火 設備の併用、(屋外) 野外消火栓 |
| 1. 電気設備 | 受電電圧 3相3線式 6.6KV 50Hz 変圧器容量(業務用) 1575KVA (冬季用) 400KVA |
| 2. 非常用電源 | 発電機 3相3線式6.6KV 50Hz 400KVA 蓄電池 密閉型アルカリ AH-PE200AH86セル |
| 3. その他 | 電話設備、インターホン設備、TV 共 同視聴設備、自動火災報知器設備、 防火戸等制御設備、ガス漏警報設備、 非常用放送設備、ITV 監視設備 |
| 4. 視聴設備 | TV カメラ、ビデオ調整卓、ビデオ デッキ、音響総合ラック |
| 昇降機設備 | 油圧式エレベーター定格荷重: 3 t 1基 油圧式リフト定格荷重: 2 t 1基 |
| 空調設備 | 融雪設備 ロードヒーター・屋根ヒーター、陸屋 根ヒーター・ドレンヒーター、外気 温度地面温度・降雪感知器・乾地面 温度・湿地面温度センサーの組み合 わせにより自動運転または手動運転 |
| 1. 空調方式 | 各室ユニット型空調機 17系統ファン コイル ユニット方式 |
| 2. 熱源設備 | ガス直焚冷温水発生器(150RT)×2 ガス焚鉄セクショナルボイラー (396.00Kcal/H) 水冷式チーリ ングユニット(120RT) |
| 監視設備 | 分散形総合監理制御システムにより、 受電設備・防災設備・熱源設備・ 空調設備・融雪設備・庭園設備等を 遠方発停制御及び計測監視を行う |
| 衛生設備 | 電話設備 電子交換 外線3回線 内線64回線 受信盤P型1級 60回線(自火報)33 回線(防排煙設備)、煙感知機274箇 所、熱感知機93箇所、排煙区画8系 統、平面地図盤(照光式)により表示 電波センサー・電子サイン・ITVを 必要箇所に設置し、監視制御システ ムと併用 |
| 1. 給水 | 市水道 受水槽: 50㎡ |
| 防犯設備 | |

3. 平面図・各室一覧

1階平面図



2階平面図



各室面積表

| 室名 | 面積(m ²) | 備考 | 室名 | 面積(m ²) | 備考 |
|----------------------------------|---------------------|---------|--|---------------------|-------------------|
| 収蔵スペース 2,294.8 (m ²) | | | 応接室 | 36.5 | |
| 荷受場 | 90.5 | | 第1会議室 | 34.8 | |
| 荷解場 | 164.5 | | 第2会議室 | 70.7 | |
| 荷受人控室 | 25.1 | | 更衣室 | 13.2 | |
| 一時収蔵庫 | 30.4 | | 湯沸室 | 5.0 | |
| 燻蒸室 | 30.7 | | 印刷室 | 16.2 | |
| 工作室 | 39.6 | | 救護室 | 13.2 | |
| 写真室 | 57.0 | スタジオと暗室 | 警備員室 | 30.0 | |
| 第1収蔵庫 | 614.2 | 歴史・民俗 | 宿直室 | 25.1 | |
| 第2収蔵庫 | 617.7 | 考古・地質 | 倉庫A | 29.4 | |
| 第3収蔵庫 | 393.6 | 古美術 | 倉庫B | 43.6 | 収集用(1) |
| 第4収蔵庫 | 75.6 | 剥製・植物標本 | 車庫 | 55.8 | |
| 第5収蔵庫 | 104.9 | 液浸 | 展示準備室(1)(2) | 31.7 | 総合展示室用 |
| 第6収蔵庫 | 51.5 | 金属 | 展示準備室(3)(4) | 71.1 | 部門・企画・収蔵資料用 |
| 研究スペース 788.3 (m ²) | | | 機械スペース 1,253.1 (m ²) | | |
| 研究室 | 238.4 | | 空調機室1F | 393.2 | |
| 自然作業室 | 37.6 | | 空調機室2F | 479.4 | |
| 保存科学室 | 77.2 | | 電気室 | 132.5 | |
| 考古作業室 | 72.3 | | 中央監視室 | 52.8 | |
| 薬品庫 | 8.8 | | 発電気室 | 50.2 | |
| 図書室 | 300.0 | | バッテリー室 | 14.4 | |
| 情報処理室 | 54.0 | | 受水槽室 | 66.7 | |
| 展示スペース 2,815.1 (m ²) | | | ハロンボンベ室 | 31.7 | |
| 総合展示室 | 1,536.9 | | E V 機械室 | 17.1 | |
| 部門展示室 | 585.8 | | 電話交換機室 | 6.3 | |
| 企画展示室 | 484.1 | | V T R 機械室 | 8.8 | |
| 収蔵資料展示室 | 208.3 | | サービス・共用スペース 2,507.54 (m ²) | | |
| 教育普及スペース 693.1 (m ²) | | | エントランス・ホール | 461.1 | |
| 講堂 | 257.8 | | レストラン | 83.7 | 厨房含む |
| 講堂倉庫 | 15.0 | | 売店・相談コーナー | 73.3 | ロッカー含む |
| 体験学習室 | 173.5 | | 便所(展示) | 32.6 | |
| 視聴覚室 | 65.6 | | 便所(中央) | 68.8 | |
| 効果室 | 32.1 | | 便所(管理) | 31.3 | |
| 実習室 | 128.3 | | 展示ロビー | 513.8 | ビデオブース・ワークショップを含む |
| 実習準備室 | 20.8 | | レストコーナー | 40.3 | |
| 管理スペース 719.5 (m ²) | | | その他 | 1202.64 | |
| 事務室 | 166.1 | | 計 | 11,071.44 | |
| 館長室 | 45.6 | | | | |
| 副館長室 | 31.5 | | | | |

4. 施設の修理・改築

- 平成7年8月9日 消防施設整備工事（スプリンクラー設備修繕）（～10.31）
- 平成8年10月1日 博物館地域福祉推進特別対策事業（誘導表示等設置 段差解消スロープ 車椅子
駐車場2台分）（～9.3.19）
- 平成12年10月27日 給水ポンプ取替工事（～13.1.9）
- 平成14年9月12日 博物館東・北面外壁タイル補修工事（～12.16）
- 平成15年9月19日 非常用蓄電池取替工事（～11.20）
- 10月21日 吸収冷温水機真空部取替工事（～16.1.8）
- 平成16年10月5日 屋根補修工事（～12.17）
- 12月21日 吸収冷温水機真空部取替他工事（～17.3.18）
- 平成17年7月22日 屋根補修工事（～10.4）
- 平成18年1月6日 熱源コントローラー交換工事（～18.3.17）
- スプリンクラーヘッド交換工事（～18.3.17）
- 平成19年1月5日 スプリンクラー設備修繕工事（～19.3.23）
- 平成19年2月1日 1階床張替え補修工事（～19.3.23）
- 平成19年2月21日 ウォシュレット取付け工事（～19.3.19）
- 平成21年1月21日 高圧引込設備改修工事（電柱立替外）（～21.3.24）
- 平成21年6月3日 冷却塔ヘッダー管交換2回（～21.12.25）
- 平成21年12月18日 消防設備修繕（呼水槽、消火栓ホース、ハロゲン非常用電源設備外）（～22.2.26）
- 平成22年2月17日 企画展示室改修工事（～22.3.29）

Ⅶ 利用案内

●開館時間

午前9時30分～午後5時（最終入館は午後4時30分まで）

●休館日

- 毎週月曜日（祝祭日にあたる場合は開館）
- 祝祭日の翌日（土・日・祝祭日にあたる場合は開館）
- 年末年始（12月28日～1月4日）
- その他、館内くん蒸などのために臨時に休館することがあります。

●観覧料

- 常設展（ ）内は、団体20人以上の料金
一般・大学生260円（210円） 高校生以下は無料

- 企画展 そのつど定めます。

★学校の引率者、大学の教育活動、公民館等の団体は申請により減免措置を受けることができます。
（常設展のみ）

★身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方は無料
また1種（精神障害者保健福祉手帳にあっては1級）の認定を受けている方に限り、介護者1名が無料。

★知事の発行する外国人留学生文化施設等無料観覧証を交付されている方は無料。（常設展のみ）

★展示室以外の入館は無料。

●常設展無料開放日

5月5日（子供の日）／9月第3月曜日（敬老の日）／11月3日（文化の日）／8月21日（県民の日）

●企画展無料開放日（高校生以下のみ）

11月1日～11月7日（ふくしま教育週間）

●交通案内



○会津若松駅より約3km

○市内バス利用の場合

- ①市内1コース 県立病院前下車徒歩5分
- ②鶴ヶ城経由飯盛山行 鶴ヶ城北口県立博物館前下車徒歩4分
- ③まちなか周遊バス「ハイカラさん」 鶴ヶ城三ノ丸口下車徒歩1分

●体の不自由な方へ スロープ・専用トイレなどを備えたほか、車いすも用意しています。

●講座・講演など 博物館では講演会・実技講座・実演などを行っています。

福島県立博物館年報 第24号

平成22年11月30日 印刷

平成22年11月30日 発行

編集・発行 福島県立博物館

〒965-0807 会津若松市城東町1-25

T E L (0242) 28-6000

F A X (0242) 28-5986

<http://www.general-museum.fks.ed.jp/>

印 刷 陽光社印刷株式会社

〒960-0112 福島市南矢野目字萩ノ目裏1-1

T E L (024) 553-4600

F A X (024) 554-4420

<http://www.yokosha.co.jp>

この年報の本文は再生紙を使用しています。

福島県立博物館

〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25 TEL 0242(28)6000